



令和7年度TOKYO Data Highway通信利用動向調査

目次

1. 令和7年度通信利用動向調査の目的と調査内容	P.3
2. 調査結果（サマリー）	P.5
3.通信利用動向調査	
3.1 調査方法・対象	P.18
3.2 収集したサンプルの属性	P.20
3.3 都民の利用実態	P.23
3.4 都民のニーズ・満足度	P.53
3.5 都施策に関する意識	P.73
3.6 今後の施策検討に関する実態	P.88

報告書内の記述について

※n=30未満は参考値として記載

1. 令和7年度通信利用動向調査の目的と調査内容

1. 令和7年度通信利用動向調査の目的と調査内容

令和7年度通信利用動向調査の目的と調査内容

目的

東京都は、多様なアプローチにより都内全域で、いつでも、誰でも、どこでも、何があっても「つながる東京」の早期実現に向け、「つながる東京」展開方針・3か年のアクションプランを策定している。都民の通信利用状況を把握して取組へ反映し、**高周波数帯5Gの拡大、通信困難地域の解消、OpenRoaming対応Wi-Fiの整備、普及促進等各種施策をより一層推進するため**、本通信利用動向調査を実施した。

調査内容

【アンケート調査】

- 都民のインターネット/公衆Wi-Fiの利用や、5G/通信サービスの認知の実態を把握
- 都民の利用回線/公衆Wi-Fi/通信品質・手段に関するニーズや満足度について把握
- 都が実施している施策（オープンローミングや携帯電話回線）の効果を確認
- 今後施策を検討する上で通信サービスのニーズや実態を把握

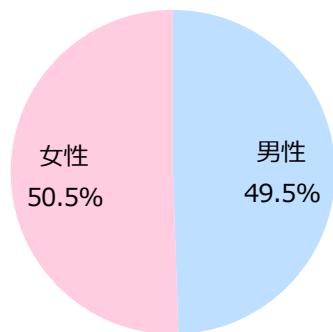
2. 調査結果（サマリー）

調査対象概要

✓ 都民のインターネット／公衆Wi-Fiの利用実態や満足度、5G・OpenRoaming等の認知実態や通信サービスのニーズを把握するため、「東京都統計年鑑（令和4年）」の性別・年齢別人口構成比、また「総務省通信動向調査（令和6年）」の年代別インターネット利用状況の比率に近づくよう調査対象を指定し、調査を実施した。

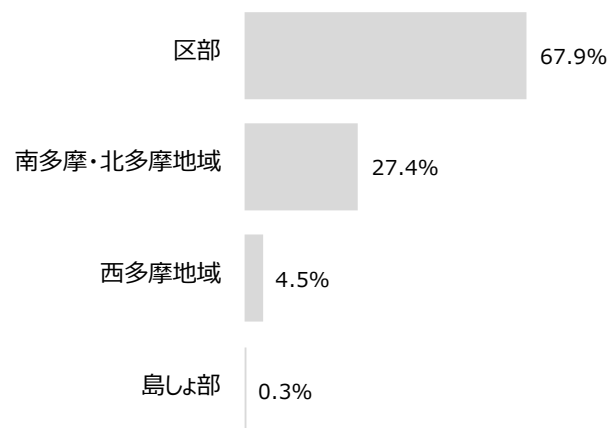
性別

(n=4,060)



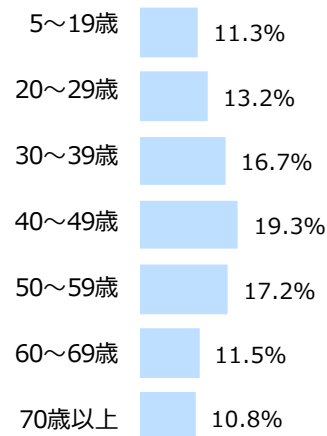
居住地

(n=4,060)

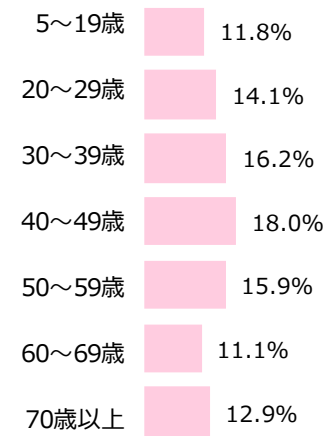


年代

男性 (n=1,992)

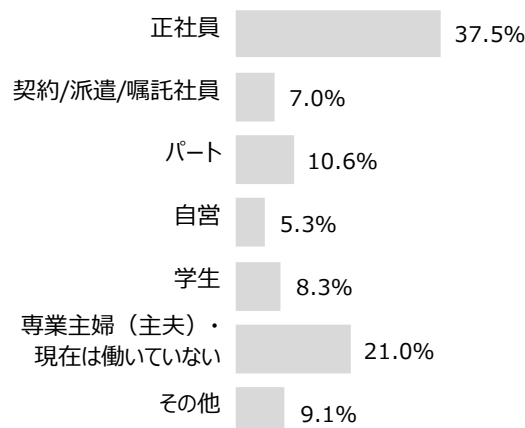


女性 (n=2,068)

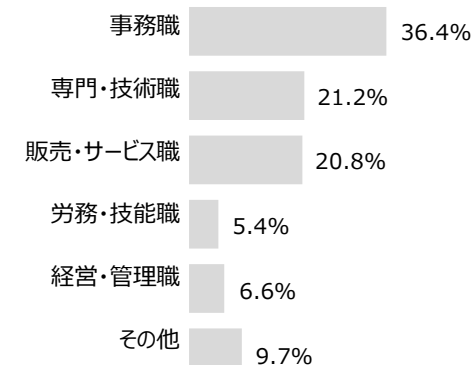


職業・職種

(n=4,060)



有職者ベース(n=2,455)

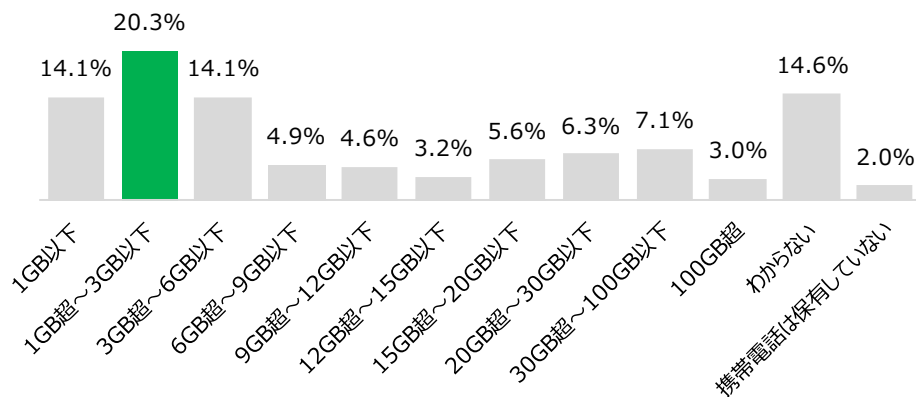


【都民の利用実態】情報通信の利用実態

- ✓ 1か月あたりの通信量は「1GB超～3GB以下」が最も高く、1か月あたりの通信費は「3千円～5千円未満」が最も高い。
- ✓ インターネットの利用内容は、前年と比べて全ての項目において増加しており、特に「SNS」「動画投稿・共有サイト」が半数を超える結果となった。
- ✓ それに伴いインターネットの利用時間も増加している傾向が見られた。

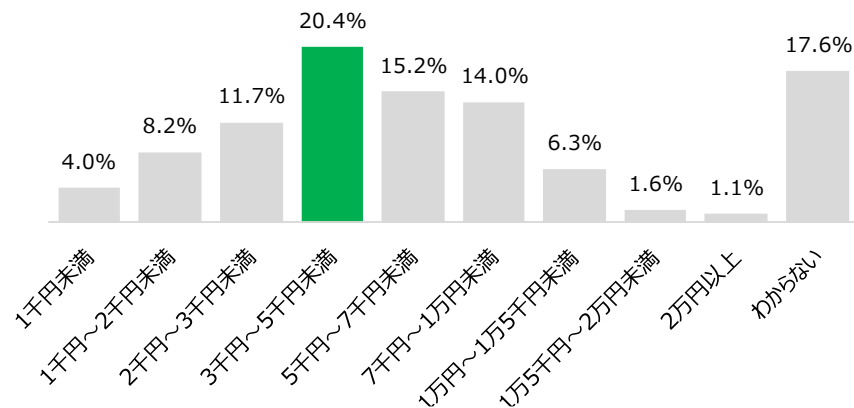
1か月あたりの通信量

(n=4,060)



1か月あたりの通信費

(n=4,060)

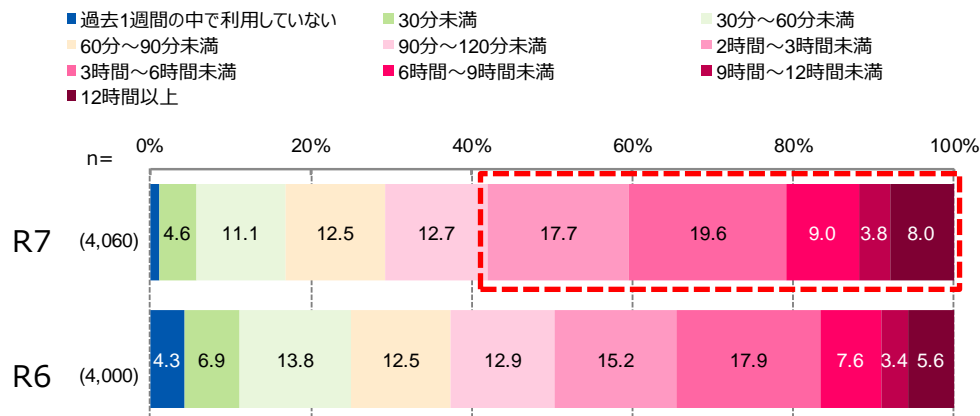


インターネット利用内容

	(%)	R7	R6
n=		(4,060)	(4,000)
情報の検索	86.3	77.7	
ブログの閲覧	30.7	25.6	
電子メールやメッセージの送受信	70.0	63.1	
オンラインショッピング	66.5	55.7	
金融取引	41.6	34.3	
SNSの利用	64.2	48.8	
動画投稿・共有サイトの利用	53.4	40.6	
無料通話アプリやボイスチャットの利用	27.5	18.3	
仕事	18.1	14.7	
オンラインゲーム	18.4	14.8	

※上位10項目のみ表示

インターネット利用時間

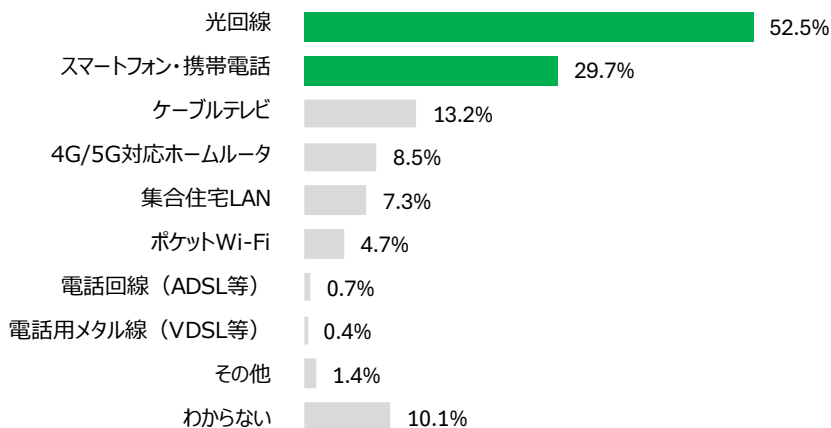


※2.0%未満のスコアは非表示

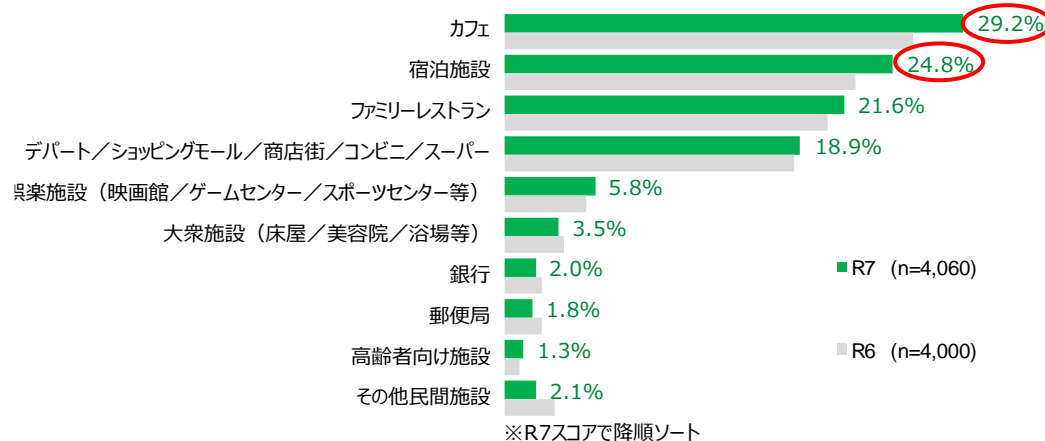
【都民の利用実態】自宅での利用回線／公衆Wi-Fiの利用実態

- ✓ 自宅での利用回線は「光回線」が最も高く、次いで「スマートフォン（携帯電話）」
- ✓ 公衆Wi-Fiを利用したことがある場所は、前年と比べて「カフェ」「宿泊施設」の民間施設が増加しており、Wi-Fiが普及していることがうかがえる。
- ✓ 公衆Wi-Fiの利用目的は、「仕事以外のインターネットの閲覧（ニュース、ブログなど）」「SNSの利用」が大きく増加。
プライベートでの公衆Wi-Fi利用が活発化していることがうかがえる。

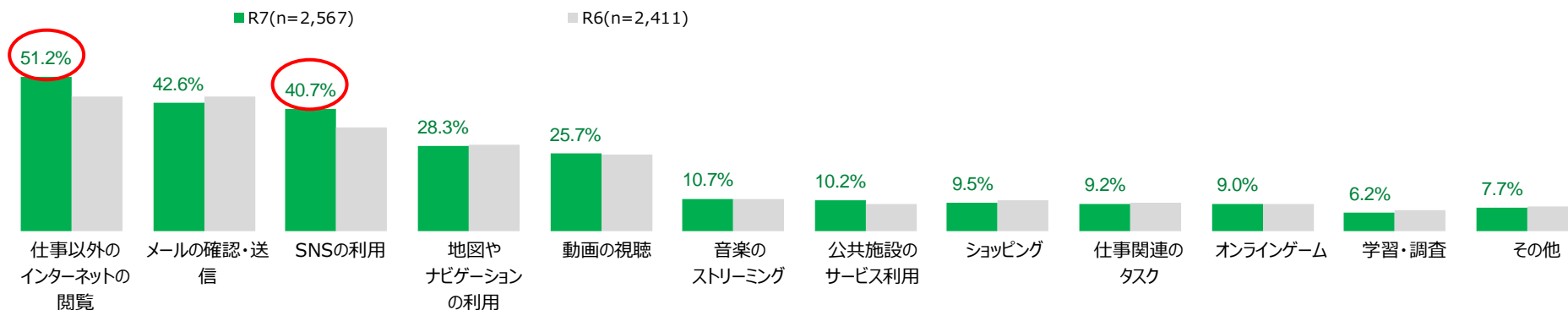
自宅での利用回線



公衆Wi-Fi利用場所（民間施設）



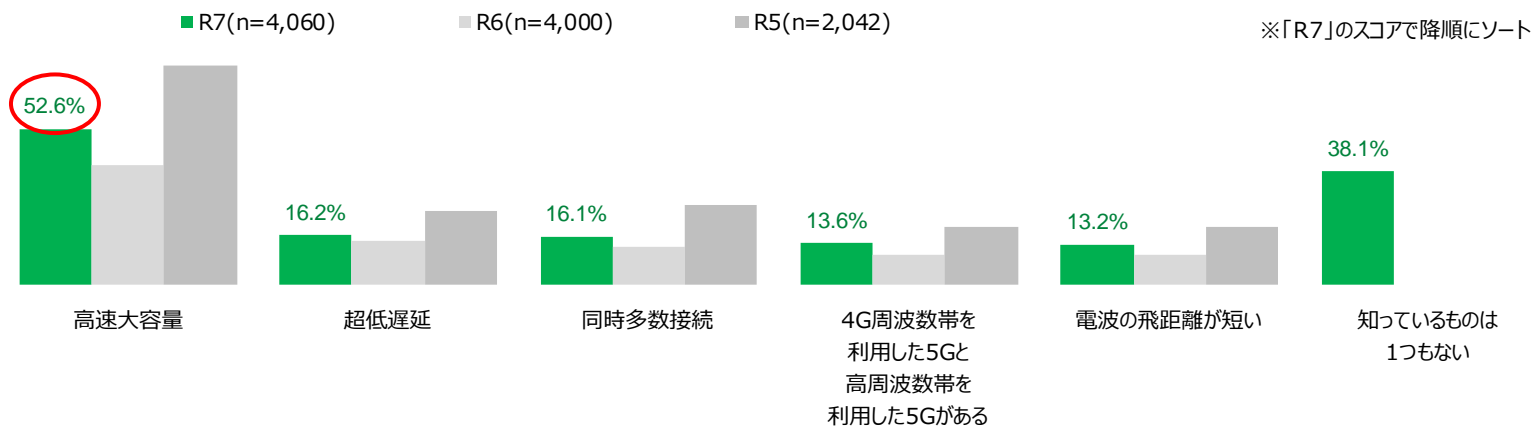
公衆Wi-Fi利用目的



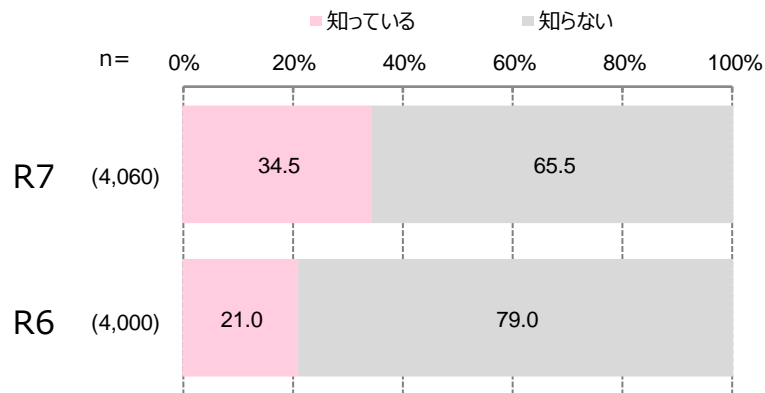
【都民の利用実態】5Gの認知・利用実態

- ✓ 5Gの特徴認知は「高速大容量（大量のデータを高速でやり取りできる）」が群を抜いて高い。各特徴は前年と比べて増加しており、5Gの普及により特徴認知も拡大していることがうかがえる。
- ✓ 5Gミリ波の認知は全体の3割であり、前年と比べて10pt増加。認知者のうち、対応機種保有者は半数を超えている。

5Gの特徴認知

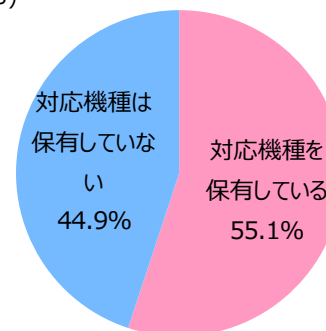


5Gミリ波の認知状況



5Gミリ波の保有状況

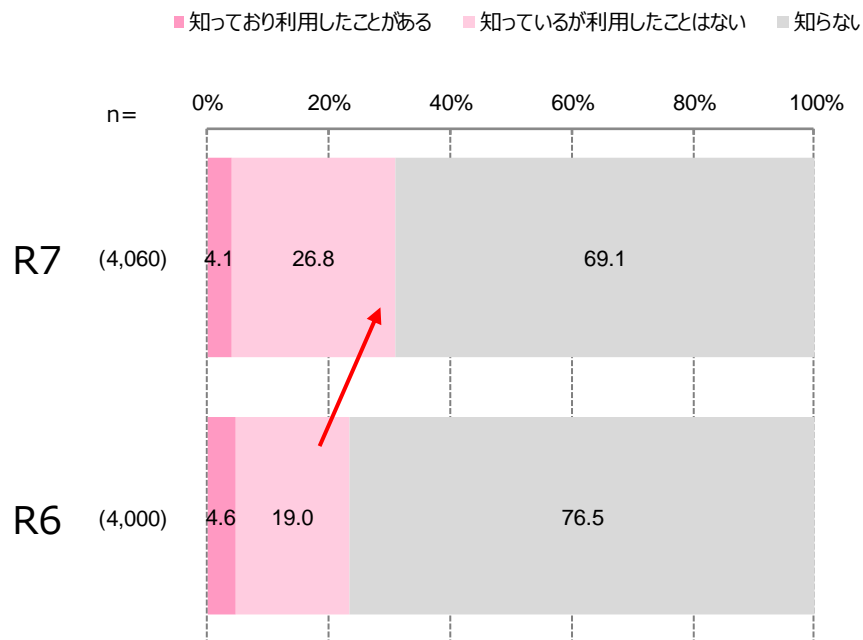
認知者ベース (n=1,400)



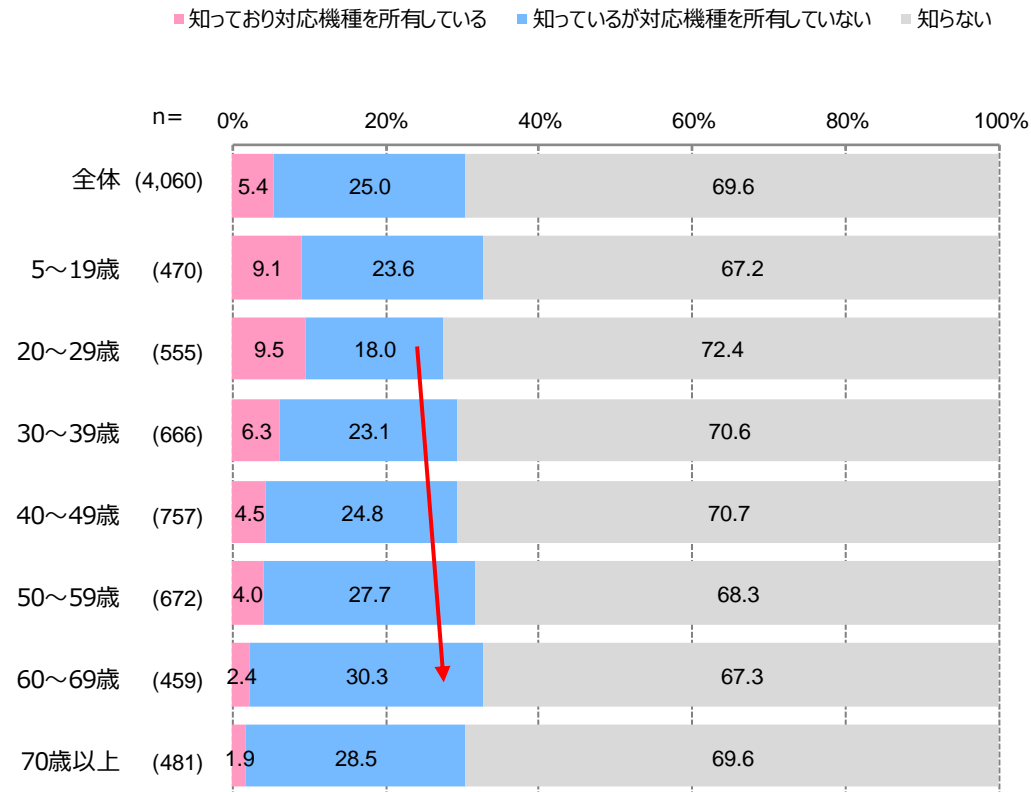
【都民の利用実態】衛星通信に関する認知・利用実態

- ✓ 民間の低軌道衛星サービスを利用したインターネット接続サービスについて、認知は3割であり前年と比べてやや増加しているものの、**利用まで至る人はまだ少ない様子。**
- ✓ 衛星通信対応機種についても、認知は3割であった。所有率は全体の5%程度。年代別で見ると高齢層は若年層と比べて認知率は高いものの、所有率は低い。

民間の低軌道衛星サービス



衛星通信対応機種



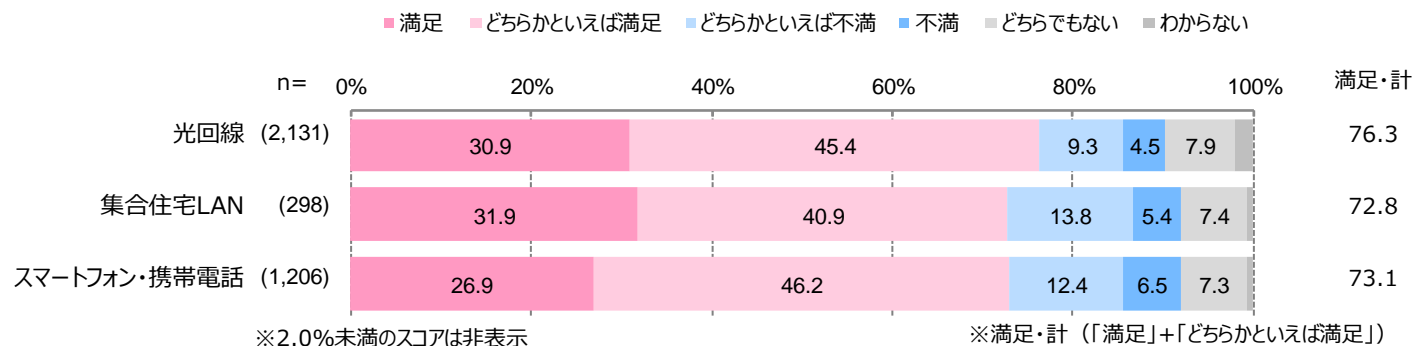
※2.0%未満のスコアは非表示

【都民のニーズ・満足度】インターネット接続回線について

- ✓ インターネット接続回線においては、「光回線」の満足度が最も高く、次いで「スマートフォン・携帯電話」「集合住宅LAN」。
住居階数別でみると、低階層は「光回線」、高層階は「スマートフォン・携帯電話」の満足度が高い。
- ✓ インターネット接続回線に対する満足理由・不満理由どちらも「安定さ」や「つながりやすさ」が上位理由にあがっている。

インターネット接続回線満足度

各インターネット回線利用者ベース



インターネット接続回線満足理由

各インターネット回線満足者ベース

回線種別	速い	安定している	どこでもつながりやすい	その他
光回線 (1,627)	41.7	80.9	9.9	2.8
集合住宅LAN (217)	35.9	79.3	10.6	6.5
スマートフォン・携帯電話 (881)	25.9	73.9	28.8	7.6

インターネット接続回線不満理由

各インターネット回線不満者ベース

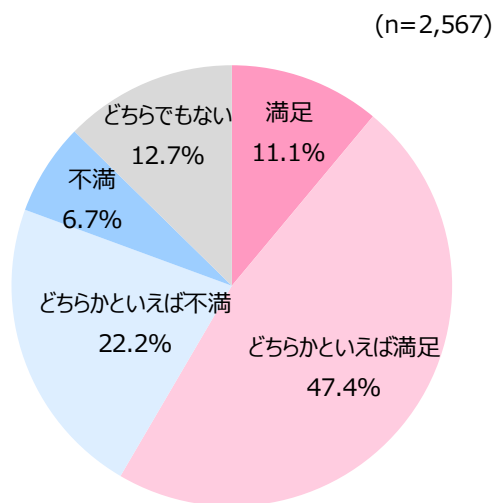
回線種別	遅い	安定していない	場所によってつながらない場合がある	その他
光回線 (294)	39.8	54.8	22.4	11.6
集合住宅LAN (57)	49.1	61.4	26.3	8.8
スマートフォン・携帯電話 (228)	39.0	53.9	54.8	9.6

【都民のニーズ・満足度】公衆Wi-Fiについて

- ✓ 公衆Wi-Fiの満足度は6割弱。満足理由は「費用が無料または安い」が圧倒的に高く、7割近い。
- ✓ 前年と比べて「利用に手間がかからない」はやや増加したものの、「電波がつながりやすい」「情報セキュリティへの不安が少ない」は減少している。
利便性があるが故に繋がりにくさやセキュリティに不安を感じる人が増えたのかもしれないと考える。

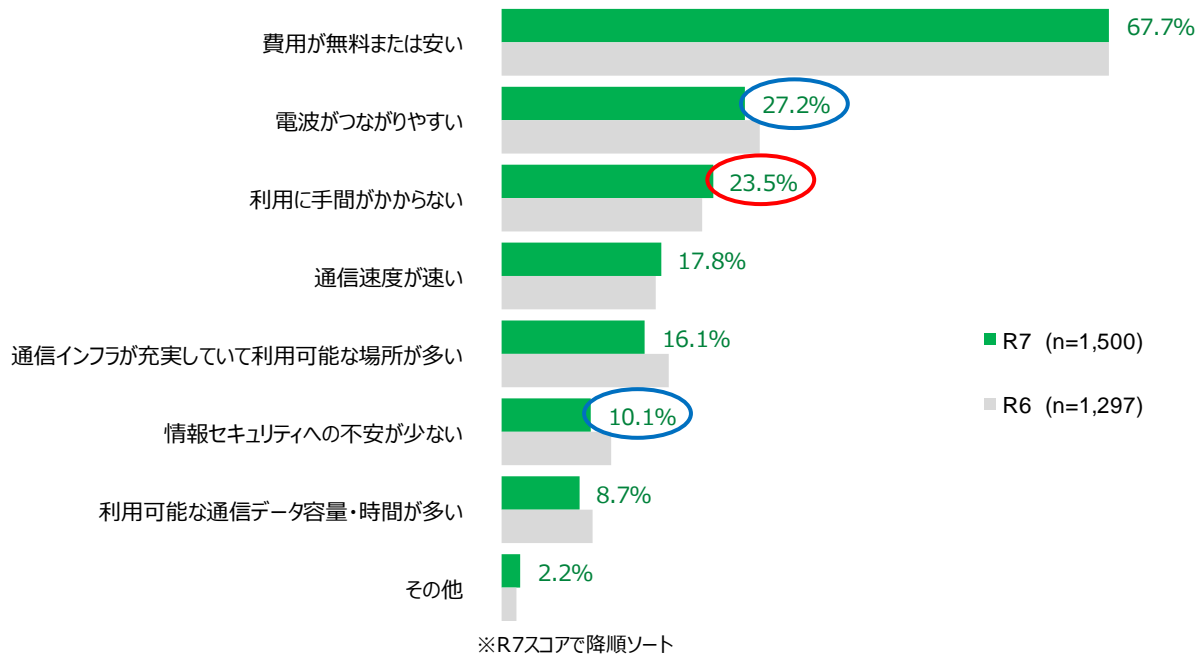
公衆Wi-Fiの満足

公衆Wi-Fi利用者ベース



公衆Wi-Fiの満足理由

公衆Wi-Fi満足者ベース

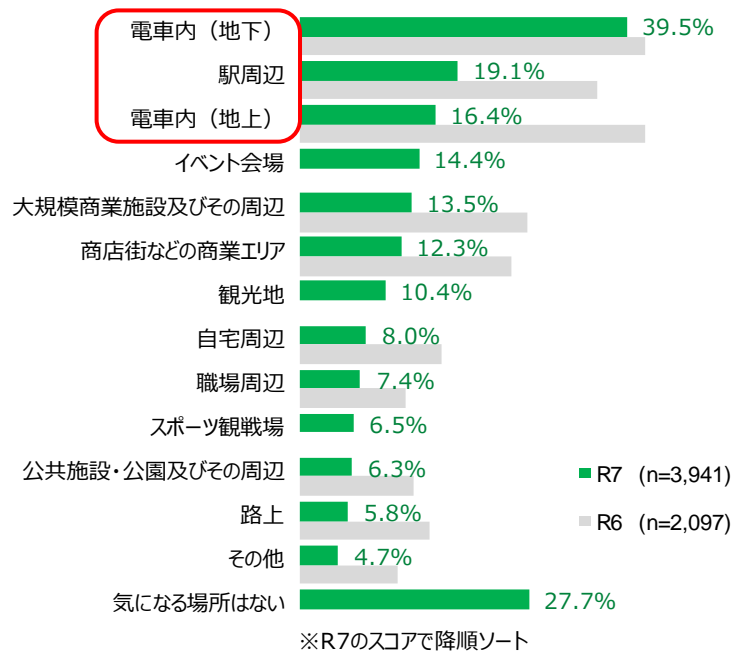


【都民のニーズ・満足度】通信品質に関して

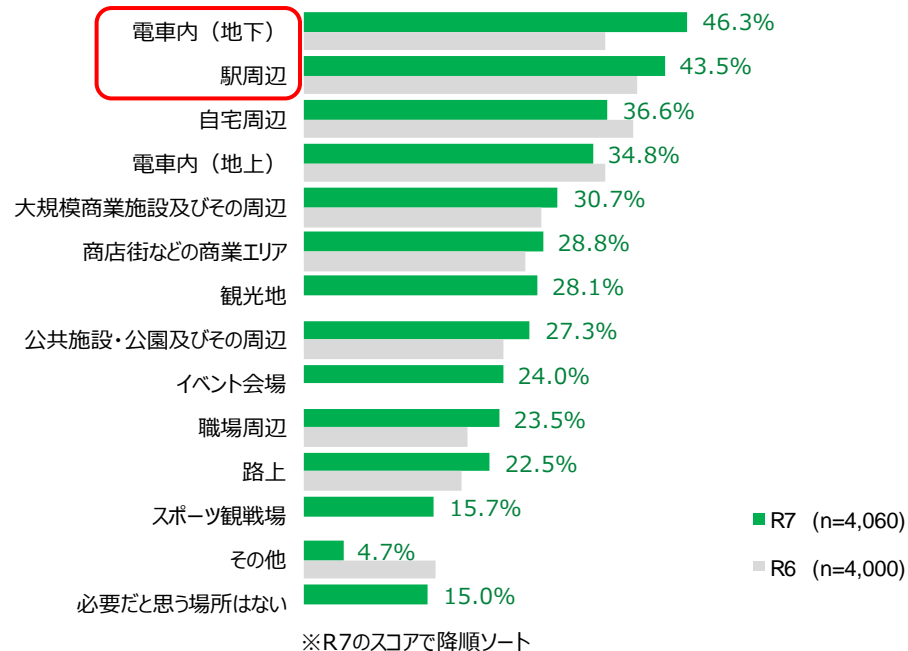
- ✓ 通信品質が気になる場所では「駅周辺」や「電車内」が高い。全体的に前年と比べて気になる場所の割合は減少しており、通信品質が改善されている様子が見受けられる。
- ✓ 安定した通信が必要だと思う場所は「駅周辺」「電車内」が前年と比べて増加しており、通信品質が気になる人は減少傾向にあるが、安定さを求める割合は増加傾向にある。

通信品質が気になる時

携帯電話回線利用者ベース



安定した通信が必要だと思う場所

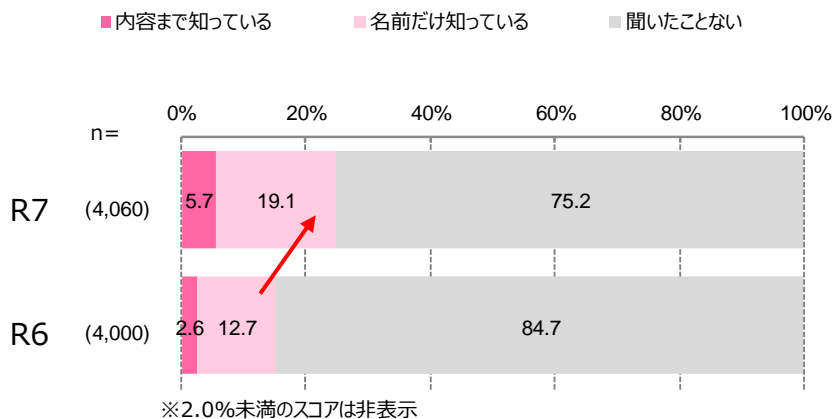


※令和6年調査は「電車内」において「地上」と「地下」とで区別して聴取していない。

【都施策に関する意識】OpenRoaming

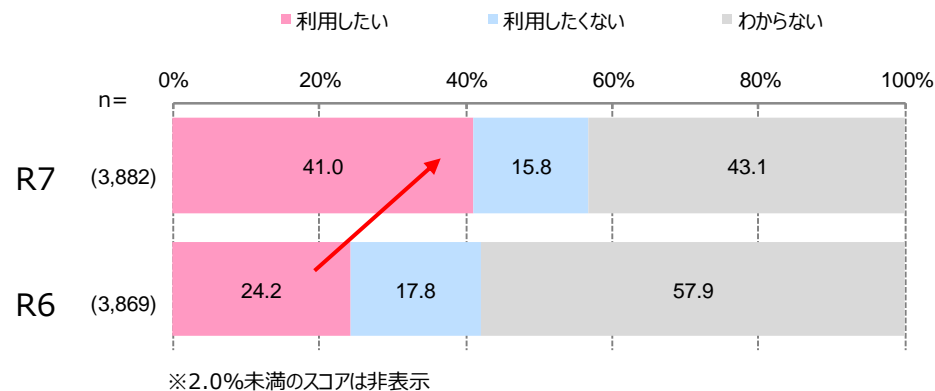
- ✓ 認知は2割半ばであるが、前年と比べて増加している。認知者の中での利用率は8割弱。
認知は拡大しているものの利用に至る人は前年と比べて変化がない。
- ✓ 利用意向は4割と、前年と比べて大幅に増加。意向は高くなっていることから、特徴の認知・理解を浸透させることで、利用率が上がると考えられる。
また、公衆Wi-Fiにおいて利用の不便性に不満を感じている人の利用意向が高い傾向にある。

OpenRoaming認知



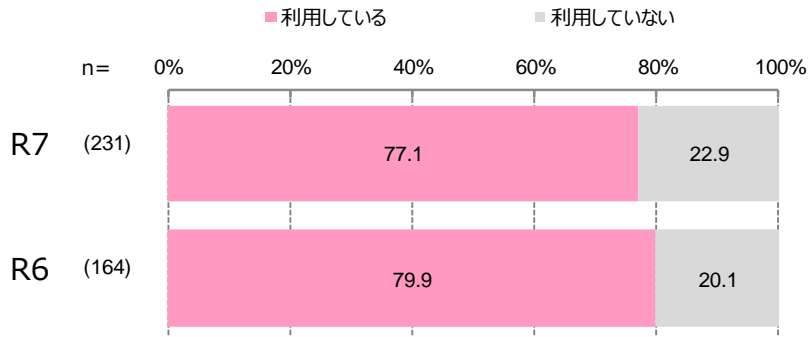
OpenRoaming利用意向

OpenRoaming非利用者ベース

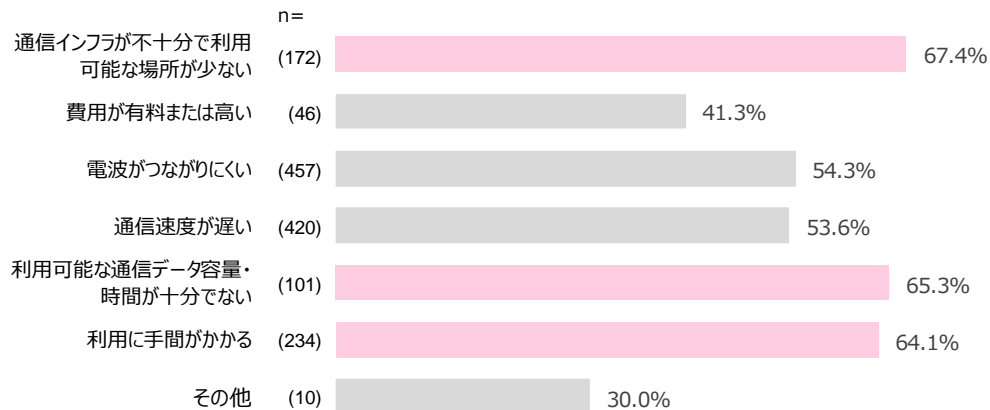


OpenRoaming利用

OpenRoaming認知者ベース



OpenRoaming「利用したい」_公衆Wi-Fi不満別



【今後の施策検討に関する実態】OpenRoamingの認知経路

- ✓ 若年層は「SNS」からの認知が最も高い。また、「イベント」「都内のOpenRoaming導入施設」「EXPO2025 大阪・関西万博」など実際の導入場所で認知している人が他の年代と比べて多い。
- ✓ 60代以上は「東京都ホームページ」が高いことから、**年代別で強化すべき媒体や訴求方法を変えていくことで全世代の認知拡大につなげることが必要である**と考える。

OpenRoaming認知経路（年代別）

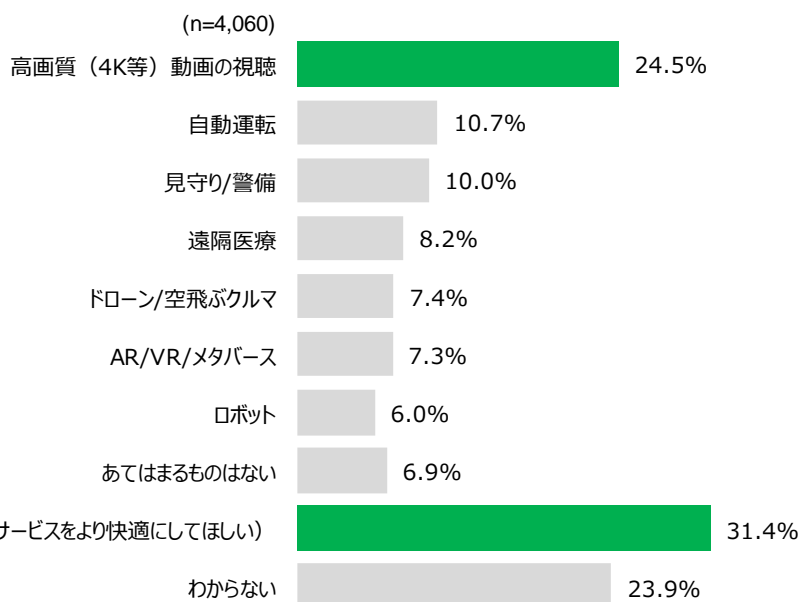
	(%)						
	5～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
n=	(148)	(135)	(208)	(183)	(160)	(99)	(73)
東京都ホームページ	29.7	17.8	18.3	24.0	21.3	33.3	34.2
ニュースや記事	17.6	17.8	14.4	21.3	21.9	18.2	34.2
都内のOpenRoaming導入施設	12.8	25.2	17.3	14.2	11.3	9.1	15.1
SNS	18.2	26.7	13.5	8.7	7.5	5.1	4.1
イベント	14.2	14.8	12.0	8.7	3.8	2.0	2.7
友人や家族からの紹介	10.8	13.3	10.6	7.7	5.0	3.0	13.7
東京都デジタルサービス推進部note	8.8	11.9	11.1	8.7	3.1	6.1	5.5
自身の調査・検索	6.1	9.6	10.6	5.5	4.4	2.0	8.2
EXPO 2025 大阪・関西万博	7.4	8.9	9.6	4.9	2.5	3.0	-
職場や学校での情報共有	7.4	10.4	2.9	4.9	3.8	1.0	5.5
海外サイト	4.1	7.4	2.9	3.8	1.9	-	-
海外旅行先	2.0	3.7	2.9	1.6	-	-	1.4
その他	4.7	3.7	4.8	5.5	3.8	4.0	6.8
覚えていない	29.1	23.7	35.1	36.6	37.5	33.3	17.8

※全体のスコアで降順ソート

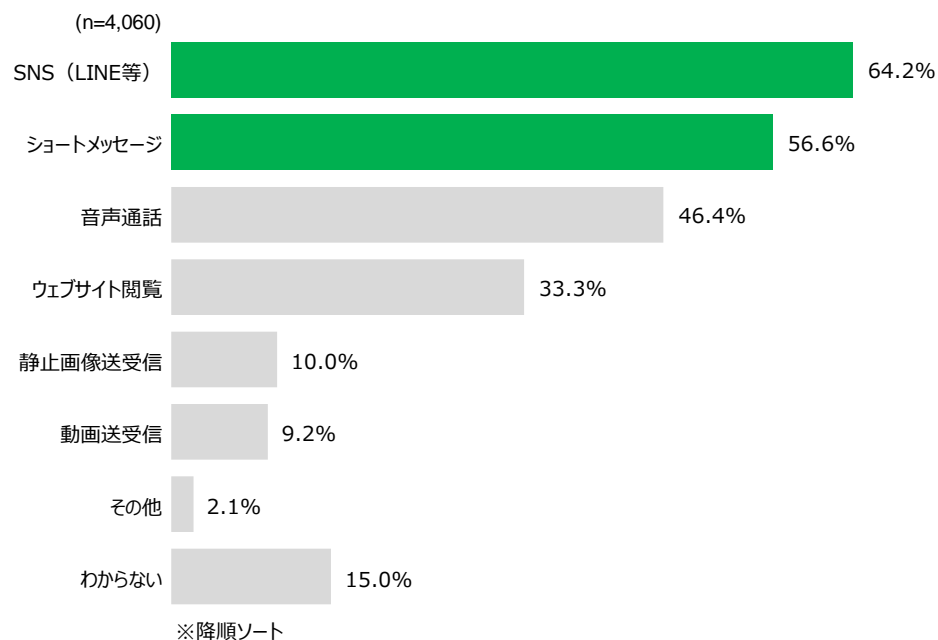
【今後の施策検討に関する実態】通信サービス

- ✓ 高速通信サービス利用時にやってみたいことは「高画質（4K等）動画の視聴」で約2割。対して「特にない（今までのサービスをより快適にしたい）」が約3割であり、**新しいサービスよりも既存サービスを改善するニーズが強いことがわかる。**
- ✓ 非常時に通信したい内容は、「SNS（LINE等）」「ショートメッセージ」が5割を超えており、テキストでコミュニケーションができるものが上位。

高速通信サービス



非常時に通信したい内容



3. 通信利用動向調査

3.1 調査方法・対象

調査方法・対象

調査方法	Webアンケート調査：サンプル数4,060	
調査実施期間	令和7年7月4日（金）～令和7年7月9日（水）	
調査対象	区分	調査数 指定方法
家族構成 (同居人数)	・1人（同居している者はいない） ・2人 ・3人 ・4人 ・5人以上	年齢、地域、性別に基づく割り当てにより統計分布に近似することが想定されるため、各区分別のサンプル数は指定せず回収を実施
年齢	・5歳～14歳（保護者による代理回答） ・15歳～99歳	「東京都統計年鑑（令和4年）」の性別・年齢別人口構成比、また「総務省通信動向調査（令和6年）」の年代別インターネット利用状況の比率に基づき回収を実施 ※高齢層の回収数を人口比率より少なくすることで、より利用実態に合わせたサンプル回収を行うため。
性別	・男性 ・女性 ・その他	
地域 (市区町村)	<ul style="list-style-type: none"> ・区部 ・西多摩地域 <ul style="list-style-type: none"> ・南多摩・北多摩地域 ・島しょ部 	「東京都統計年鑑（令和4年）」より算出した4地域別人口構成比に基づき回収を実施した。ただし、島しょ部については回収できた分のみとなる。
職業/職種	<ul style="list-style-type: none"> ・正社員 ・契約/派遣/嘱託社員 ・パート ・自営 ・学生 ・専業主婦・現在は働いていない ・その他 ・答えたくない <ul style="list-style-type: none"> ・事務職 ・専門・技術職 ・販売・サービス職 ・労務・技能職 ・経営・管理職 ・その他 	年齢、地域、性別に基づく割り当てにより統計分布に近似することが想定されるため、各区分別のサンプル数は指定せず回収を実施
世帯年収	<ul style="list-style-type: none"> ・100万円未満 ・100～1,000万未満（100万円ごとに区分） ・1,000万円～2,000万円未満（500万円ごとに区分） ・2,000万円以上 ・わからない・答えられない 	年齢、地域、性別に基づく割り当てにより統計分布に近似することが想定されるため、各区分別のサンプル数は指定せず回収を実施

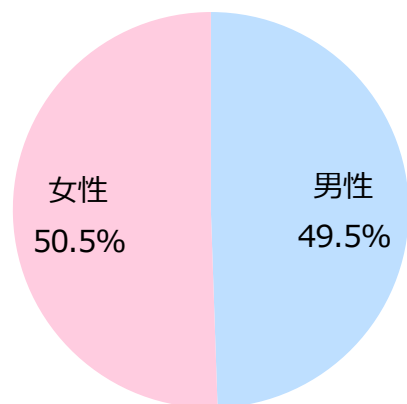
3.2 収集したサンプルの属性

回答者プロフィール

✓ 東京都の統計×年代別インターネット利用率の統計と概ね同等の比率でサンプルを取得した。

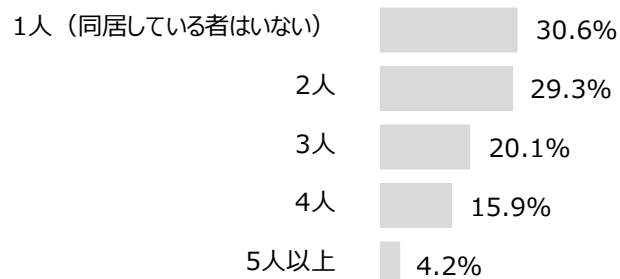
性別

(n=4,060)

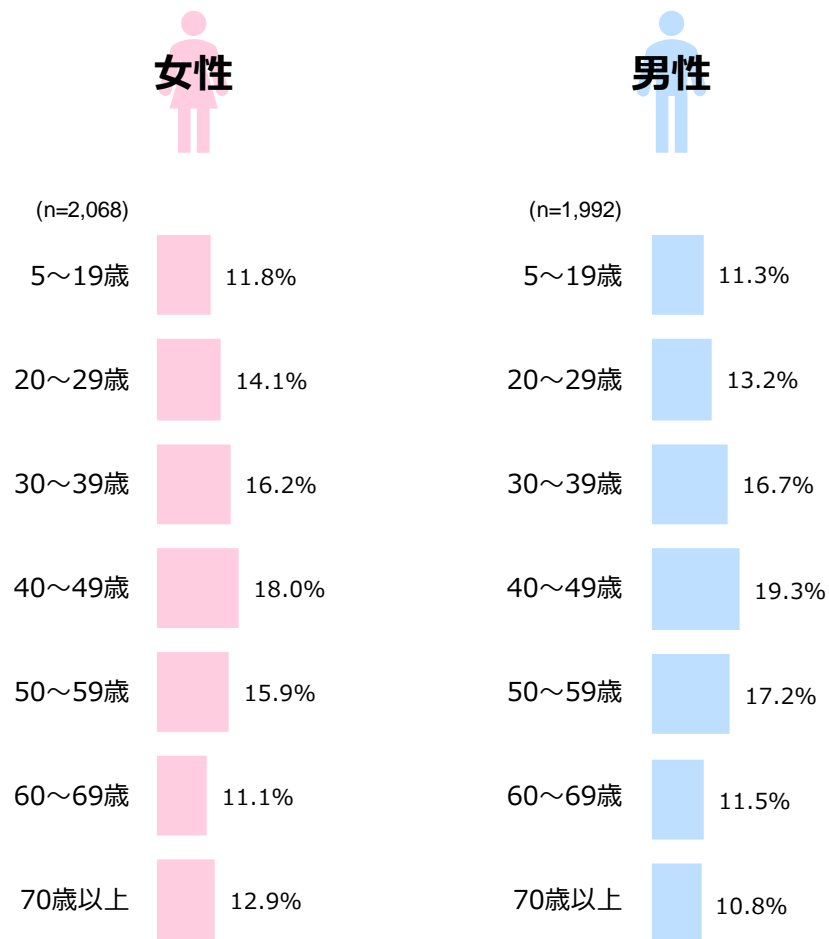


世帯構成(Q1)

(n=4,060)



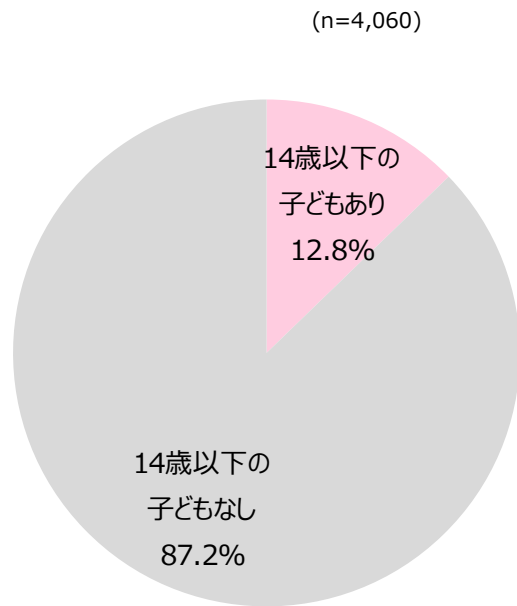
年代



回答者プロフィール

- ✓ 5歳～14歳の子どものサンプルを回収するため、子どもがいる親を対象としてアンケートを送付し、同意が得られた方に子どもの通信利用動向について代理回答していただいた。

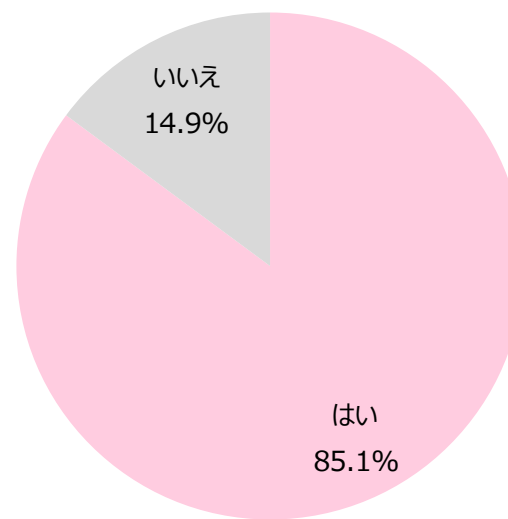
14歳以下の子ども有無(SQ2)



代理回答有無(SQ3)

※14歳以下の子どもがいる人ベース

(n=518)

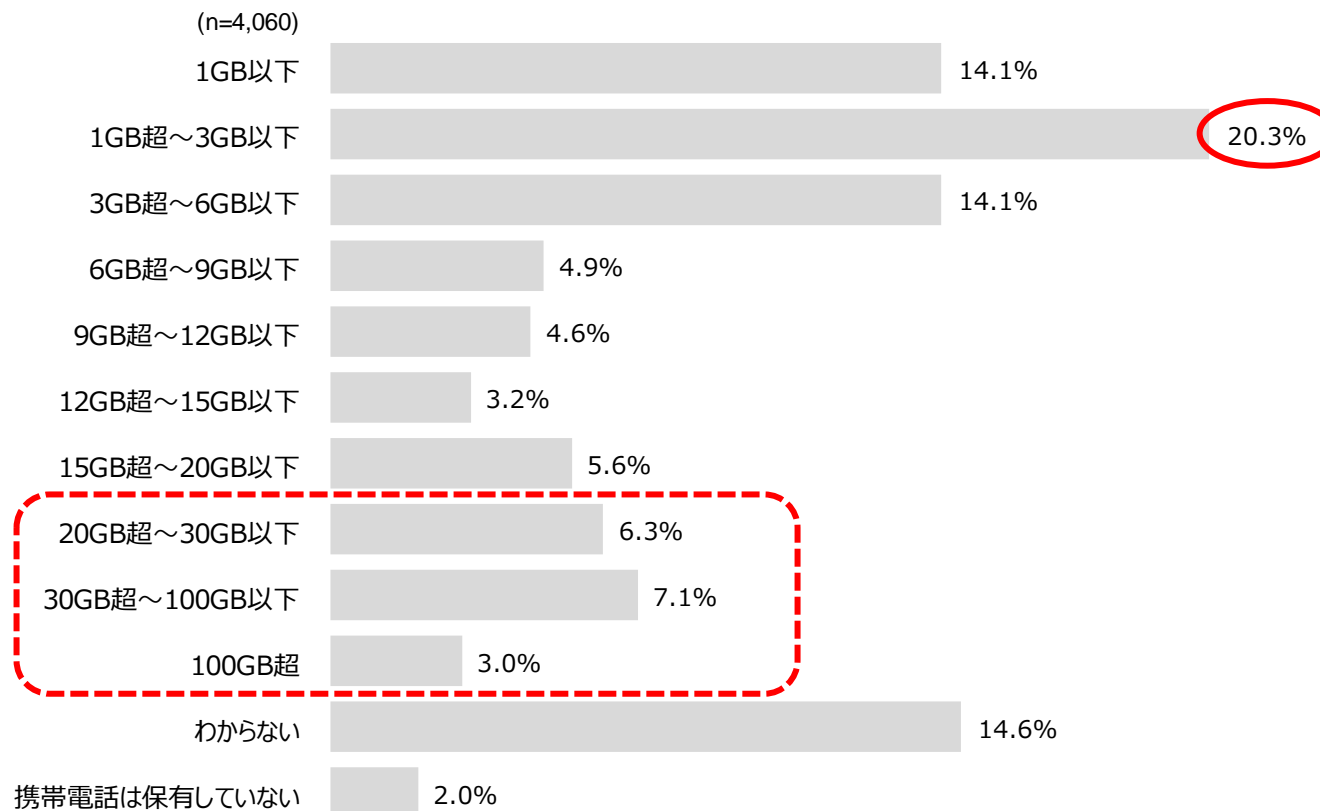


3.3 都民の利用実態

1か月あたりの通信量

- ✓ 「1GB超～3GB以下」が約2割と最も高い。次いで高いのは「1GB以下」「3GB超～6GB以下」で1割以上。
- ✓ 「20GB以上」と1か月に使用する通信量が多い人も、1割以上存在している。

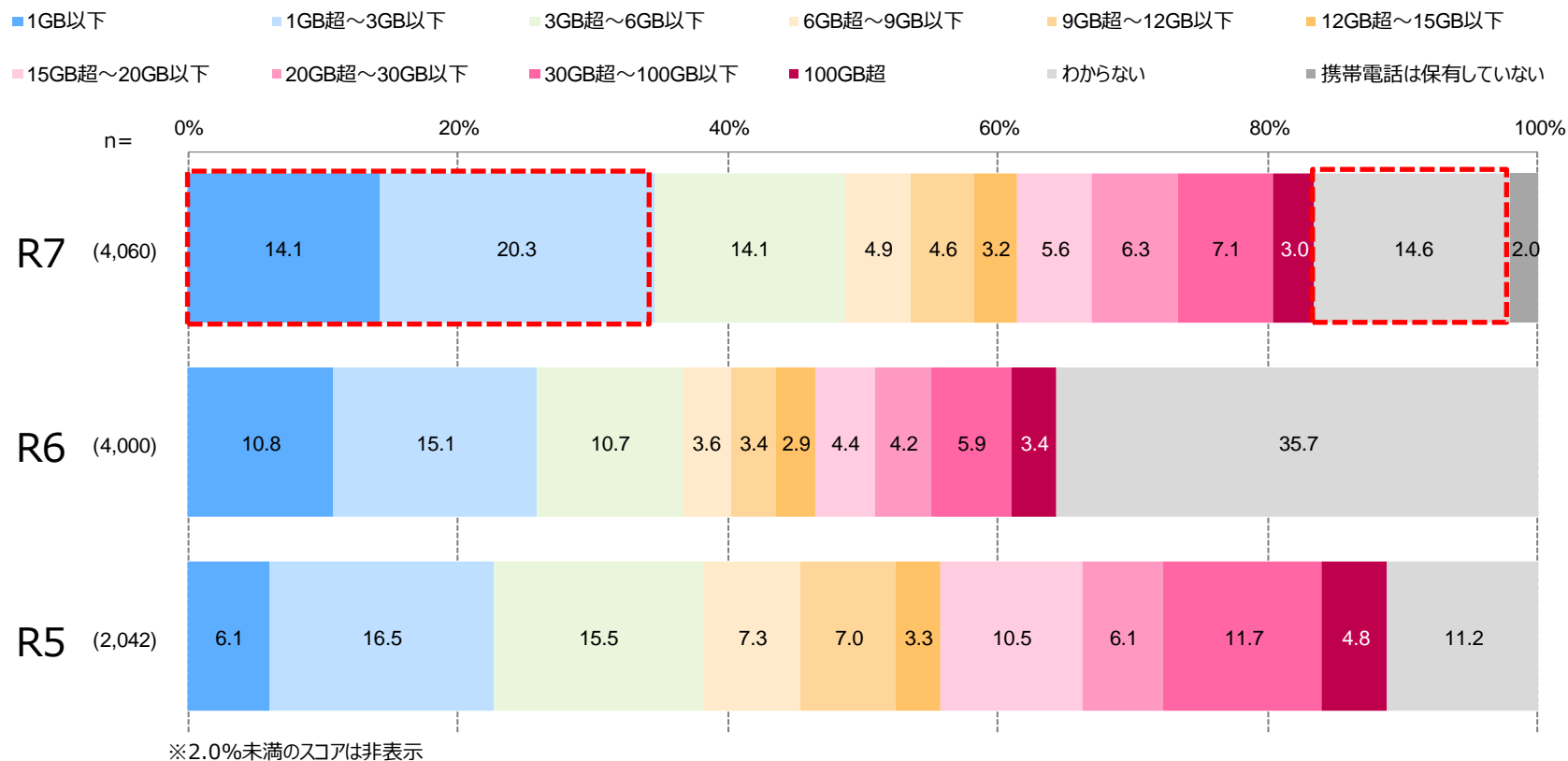
1か月あたりの通信量(Q10)



1か月あたりの通信量

- ✓ R7は「携帯電話で利用した過去1か月のモバイルデータ通信量」として聴取していることから、「わからない」と回答した人はR6と比べて減少。
- ✓ 「1GB以下」「1GB超～3GB以下」の割合は増加傾向にあるが、各年で対象者や聴取内容がやや異なるため参考値。

1か月あたりの通信量【経年比較】(Q10)

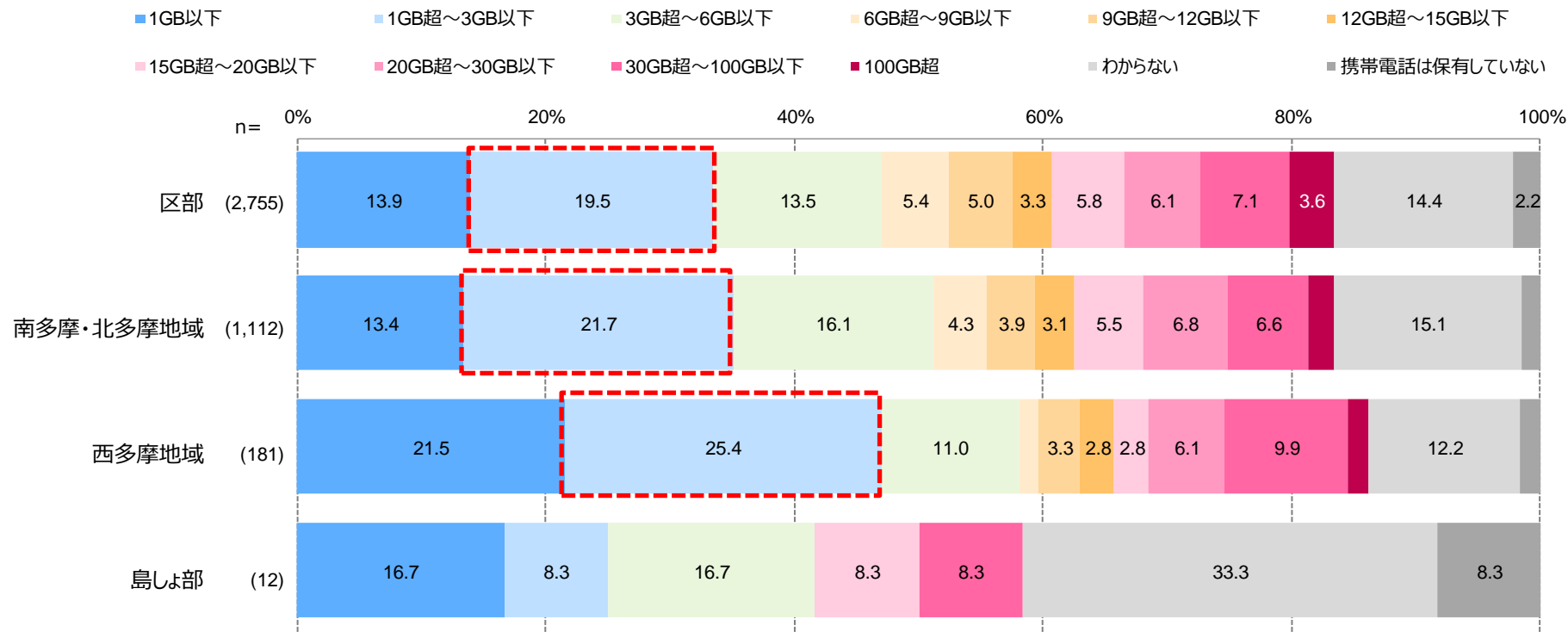


※令和5年度は4G、5G回線の利用者のみ調査を行っている。

1か月あたりの通信量

✓ 居住地別で傾向に差はなく、どの居住地も「1GB超～3GB以下」の割合が最も高い。

1か月あたりの通信量【居住地別】 (Q10)

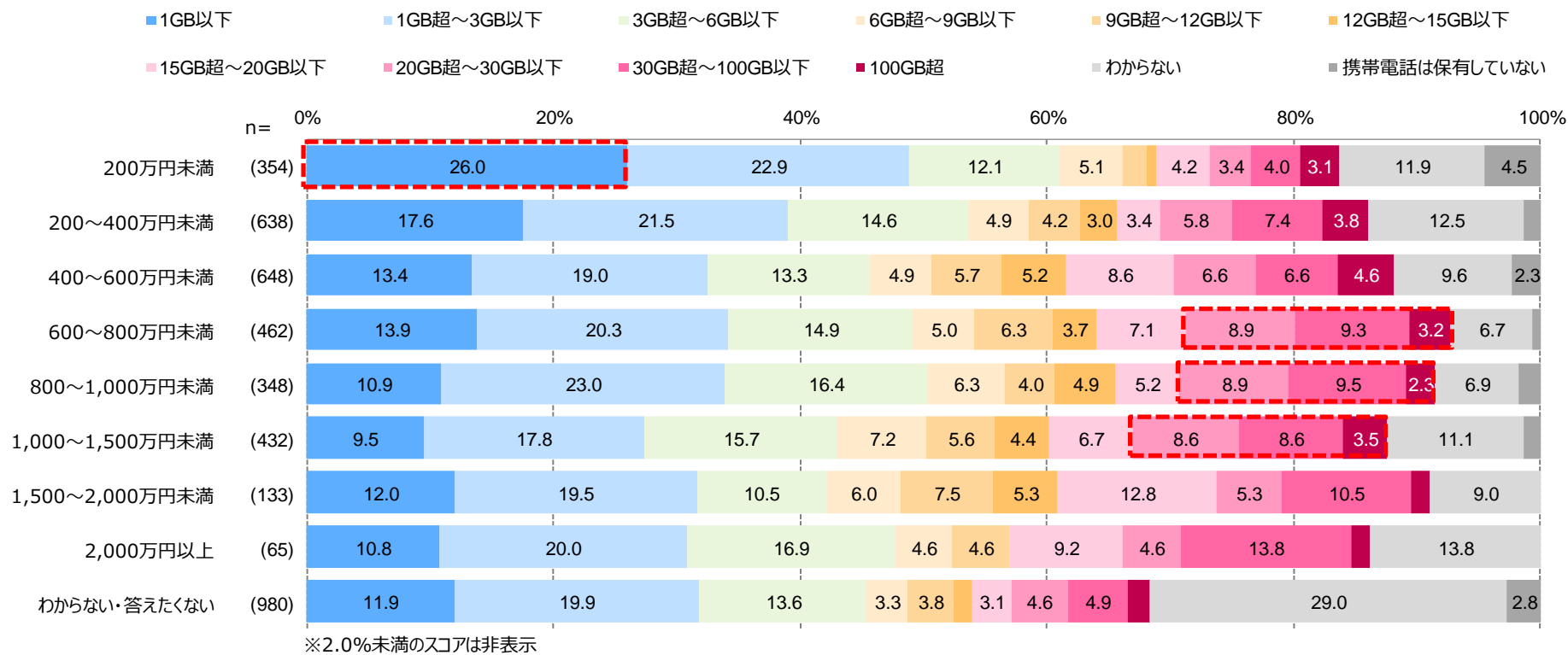


※2.0%未満のスコアは非表示

1か月あたりの通信量

- ✓ 200万円未満の人は、「1GB以下」の割合が最も高い。
- ✓ 世帯年収が高くなるにつれて「20GB超」の割合も多くなる傾向にあり、600万円以上になると2割を超えてくるところも多い。

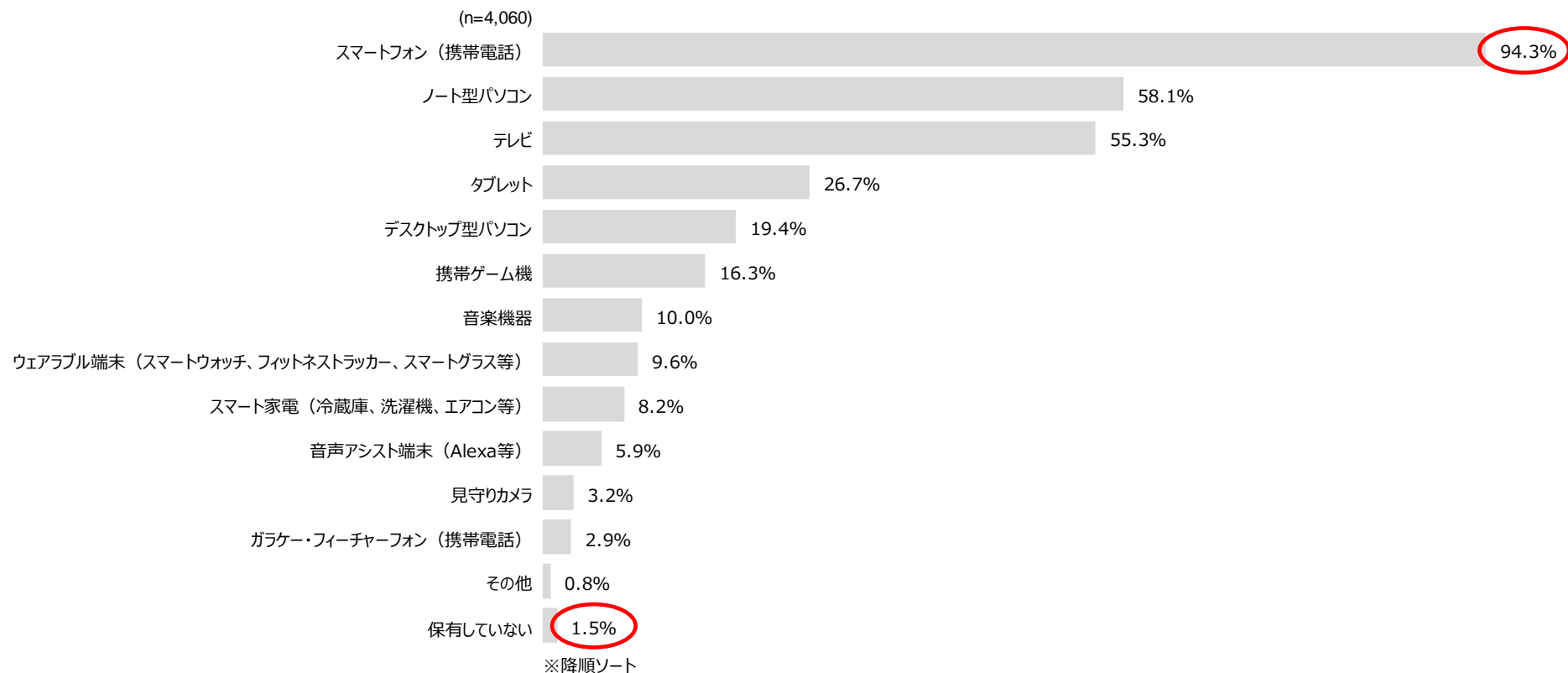
1か月あたりの通信量【世帯年収別】(Q10)



保有している情報通信機器

- ✓ 「スマートフォン（携帯電話）」が9割以上を占める。次いで「ノート型パソコン」「テレビ」が続き、5割後半に及ぶ。
- ✓ いずれの情報通信機器も保有していない人は2%未満。

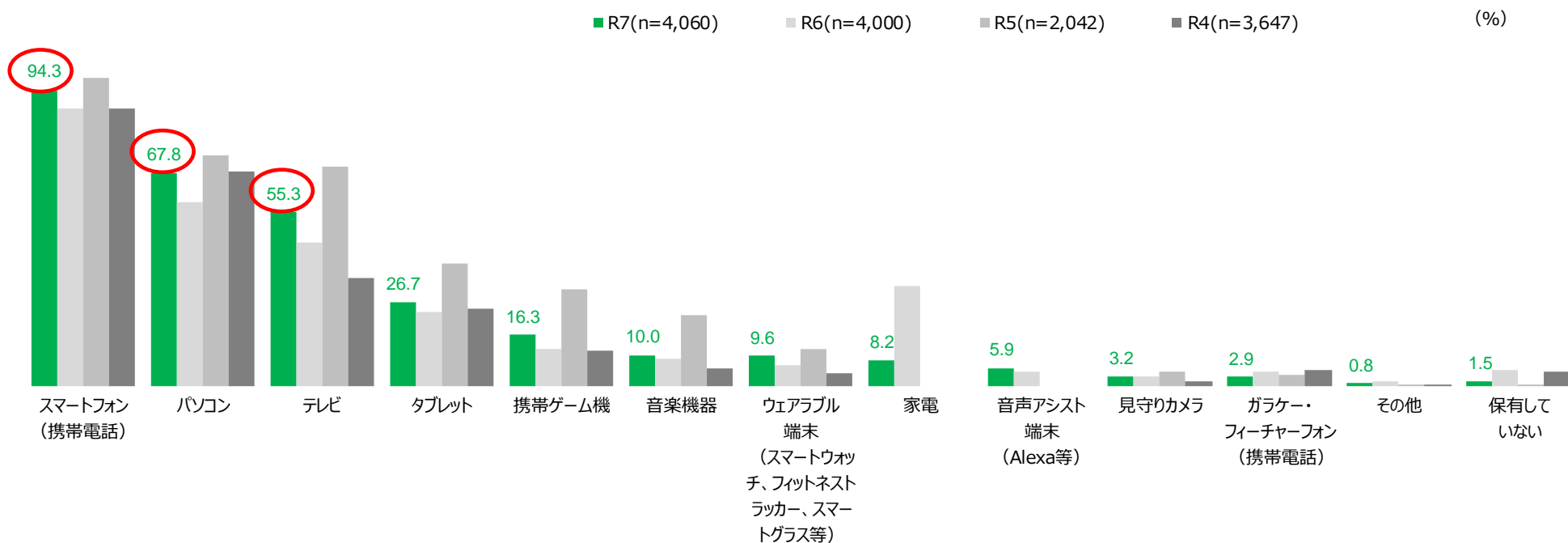
保有している情報通信機器(Q11)



保有している情報通信機器

- ✓ R7の「スマートフォン（携帯電話）」「パソコン」「テレビ」の保有率は、R6と比較して増加が見られる。
- ✓ R6から保有率が大きく低下した「家電」は、R7では「スマート家電（冷蔵庫、洗濯機、エアコン等）」として聴取していたことが影響していると考えられる。

保有している情報通信機器【経年比較】(Q11)



※「R7」のスコアで降順にソート

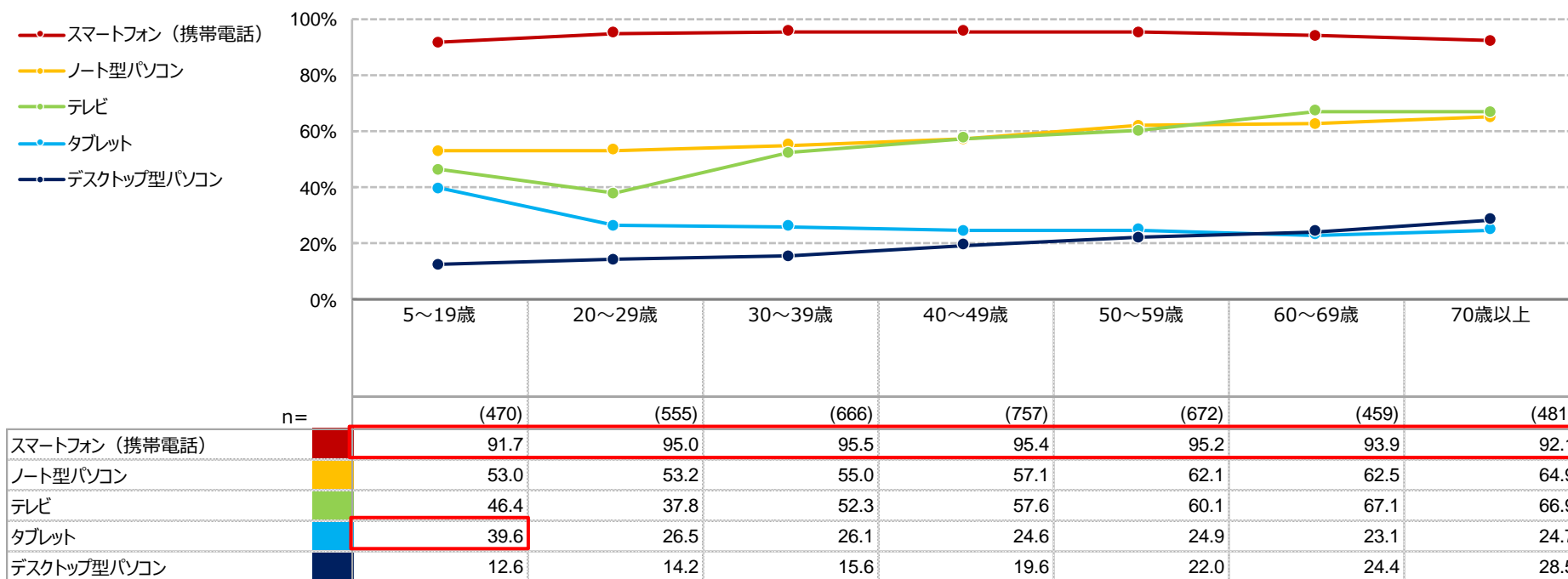
※令和7年度「パソコン」は「デスクトップ型パソコン」と「ノート型パソコン」を合算

※令和7年度「スマート家電（冷蔵庫、洗濯機、エアコン等）」で聴取しているが「家電」として掲載

保有している情報通信機器

- ✓ いずれの年代でも「スマートフォン（携帯電話）」の保有率は9割以上。
- ✓ 「ノート型パソコン」「デスクトップ型パソコン」のどちらも、年代が上がるほど保有率も高まる。また、「テレビ」でも似た傾向が見られる。
- ✓ 「タブレット」は、10代以下の保有率が他の年代に比べて高く、4割近い。

保有している情報通信機器【年代別】（Q11）



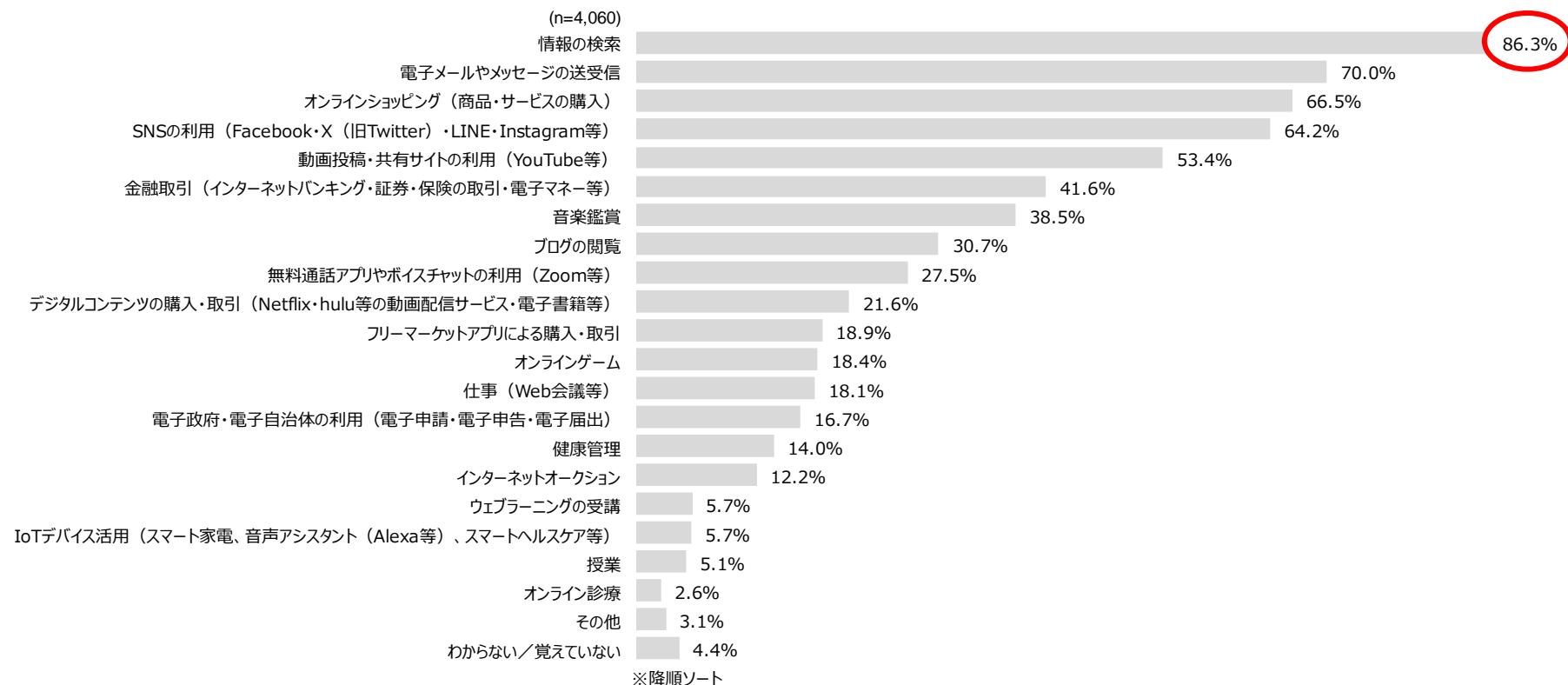
※全体スコア上位5位掲載

インターネットの利用内容

✓ 「情報の検索」が最も高く、8割後半に及ぶ。

次いで「電子メールやメッセージの送受信」「オンラインショッピング（商品・サービスの購入）」が続き、7割程度。

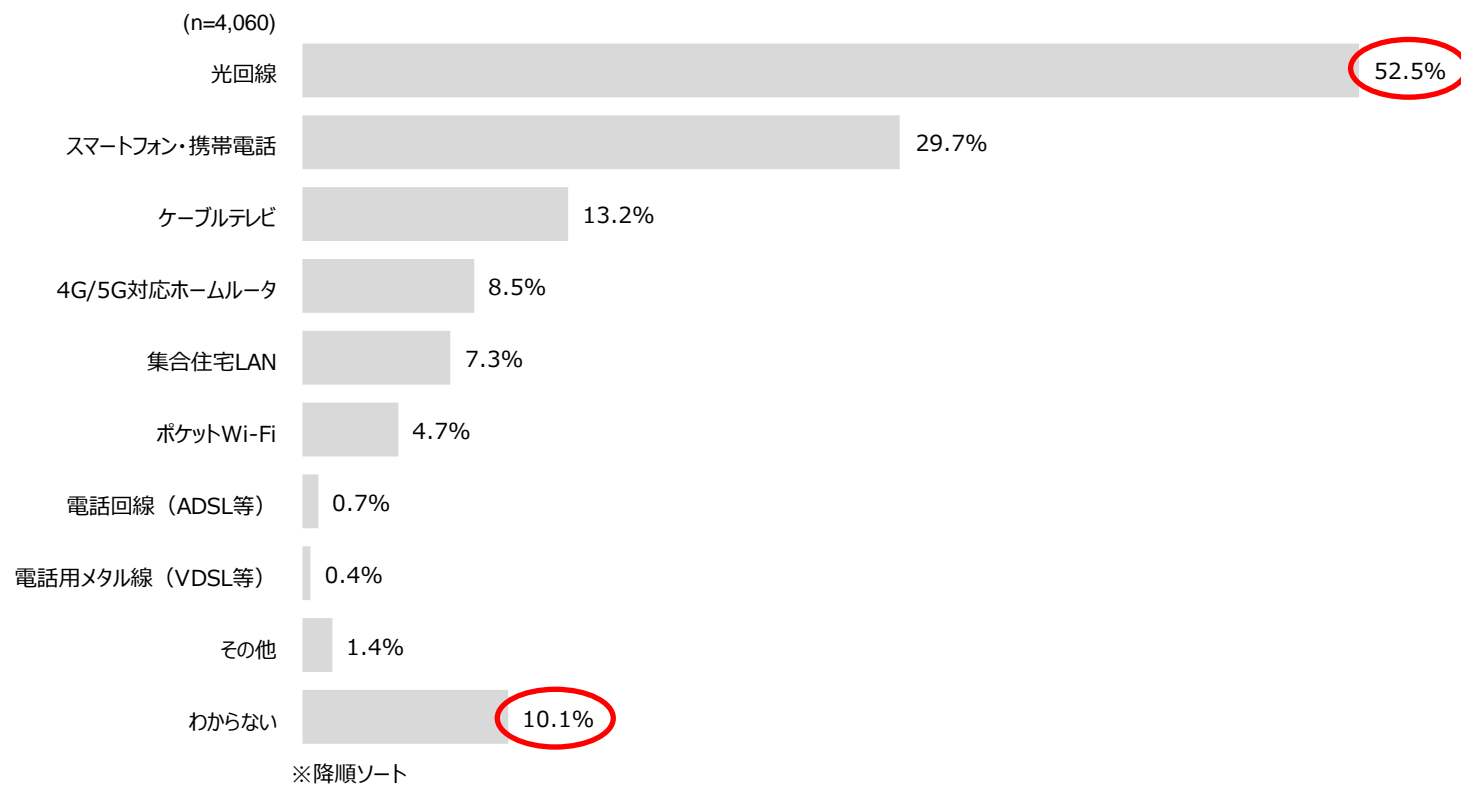
インターネットの利用内容(Q12)



自宅で利用しているインターネット接続回線

- ✓ 「光回線」が最も高く、5割を占めている。次いで「スマートフォン（携帯電話）」が高く3割近い。
- ✓ 自宅で利用しているインターネット回線を把握していない人は1割程度。

自宅で利用しているインターネット接続回線(Q19)

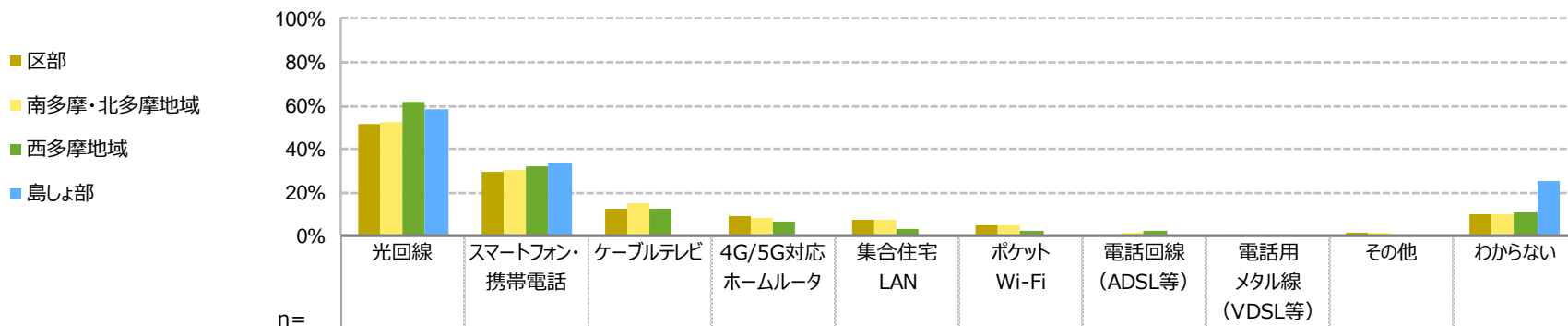


※「集合住宅LAN」「電話用メタル線」は集合住宅居住者のみ、「電話回線」は集合住宅居住者のみに表示していた。

自宅で利用しているインターネット接続回線

- ✓ 西多摩地域では「光回線」が他の地域に比べて高く、6割に及ぶ。
- ✓ その他では、居住地によるインターネット回線の差は見られない。

自宅で利用しているインターネット接続回線【居住地別】 (Q19)



居住地別		n=	光回線	スマートフォン・携帯電話	ケーブルテレビ	4G/5G対応ホームルータ	集合住宅LAN	ポケットWi-Fi	電話回線(ADSL等)	電話用メタル線(VDSL等)	その他	わからない
区部	(2,755)	51.8	29.2	12.6	8.9	7.6	4.9	0.5	0.3	1.6	10.2	
南多摩・北多摩地域	(1,112)	52.7	30.5	14.8	8.0	7.5	4.8	1.2	0.5	1.1	9.7	
西多摩地域	(181)	61.9	32.0	12.7	6.1	2.8	2.2	2.2	0.6	0.6	10.5	
島しょ部	(12)	58.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25.0

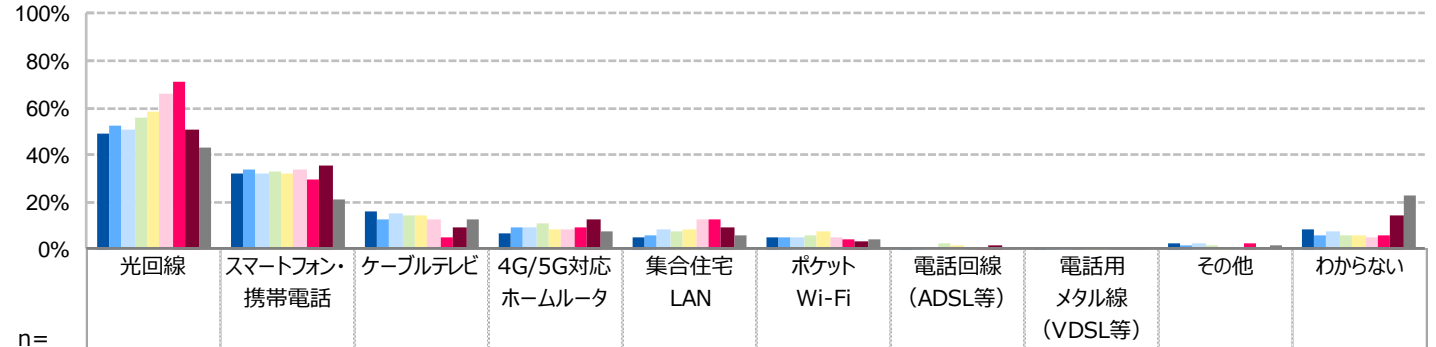
※全体のスコアで降順ソート

自宅で利用しているインターネット接続回線

- ✓ 世帯年収が上がるにつれて「光回線」「集合住宅LAN」が緩やかに高まる傾向が一部見られる。
世帯年収1,500～2,000万円未満では、「光回線」が7割程度、「集合住宅LAN」が1割以上。

自宅で利用しているインターネット接続回線【世帯年収別】(Q19)

- 200万円未満
- 200～400万円未満
- 400～600万円未満
- 600～800万円未満
- 800～1,000万円未満
- 1,000～1,500万円未満
- 1,500～2,000万円未満
- 2,000万円以上
- わからない・答えたくない



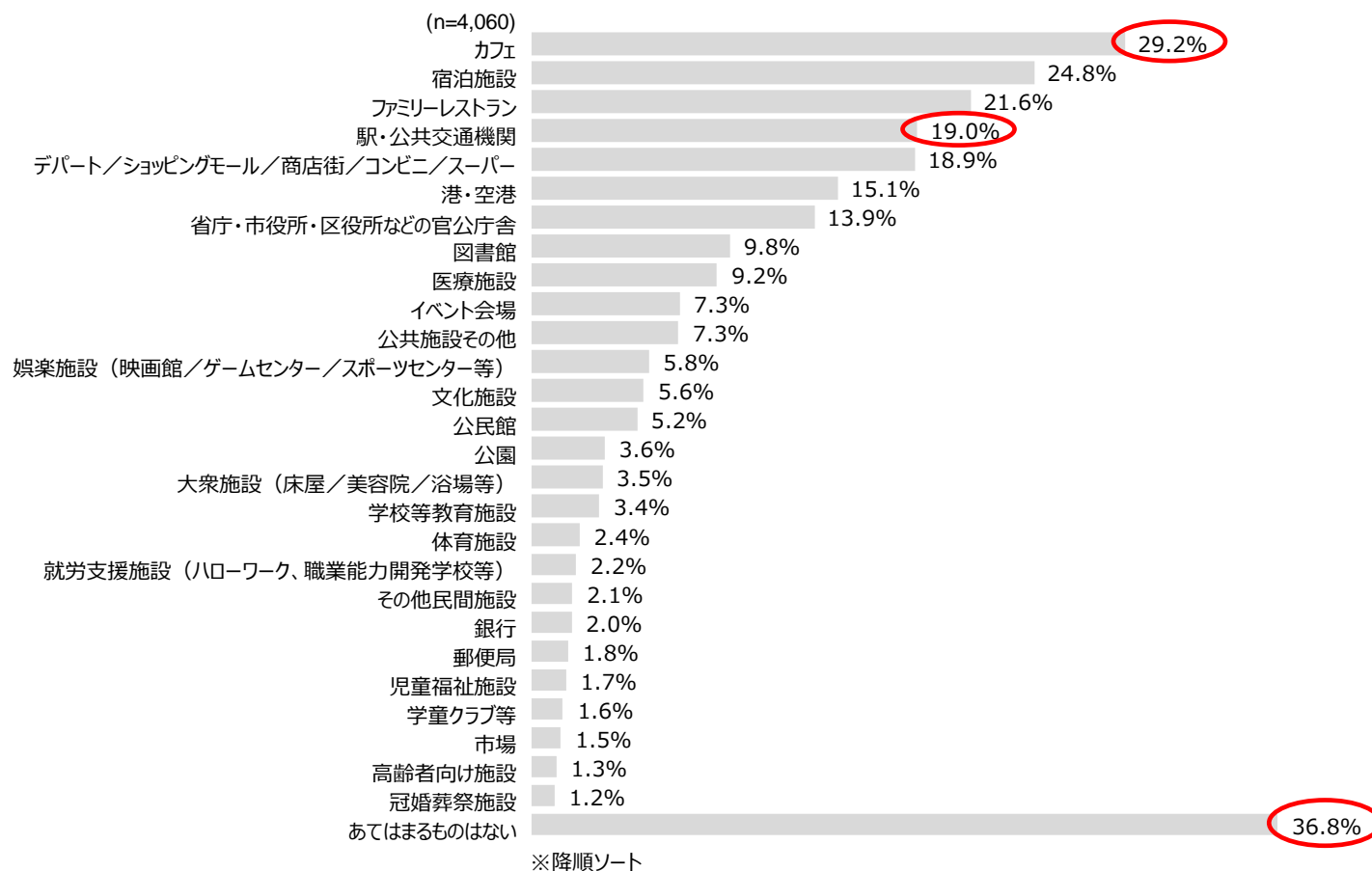
世帯年収別	n=	光回線	スマートフォン・携帯電話	ケーブルテレビ	4G/5G対応ホームルータ	集合住宅LAN	ポケットWi-Fi	電話回線(ADSL等)	電話用メタル線(VDSL等)	その他	わからない
200万円未満	(354)	49.2	31.6	16.1	6.5	4.5	4.5	0.3	0.3	2.0	7.9
200～400万円未満	(638)	52.4	33.7	12.5	9.2	6.0	4.7	0.6	0.5	1.6	5.2
400～600万円未満	(648)	50.9	31.6	14.7	9.4	7.9	4.5	0.6	0.3	1.9	7.7
600～800万円未満	(462)	55.4	32.7	14.3	11.0	7.6	5.2	2.2	-	1.5	5.4
800～1,000万円未満	(348)	58.0	32.2	13.8	7.8	7.8	7.2	1.4	0.9	0.9	5.2
1,000～1,500万円未満	(432)	66.0	33.8	12.0	8.1	12.0	4.9	-	0.7	0.2	4.6
1,500～2,000万円未満	(133)	71.4	29.3	4.5	9.0	12.8	3.8	0.8	-	2.3	6.0
2,000万円以上	(65)	50.8	35.4	9.2	12.3	9.2	3.1	1.5	-	-	13.8
わからない・答えたくない	(980)	43.1	20.7	12.7	7.0	5.7	4.1	0.4	0.3	1.5	22.6

※全体のスコアで降順ソート

公衆Wi-Fiを利用したことのある場所

- ✓ 最も高いのは「カフェ」で3割近い。次いで「宿泊施設」「ファミリーレストラン」と民間施設が上位。
公共施設では「駅・公共交通機関」が最も高い。
- ✓ 公衆Wi-Fiを利用したことがない人は3割半ばに及ぶ。

公衆Wi-Fiを利用したことのある場所(Q31)

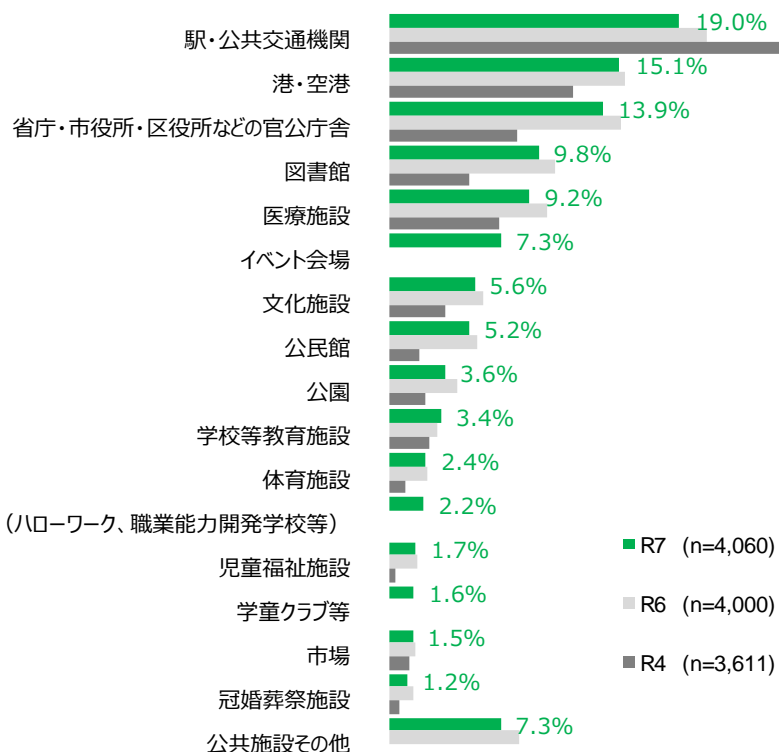


公衆Wi-Fiを利用したことのある場所

✓ ほとんどの施設においてR6と比べて大きな変化はないが、「カフェ」「宿泊施設」の民間施設がやや増加しており、Wi-Fiが普及していることがうかがえる。

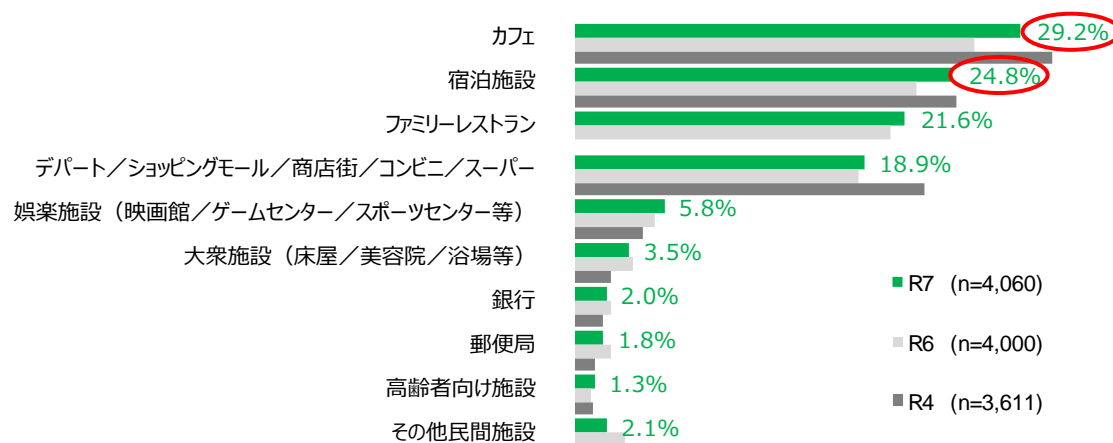
公衆Wi-Fiを利用したことのある場所【経年比較】(Q31)

<公共>



※R7スコアで降順ソート

<民間>



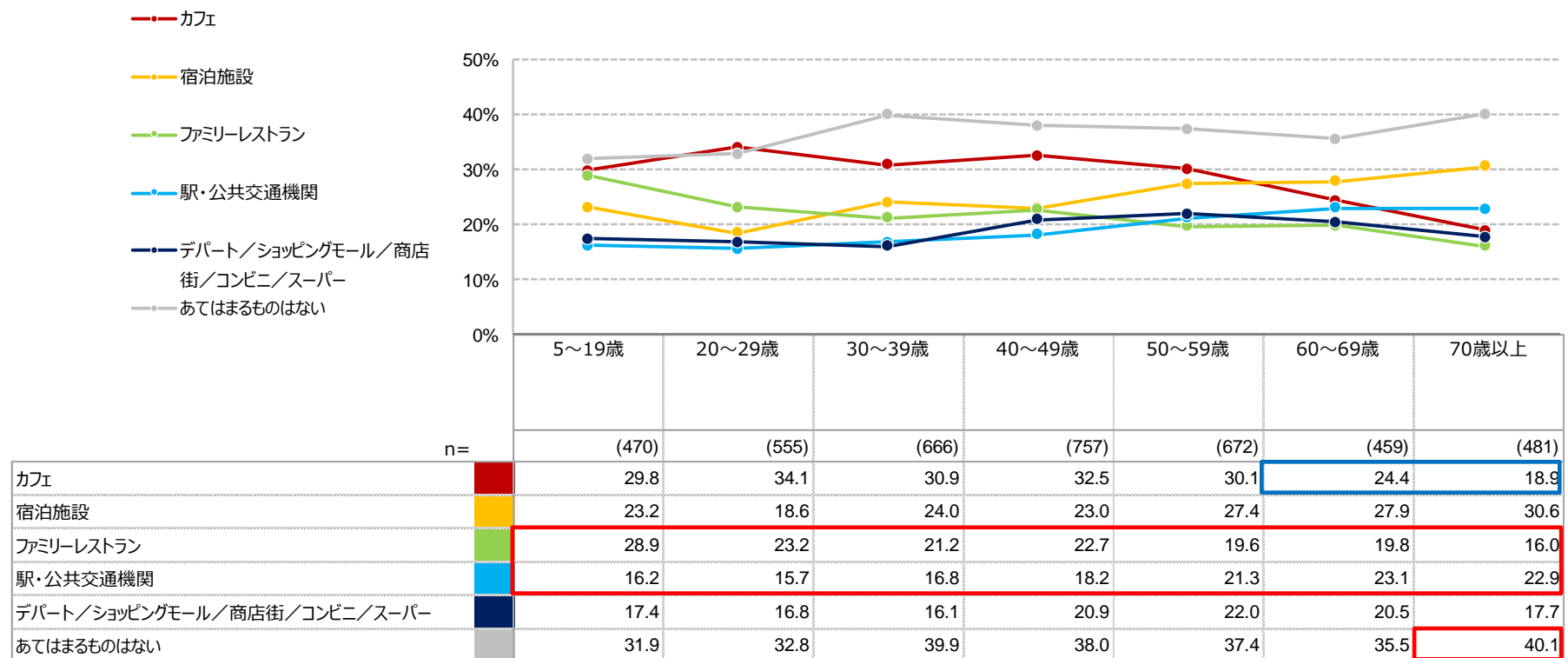
※R7スコアで降順ソート

※令和7年度の調査から、「学童クラブ等」「就労支援施設（ハローワーク、職業能力開発学校等）」「イベント会場」を聴取。
 ※令和4年度の調査では、「カフェ」、「ファミリーレストラン」ではなく「飲食店」という単一の選択肢で調査していたため、「飲食店」の集計結果を「カフェ」の欄に掲載した。その他、「公共施設その他」「その他民間施設」の選択肢がなかったため当該欄は空白値とした。

公衆Wi-Fiを利用したことのある場所

- ✓ 60代以上では「カフェ」が他の年代に比べて低く、2割前後。また、70代は「あてはまるものはない」が4割であった。
- ✓ 年代が上がるにつれて「駅・公共交通機関」が高まる傾向が見られる。対して、「ファミリーレストラン」では年代が下がるにつれて高まる傾向。

公衆Wi-Fiを利用したことのある場所【年代別】(Q31)

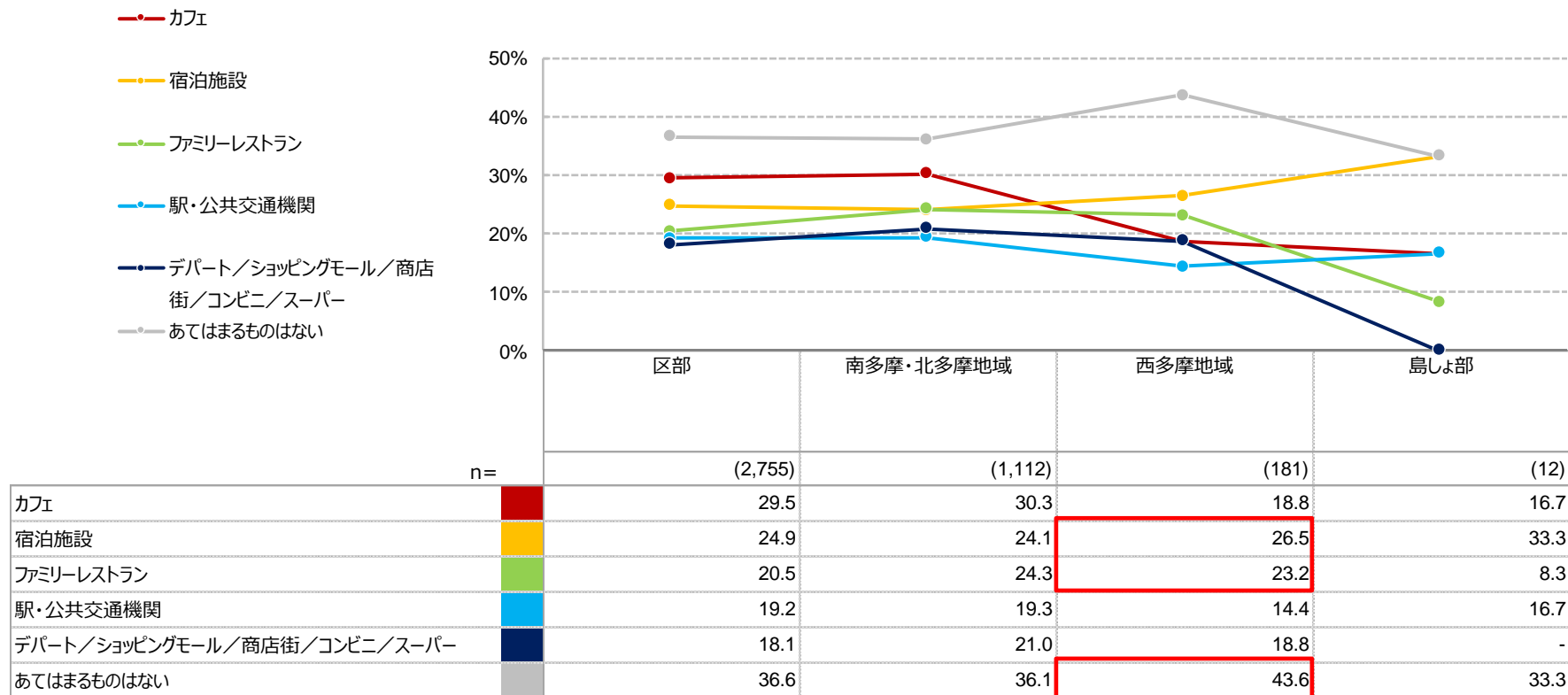


※全体スコア上位5位+あてはまるものはないを掲載

公衆Wi-Fiを利用したことのある場所

- ✓ 区部と南多摩・北多摩地域で大きな差は見られない。
- ✓ 西多摩地域では「カフェ」が他の地域に比べて低く、「宿泊施設」や「ファミリーレストラン」で利用している割合の方が高い。
また、「あてはまるものはない」は4割を超えており、区部、南多摩・北多摩地域と西多摩地域で公衆Wi-Fi利用状況に差があることが見受けられる。

公衆Wi-Fiを利用したことのある場所【居住地別】(Q31)

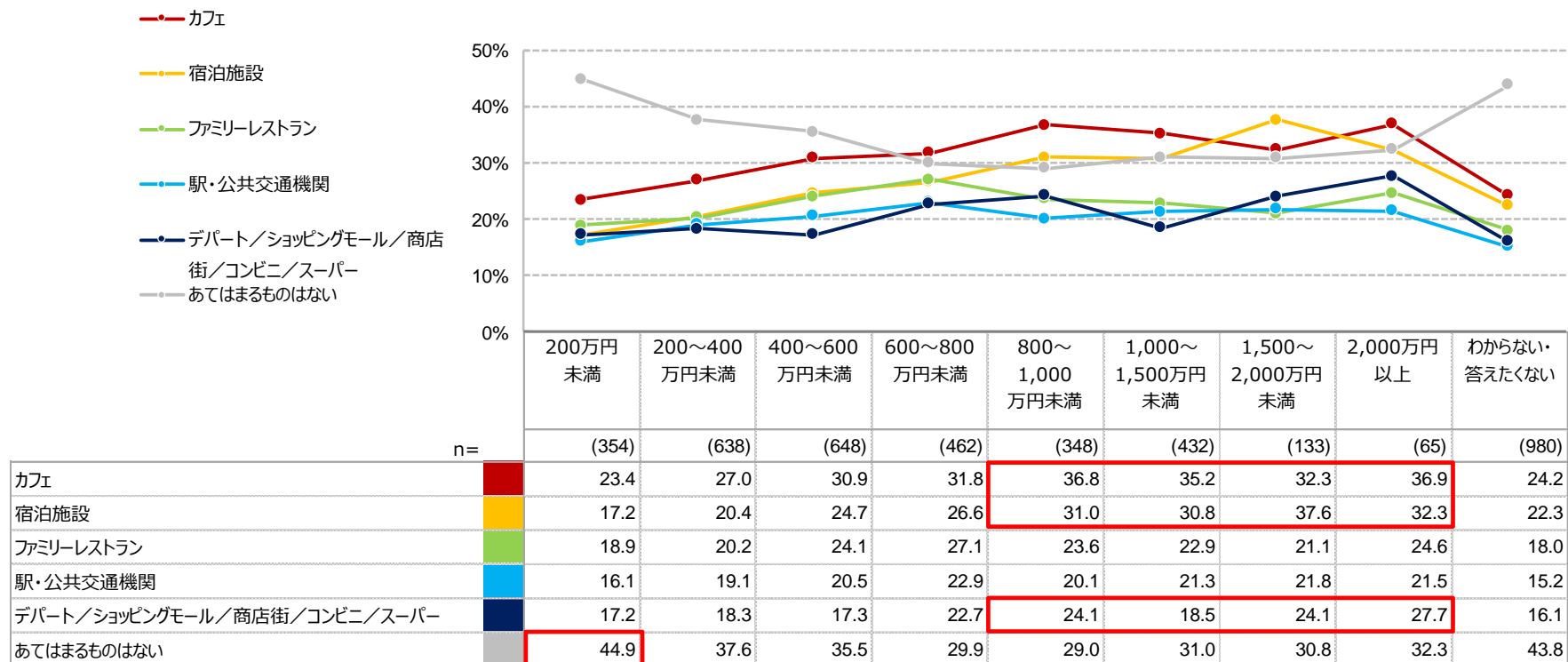


※全体スコア上位5位+あてはまるものはないを掲載

公衆Wi-Fiを利用したことのある場所

- ✓ 200万円未満では、いずれの場所でも利用している割合が最も低く、対して「あてはまるものはない」が4割を超えており高い。世帯年収が低い層ほど公衆Wi-Fiを利用する人が少ない様子が見受けられる。
- ✓ 「カフェ」「宿泊施設」「デパート／ショッピングモール／商店街／コンビニ／スーパー」の民間施設では、800万円以上の層で利用している割合が高くなる傾向が見られる。

公衆Wi-Fiを利用したことのある場所【世帯年収別】(Q31)

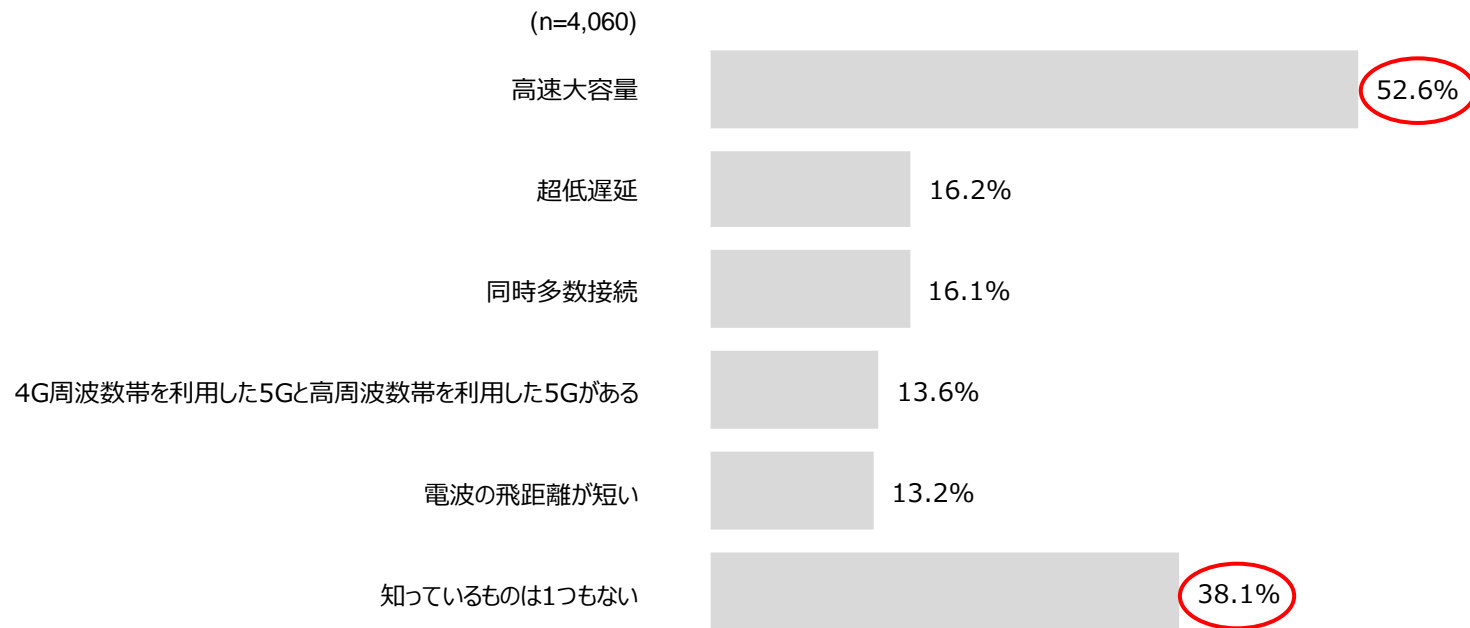


※全体スコア上位5位+あてはまるものはないを掲載

5Gの特徴に関する認知度

- ✓ 「高速大容量（大量のデータを高速でやり取りできる）」が群を抜いて高く、5割程度。
その他の特徴はいずれも1割台で、認知度に大きな差は見られない。
- ✓ いずれの特徴も知らない人は4割近く存在する。

5Gの特徴に関する認知度(Q42)

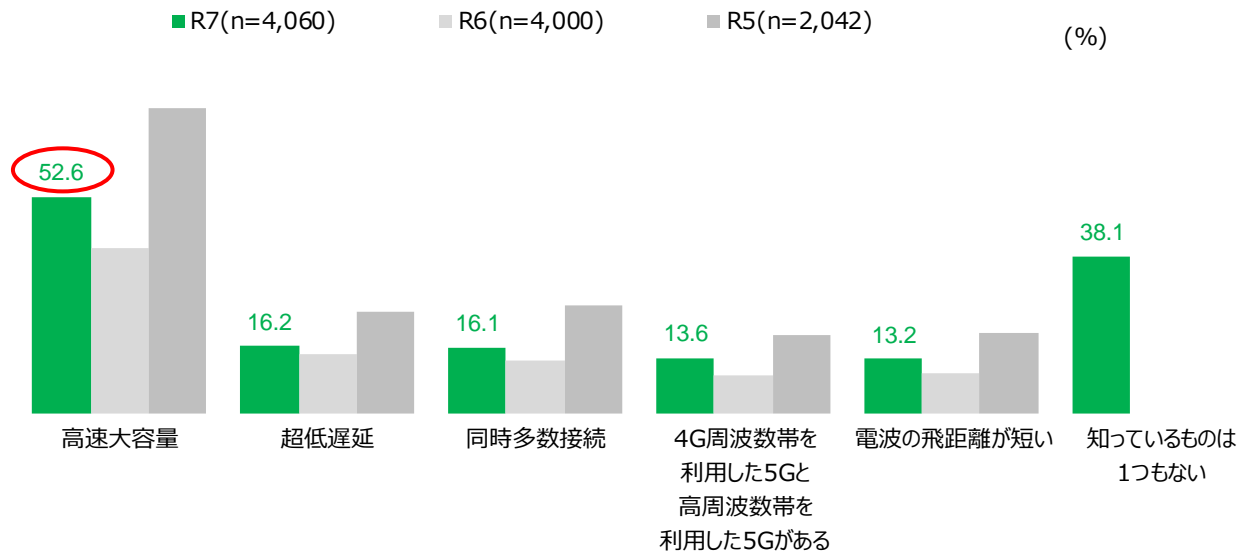


※降順ソート

5Gの特徴に関する認知度

- ✓ 全ての項目においてR6と比べて認知は増加しており、特に「高速大容量」の増加率が高い。
5Gの普及により特徴も認知している人が増えていることがうかがえる。

5Gの特徴に関する認知度【経年比較】(Q42)

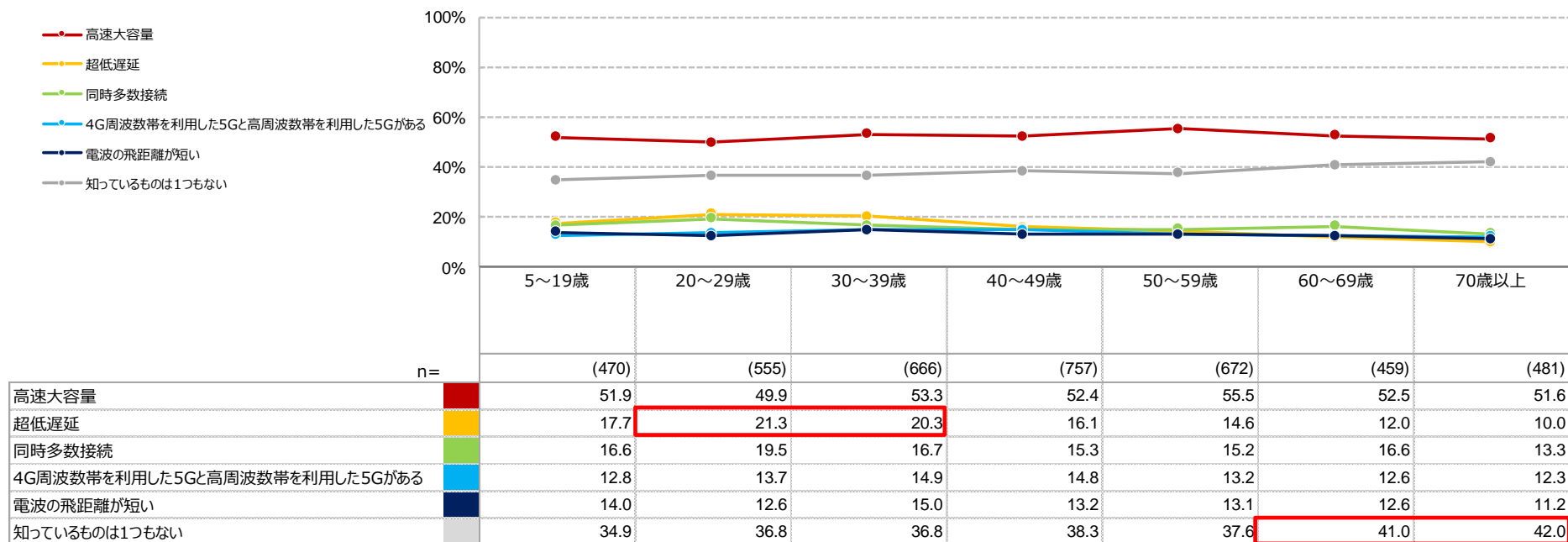


※「R7」のスコアで降順にソート

5Gの特徴に関する認知度

- ✓ 年代が上がるにつれて「知っているものは1つもない」が高まる傾向が見られ、60代以上では特徴を1つも知らない人が4割程度。
- ✓ 20～30代では「超低遅延（通信の遅延が短縮される）」の特徴認知が他の年代に比べてやや高い。

5Gの特徴に関する認知度【年代別】(Q42)

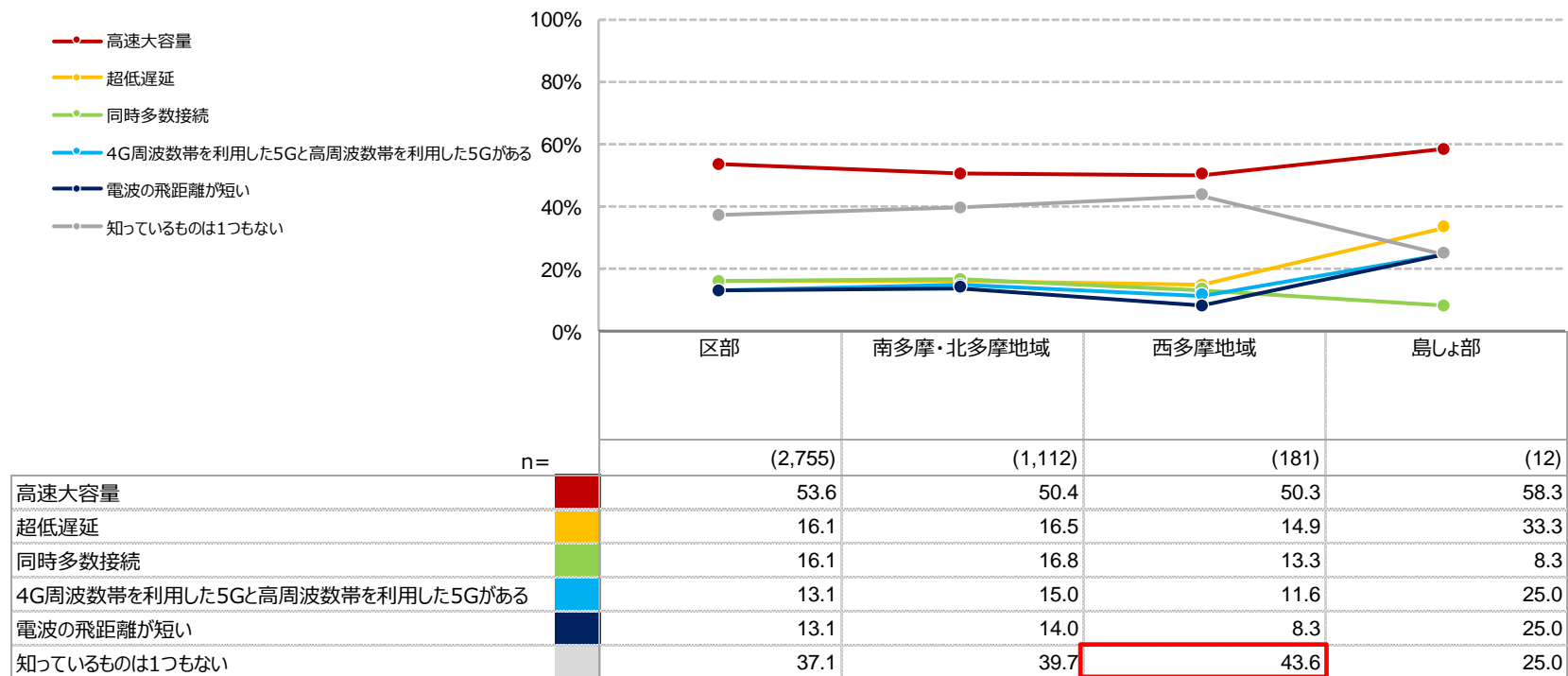


※全体のスコアで降順ソート

5Gの特徴に関する認知度

- ✓ 区部、南多摩・北多摩地域、西多摩地域の順で「知っているものは1つもない」の割合が高くなっており、西多摩地域では特徴を1つも知らない割合が4割以上。
- ✓ 各特徴において居住地による大きな差は見られない。

5Gの特徴に関する認知度【居住地別】(Q42)

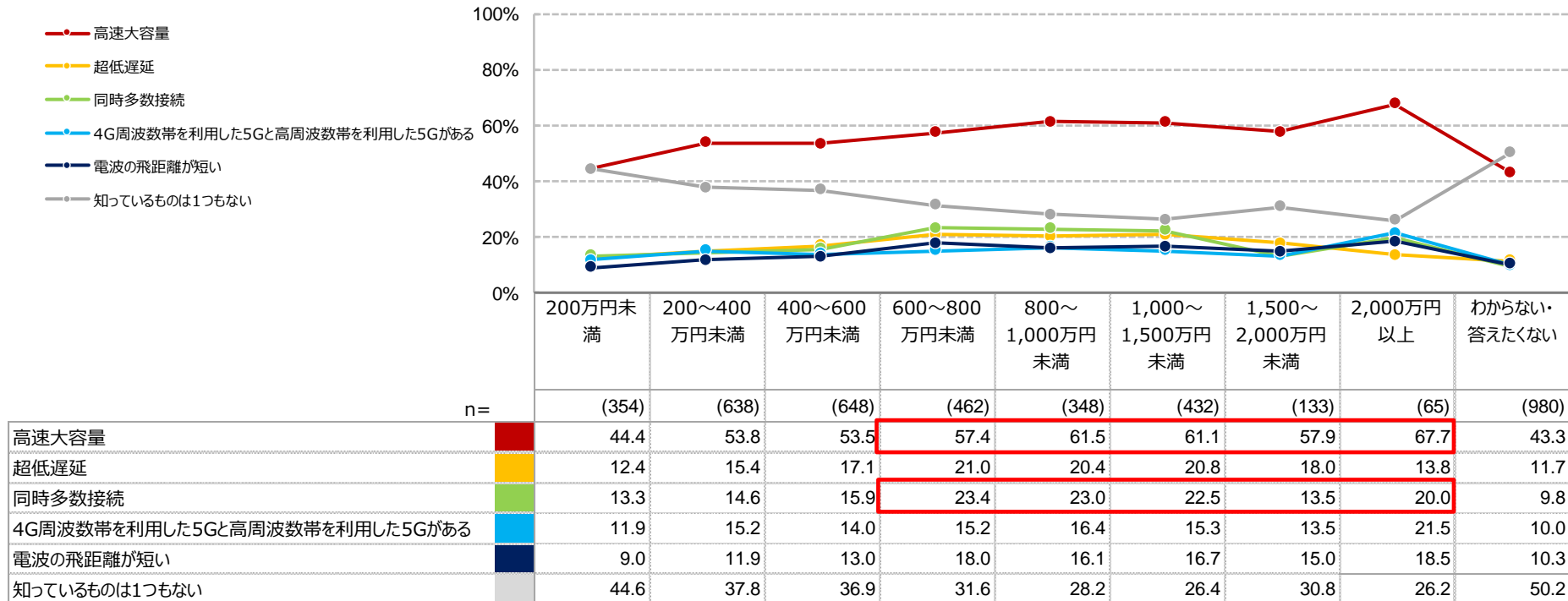


※全体のスコアで降順ソート

5Gの特徴に関する認知度

- ✓ 600万円以上で「知っているものは1つもない」が3割前後となり、600万円未満に比べて特徴の認知度が高い様子。
特に「高速大容量（大量のデータを高速でやり取りできる）」「同時多数接続（同時接続可能な機器の台数が増加する）」の認知が高い。

5Gの特徴に関する認知度【世帯年収別】(Q42)

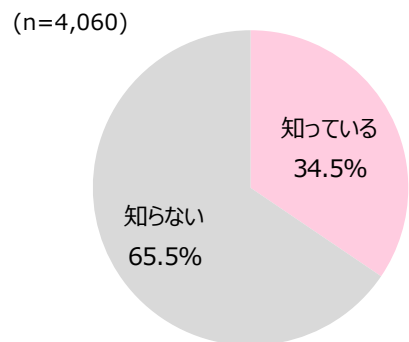


※全体のスコアで降順ソート

5Gミリ波の認知/対応機種保有状況

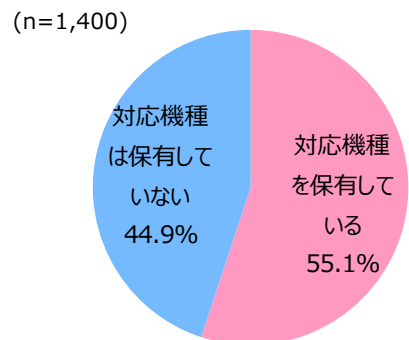
- ✓ 5Gミリ波を「知っている」と回答した割合は約3割。
- ✓ 認知者のうち「対応機種を保有している」と回答した割合は5割を超えており、保有している割合が多い。回答者全体の保有率は2割弱。
- ✓ R6と比べて認知率は約10pt増加している。

5Gミリ波の認知度/対応機種保有有無(Q43)

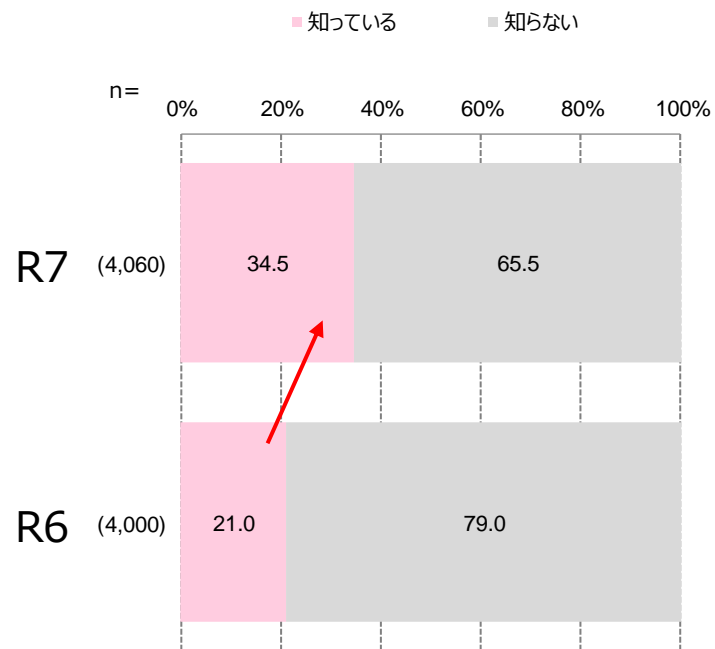


5Gミリ波の対応機種保有状況(Q43)

※5Gミリ波認知者ベース



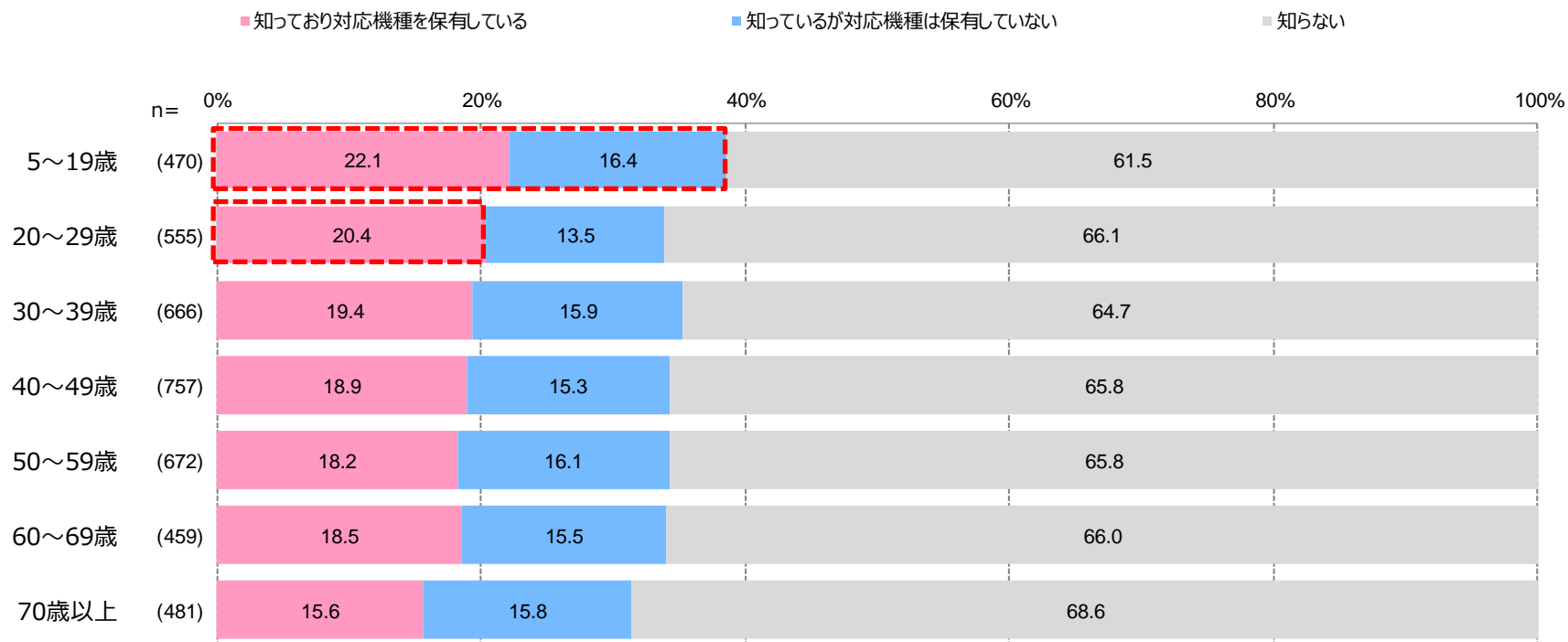
5Gミリ波の認知度【経年比較】(Q43)



5Gミリ波の認知度

- ✓ 「知っており対応機種を保有している」「知っているが対応機種は保有していない」を合わせた認知率は10代以下が最も高い。
また、20代以下は「知っており対応機種を保有している」が2割を超えており、若年層ほど認知かつ保有率が高い傾向が見受けられる。

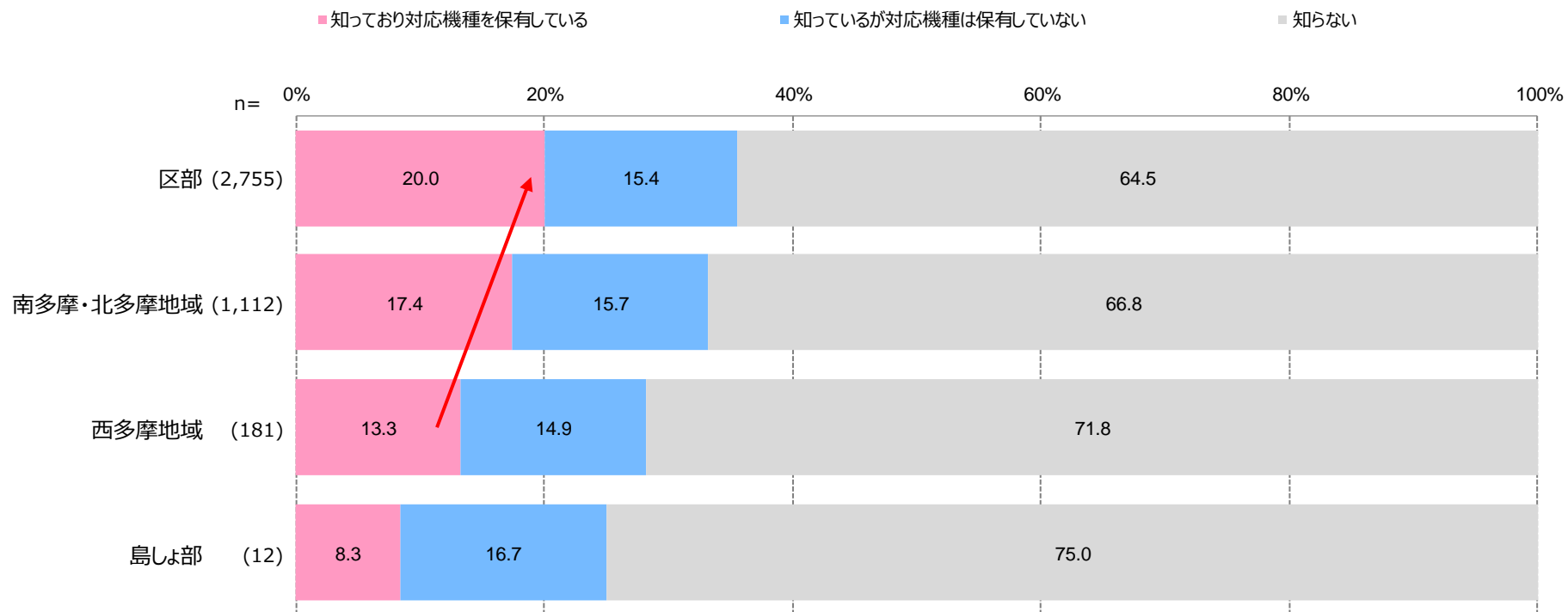
5Gミリ波の認知度【年代別】(Q43)



5Gミリ波の認知度

- ✓ 島しょ部、西多摩地域、南多摩・北多摩地域、区部の順で「知っており対応機種を保有している」が高くなっており、都の中心部になるにつれて認知率や保有率が高い様子。

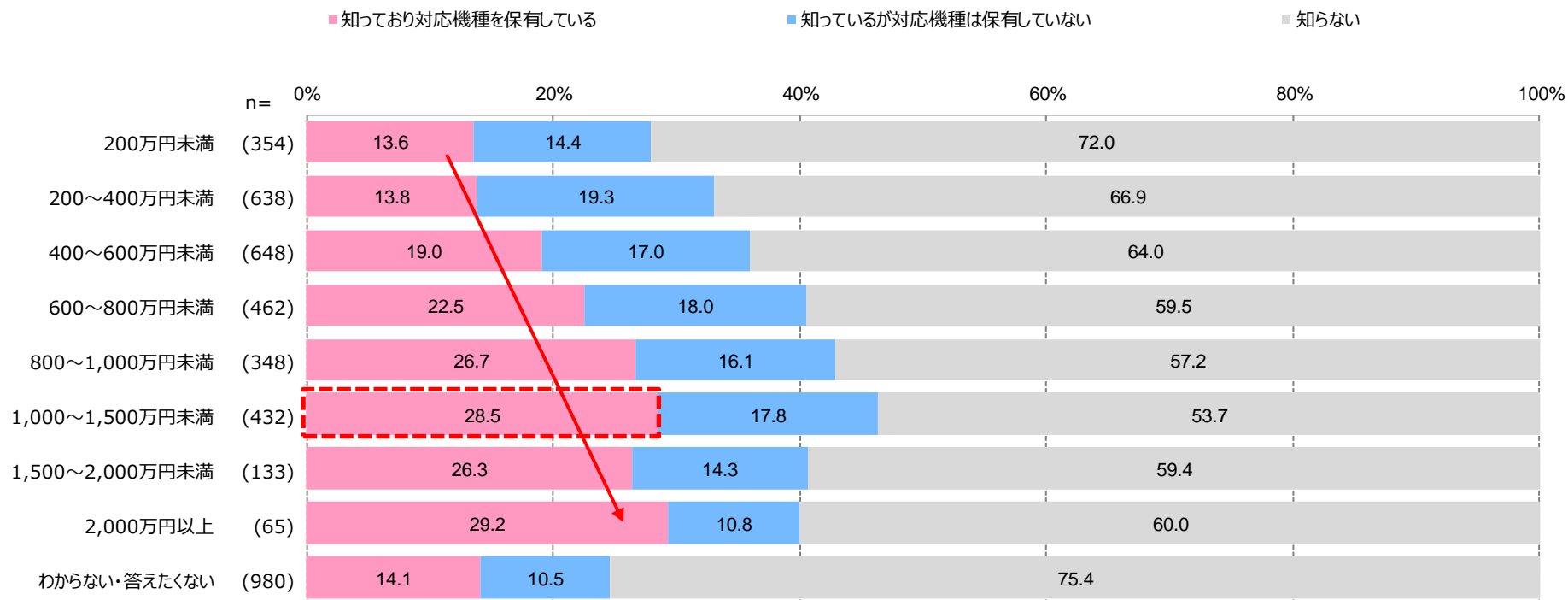
5Gミリ波の認知度【居住地別】(Q43)



5Gミリ波の認知度

- ✓ 世帯年収が上がるほど「知っており対応機種を保有している」が高まる傾向が見られる。
- ✓ 「知っており対応機種を保有している」「知っているが対応機種は保有していない」を合わせた認知率は1,000～1,500万円未満が最も高い。

5Gミリ波の認知度【世帯年収別】(Q43)

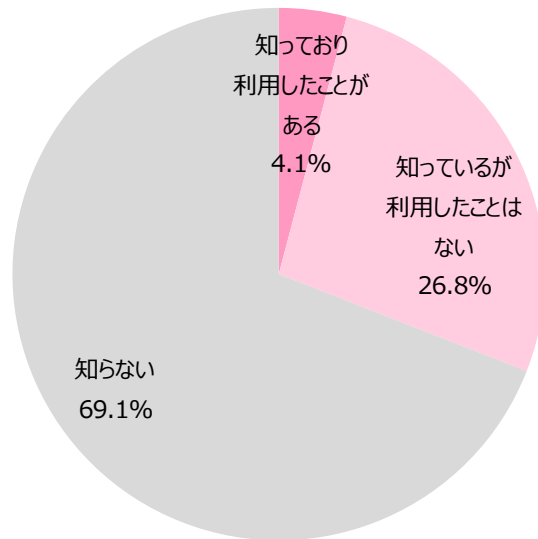


民間の低軌道衛星サービスに関する認知度

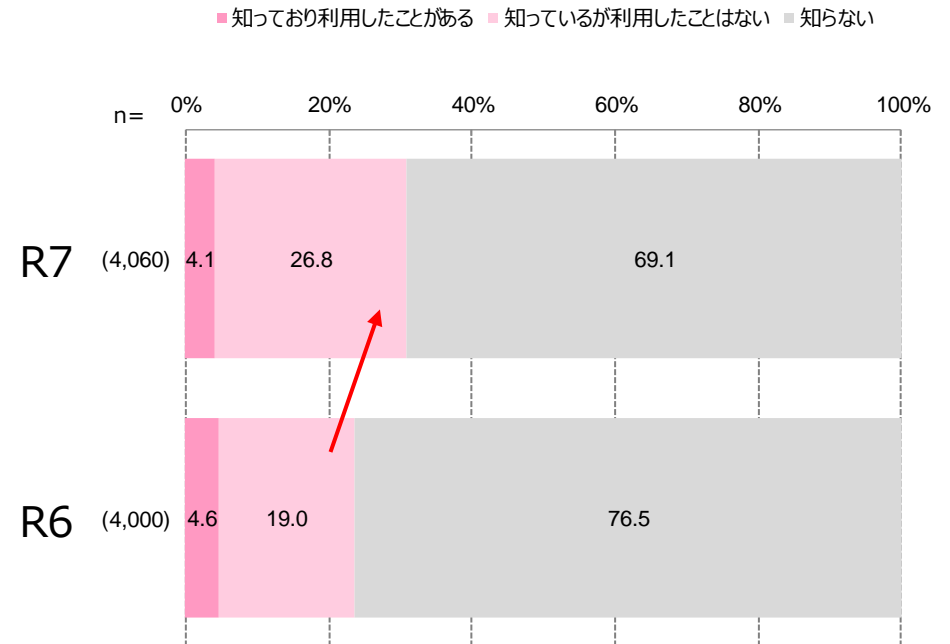
- ✓ 「知っている」と回答した割合は約3割。
- ✓ R6と比べると、「知っている」は増加しているものの、「知っており利用したことがある」の割合は変わらない。認知は増加しているものの、利用まで至る人はまだ少ない様子。

民間の低軌道衛星サービスに関する認知度(Q45)

(n=4,060)



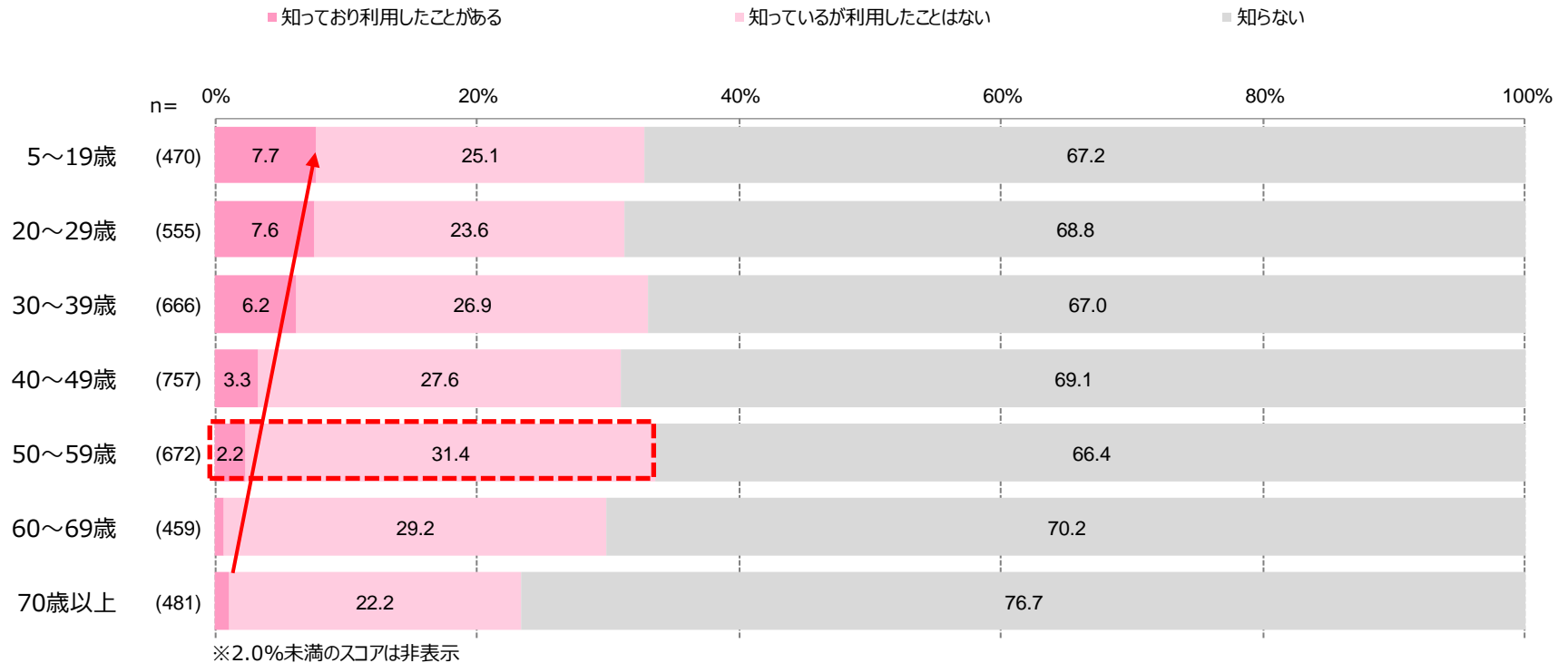
民間の低軌道衛星サービスに関する認知度【経年比較】(Q45)



民間の低軌道衛星サービスに関する認知度

- ✓ 50代は「知っている」が他の年代と比べて高いものの、「知っており利用したことがある」は40代以下と比べて低い。
- ✓ 「知っており利用したことがある」は年代が下がるにつれて高くなっている。

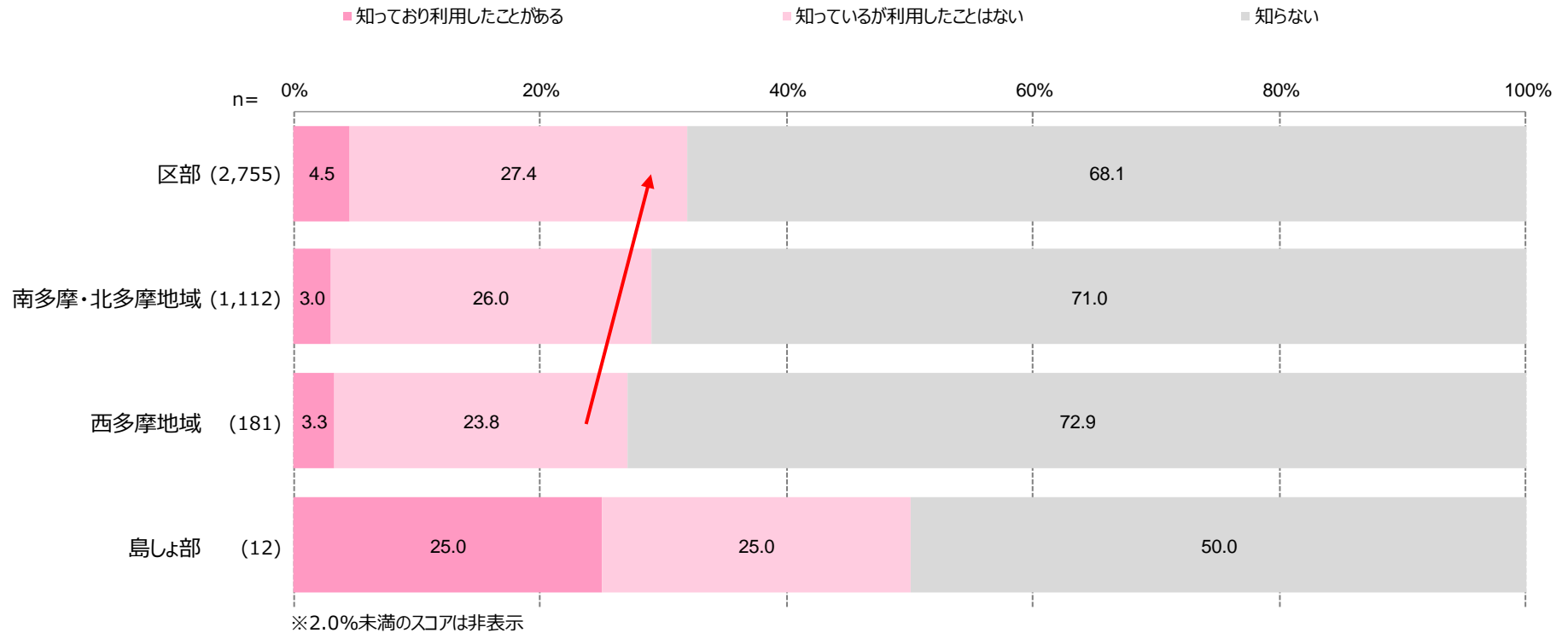
民間の低軌道衛星サービスに関する認知度【年代別】(Q45)



民間の低軌道衛星サービスに関する認知度

✓ 都の中心部に行くにつれて認知率は利用率がやや高くなる傾向にあるが、全体的には居住地による差はほとんど見られない。

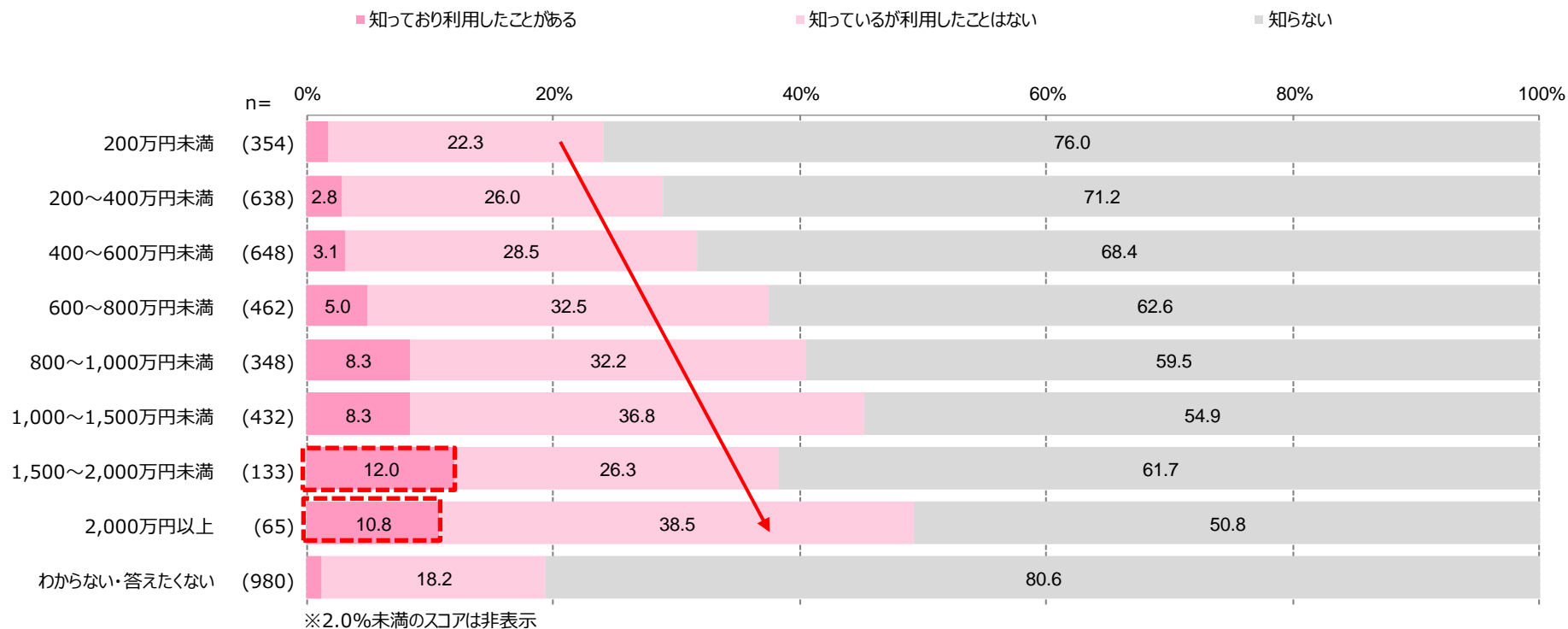
民間の低軌道衛星サービスに関する認知度【居住地別】 (Q45)



民間の低軌道衛星サービスに関する認知度

- ✓ 世帯年収が上がるほど認知度・利用率ともに高まる傾向が見られる。
- ✓ 特に1,500万円以上で「利用したことがある」は1割を超えている。

民間の低軌道衛星サービスに関する認知度【世帯年収別】(Q45)

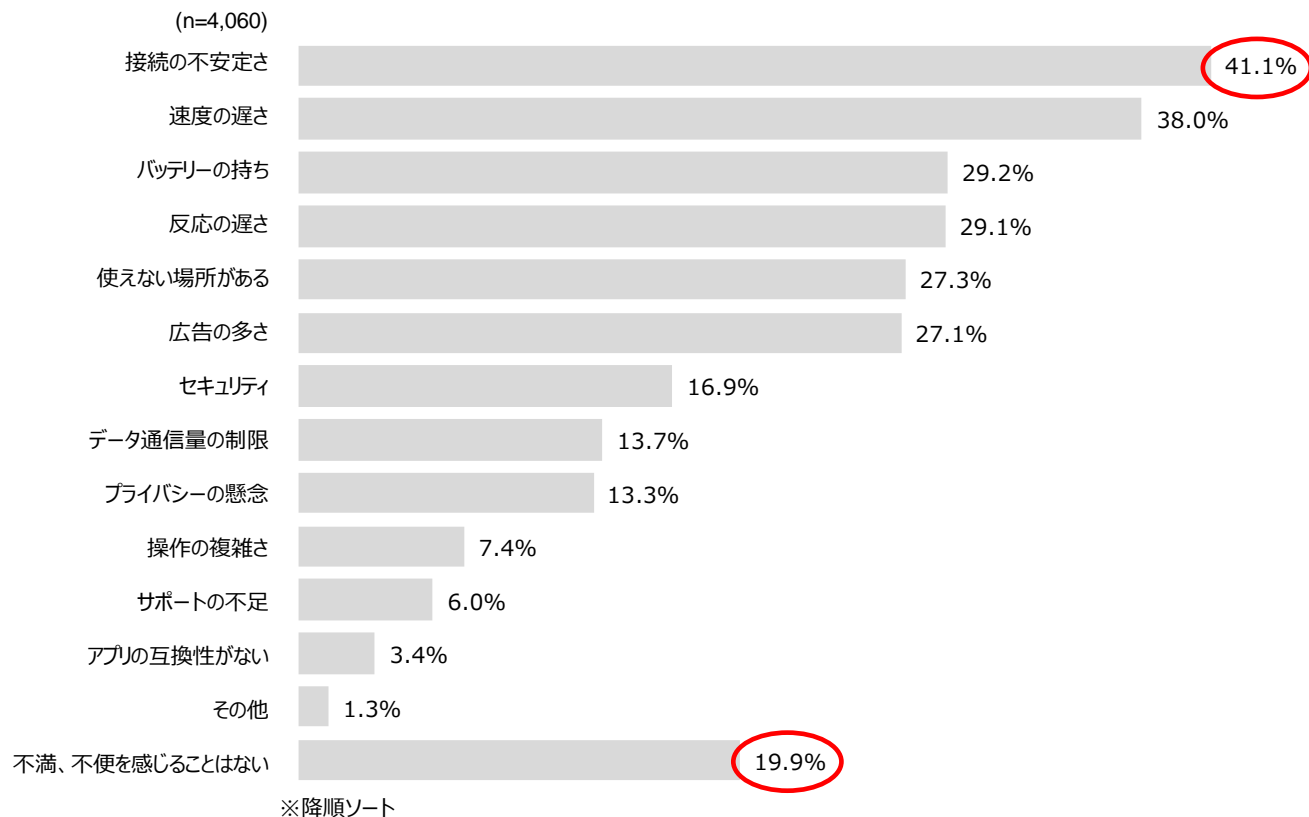


3.4 都民のニーズ・満足度

インターネット利用時の不満点

- ✓ 「接続の不安定さ」が最も高く、約4割。次いで「速度の遅さ」「バッテリーの持ち」「反応の遅さ」が続き、通信品質への不満が上位。
- ✓ インターネット利用に不満や不便を感じていない人は2割程度。

インターネット利用時の不満点(Q24)



インターネット利用時の不満点

- ✓ 10代以下は「接続の不安定さ」が半数を超え、他の年代と比べて高い。
- ✓ また、年代が下がるにつれて「データ通信量の制限」が高まる傾向が見られ、10代以下では2割に達する。
- ✓ 50代以上では「広告の多さ」が40代以下に比べて高く、3割に及ぶ。ネット広告への抵抗感や煩わしさを感じていることがうかがえる。

インターネット利用時の不満点【年代別】(Q24)

	(%)						
	5~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上
n=	(470)	(555)	(666)	(757)	(672)	(459)	(481)
接続の不安定さ	50.4	40.5	45.6	44.6	42.0	34.6	25.6
速度の遅さ	44.3	39.6	43.1	42.4	38.7	30.3	22.5
バッテリーの持ち	31.3	25.8	27.5	28.3	31.3	33.8	28.1
反応の遅さ	30.0	29.4	28.8	29.6	32.4	27.7	24.5
使えない場所がある	30.6	24.3	31.2	30.8	26.8	24.6	20.2
広告の多さ	24.5	23.6	22.4	24.7	30.4	31.4	35.8
セキュリティ	12.8	14.2	12.9	16.9	17.3	21.1	24.7
データ通信量の制限	20.2	17.3	18.5	11.6	13.1	7.6	6.7
プライバシーの懸念	10.0	13.0	13.1	11.5	14.0	14.6	17.7
操作の複雑さ	9.1	6.5	7.4	5.9	5.5	8.3	11.2
サポートの不足	6.4	5.6	5.6	5.4	5.8	7.4	6.9
アプリの互換性がない	3.8	4.3	4.2	3.4	3.3	2.2	2.3
その他	1.7	0.7	1.1	1.6	1.2	2.6	0.6
不満、不便を感じることはない	16.6	22.2	21.0	18.8	18.9	20.9	21.0

※全体のスコアで降順ソート

インターネット利用時の不満点

- ✓ 西多摩地域では「広告の多さ」が他の地域に比べて高く、3割以上。
- ✓ その他のインターネット利用時の不満点では、居住地による差はほとんど見られない。

インターネット利用時の不満点【居住地別】(Q24)

	(%)			
	区部	南多摩・北多摩地域	西多摩地域	島しょ部
n=	(2,755)	(1,112)	(181)	(12)
接続の不安定さ	41.2	41.1	41.4	8.3
速度の遅さ	38.8	36.4	37.6	16.7
バッテリーの持ち	28.6	30.4	32.6	8.3
反応の遅さ	29.8	27.0	32.6	16.7
使えない場所がある	26.8	28.5	28.2	33.3
広告の多さ	27.1	26.3	33.1	25.0
セキュリティ	17.3	15.8	17.7	-
データ通信量の制限	13.6	14.1	12.2	16.7
プライバシーの懸念	13.9	11.3	16.6	8.3
操作の複雑さ	7.4	7.8	6.1	8.3
サポートの不足	5.7	7.1	5.0	8.3
アプリの互換性がない	3.0	4.1	5.0	-
その他	1.3	1.2	2.8	-
不満、不便を感じることはない	18.9	22.1	20.4	16.7

※全体のスコアで降順ソート

インターネット利用時の不満点

- ✓ 世帯年収1,500万円未満では「接続の不安定さ」が最も高い。
対して、世帯年収1,500万円以上では「速度の遅さ」が最も高く、特に2,000万円以上では5割に達する。
- ✓ 世帯年収が下がるにつれて「反応の遅さ」がやや高まる傾向が見られる。

インターネット利用時の不満点【世帯年収別】(Q24)

	(%)								
	200万円未満	200~400万円未満	400~600万円未満	600~800万円未満	800~1,000万円未満	1,000~1,500万円未満	1,500~2,000万円未満	2,000万円以上	わからない・答えたくない
n=	(354)	(638)	(648)	(462)	(348)	(432)	(133)	(65)	(980)
接続の不安定さ	37.6	39.3	41.0	43.9	44.0	42.1	40.6	44.6	40.5
速度の遅さ	31.1	35.0	38.9	39.8	42.0	39.6	45.9	50.8	37.0
バッテリーの持ち	29.7	29.6	29.2	29.4	29.0	28.5	24.8	26.2	30.0
反応の遅さ	31.1	31.5	29.9	29.2	29.0	26.6	26.3	27.7	28.0
使えない場所がある	21.8	28.1	27.6	28.6	29.6	33.3	29.3	24.6	24.6
広告の多さ	28.8	32.4	26.1	23.6	23.3	22.9	28.6	18.5	29.1
セキュリティ	18.6	17.4	15.7	13.4	18.1	16.4	17.3	6.2	18.7
データ通信量の制限	12.4	12.4	11.7	15.6	15.8	14.6	14.3	15.4	14.2
プライバシーの懸念	10.5	15.4	11.4	11.7	11.8	12.3	9.8	6.2	16.8
操作の複雑さ	9.9	6.9	6.2	6.7	8.6	6.3	8.3	9.2	8.0
サポートの不足	8.2	6.3	4.5	3.7	5.5	7.2	7.5	6.2	6.7
アプリの互換性がない	4.2	4.1	1.9	2.8	4.0	3.2	4.5	-	4.0
その他	2.3	1.4	1.2	1.3	0.6	0.7	0.8	3.1	1.5
不満、不便を感じることはない	21.8	18.7	19.9	15.6	16.7	19.0	16.5	13.8	24.4

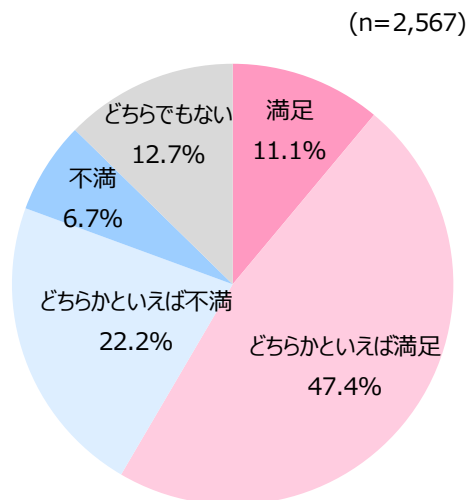
※全体のスコアで降順ソート

公衆Wi-Fiに対する満足度

- ✓ 「満足（どちらかといえば満足を含む）」と回答した割合は6割弱であり、「不満（どちらかといえば不満を含む）」と回答した割合は3割弱。
- ✓ 経年比較による大きな差は見られないものの、R6と比べると「満足（どちらかといえば満足を含む）」はやや増加した。

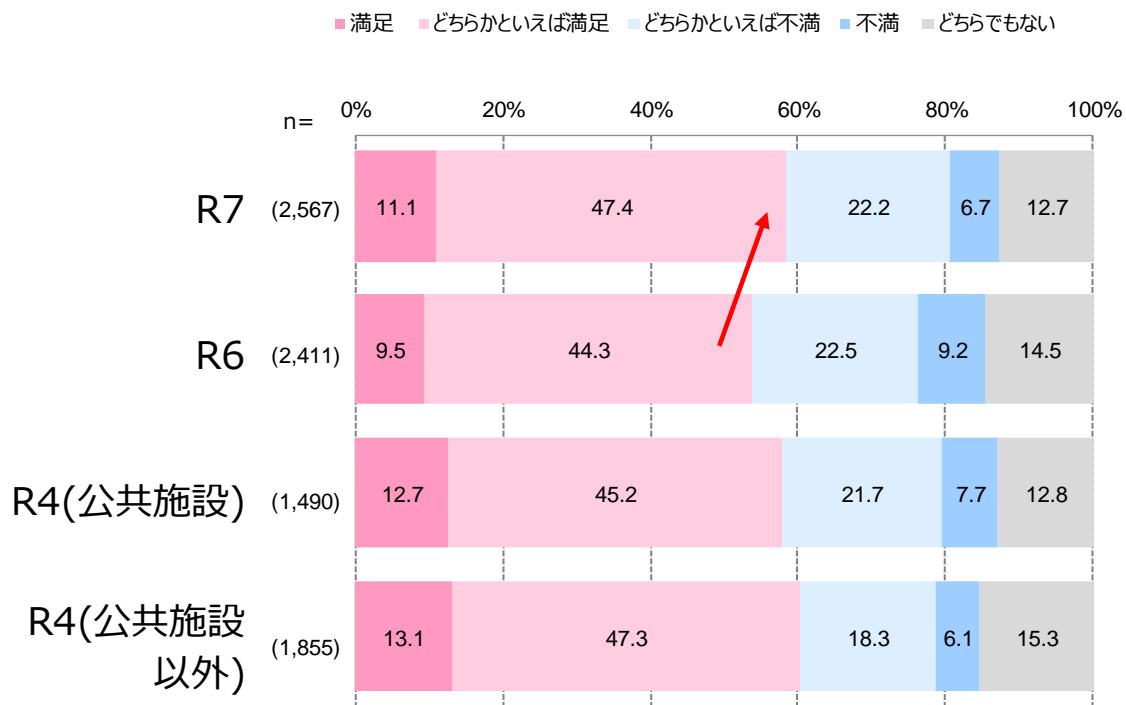
公衆Wi-Fiに対する満足度(Q33)

※公衆Wi-Fi利用者ベース



公衆Wi-Fiに対する満足度【経年比較】(Q33)

※公衆Wi-Fi利用者ベース

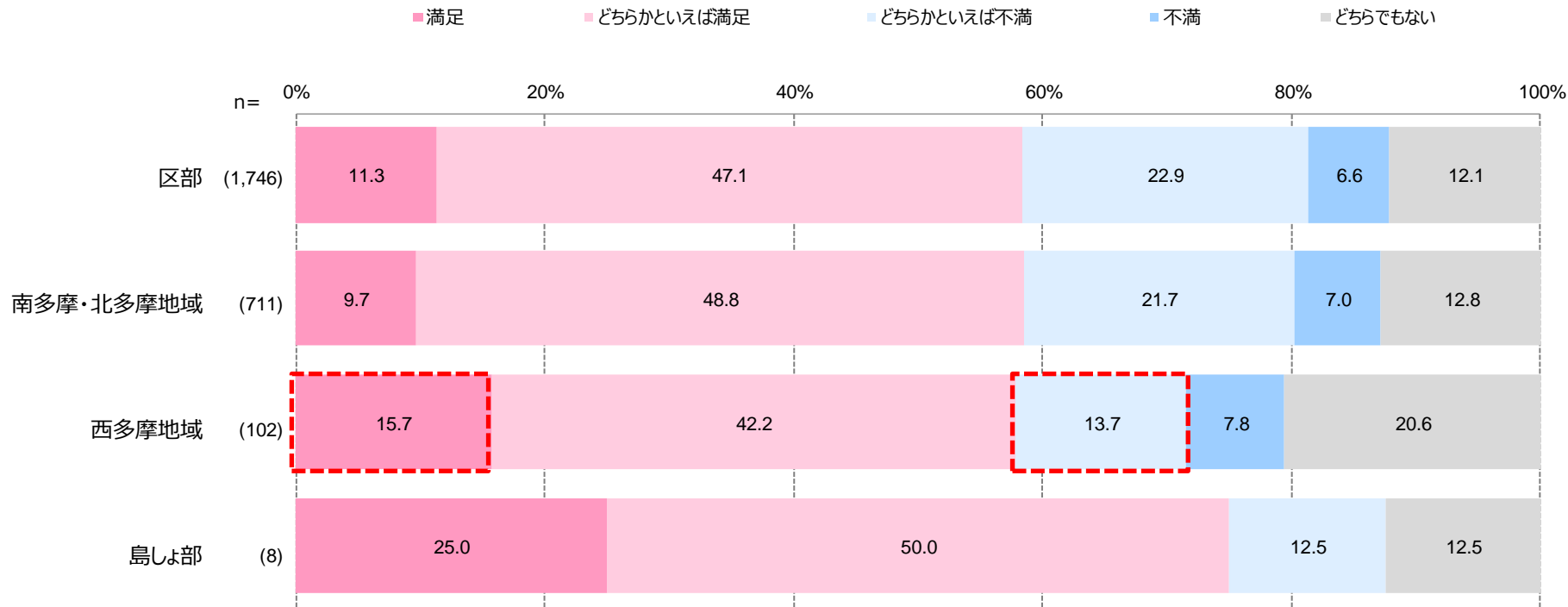


公衆Wi-Fiに対する満足度

- ✓ 「満足（どちらかといえば満足を含む）」の割合は居住地による差は見られないが、「満足」は西多摩地域がやや高め。
- ✓ 西多摩地域は「どちらでもない」も他の地域と比べて高く、中間的態度を示す人も多い。

公衆Wi-Fiに対する満足度【居住地別】

※公衆Wi-Fi利用者ベース

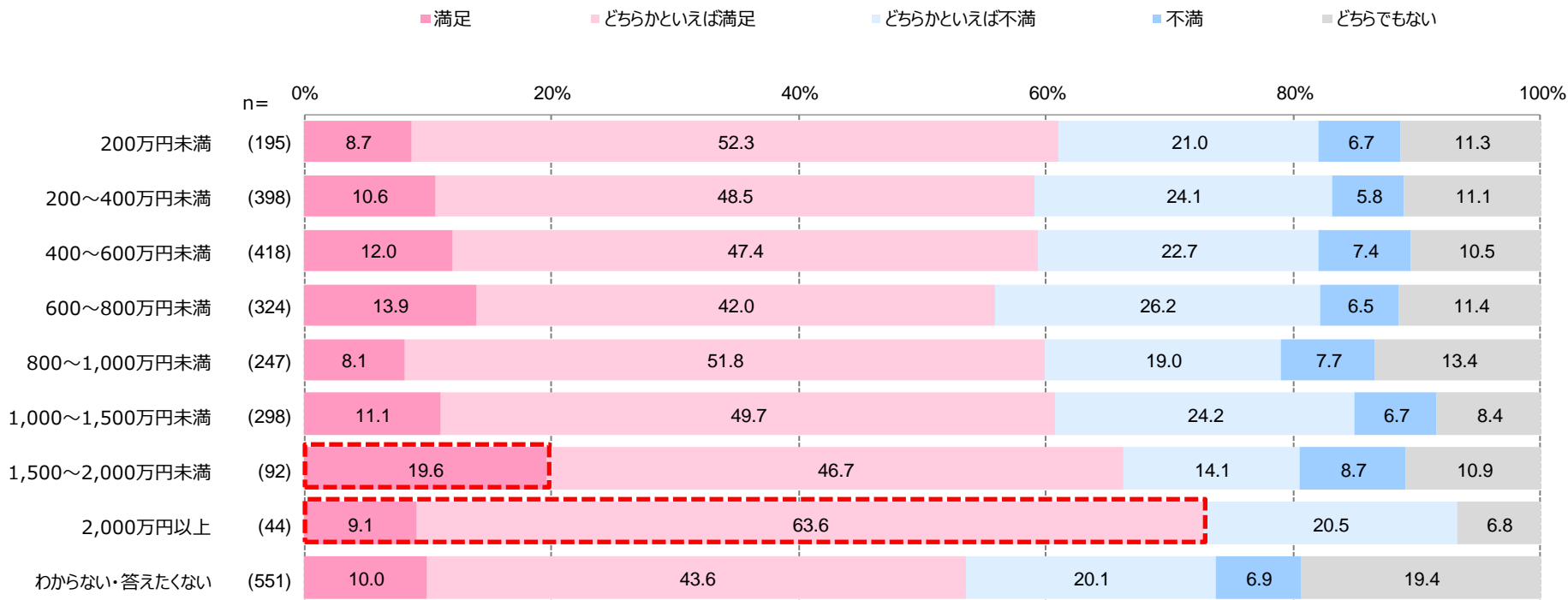


公衆Wi-Fiに対する満足度

- ✓ 1,500~2,000万円未満は「満足」が2割弱と他の世帯年収と比べて最も高い。
また、2,000万円以上は「満足（どちらかといえば満足を含む）」が最も高く、総じて高年収層の満足度が高いことが見受けられる。

公衆Wi-Fiに対する満足度【世帯年収別】(Q33)

※公衆Wi-Fi利用者ベース

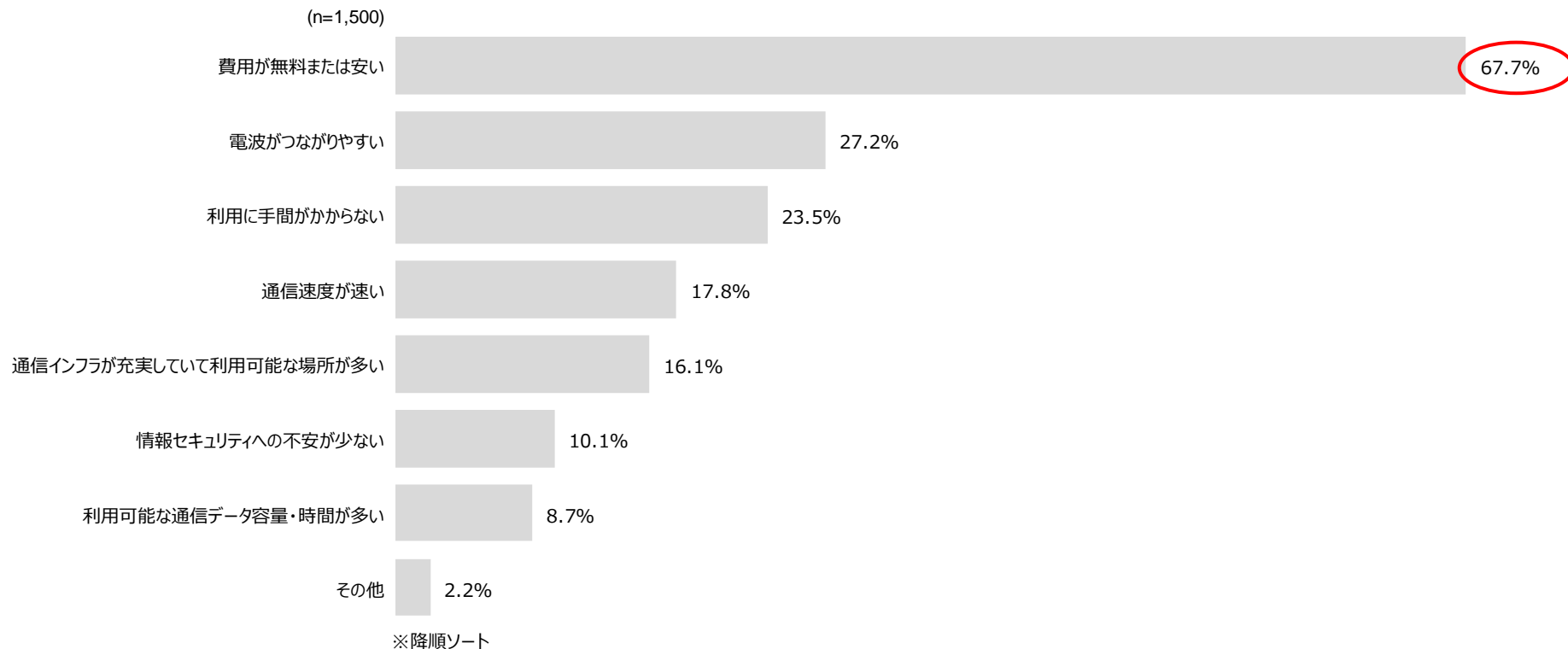


公衆Wi-Fiに満足している理由

- ✓ 「費用が無料または安い」が圧倒的に高く、7割近い。
- ✓ 次いで「電波がつながりやすい」「利用に手間がかからない」と続くが、いずれも2割程度。

公衆Wi-Fiに満足している理由(Q34)

※公衆Wi-Fi利用満足者ベース

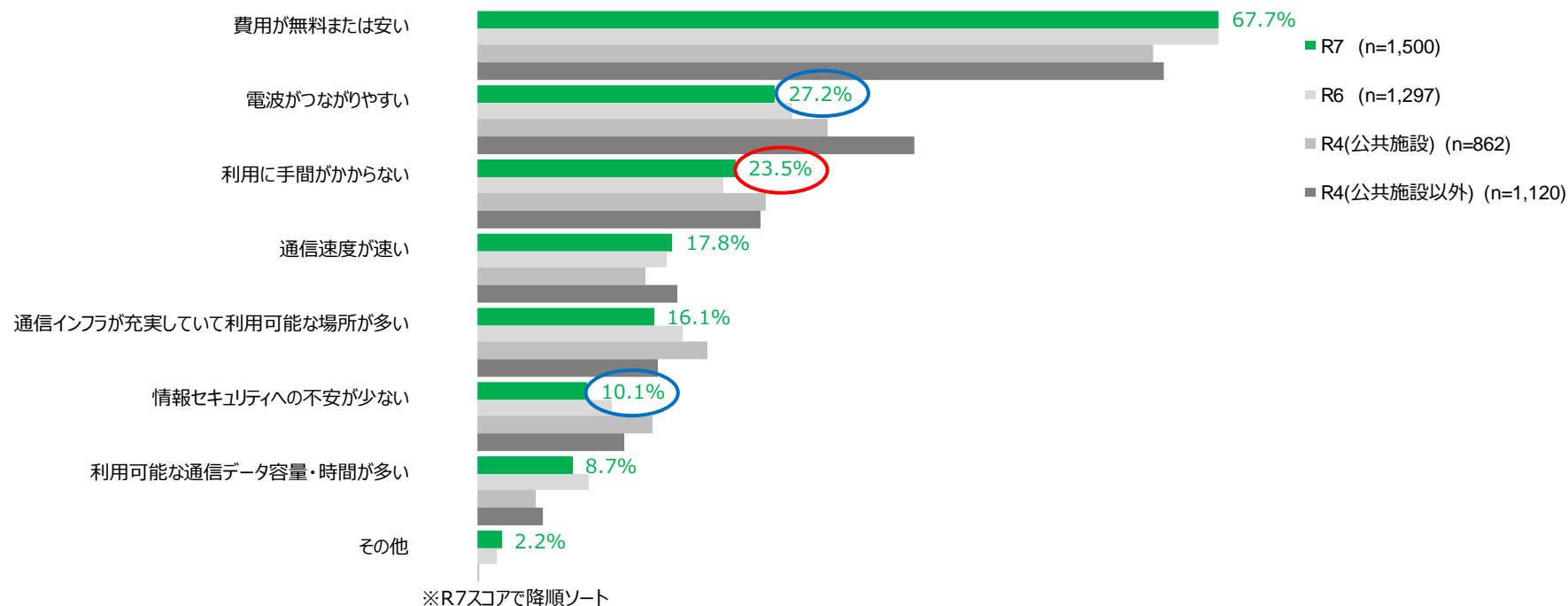


公衆Wi-Fiに満足している理由

- ✓「費用が無料または安い」はR6と比べて差はない。
- ✓「利用に手間がかからない」はやや増加したものの、「電波がつながりやすい」「情報セキュリティへの不安が少ない」は減少している。利便性があるが故に繋がりにくさやセキュリティに不安を感じる人が増えたのかもしれないと考える。

公衆Wi-Fiに満足している理由【経年比較】(Q34)

※公衆Wi-Fi利用満足者ベース



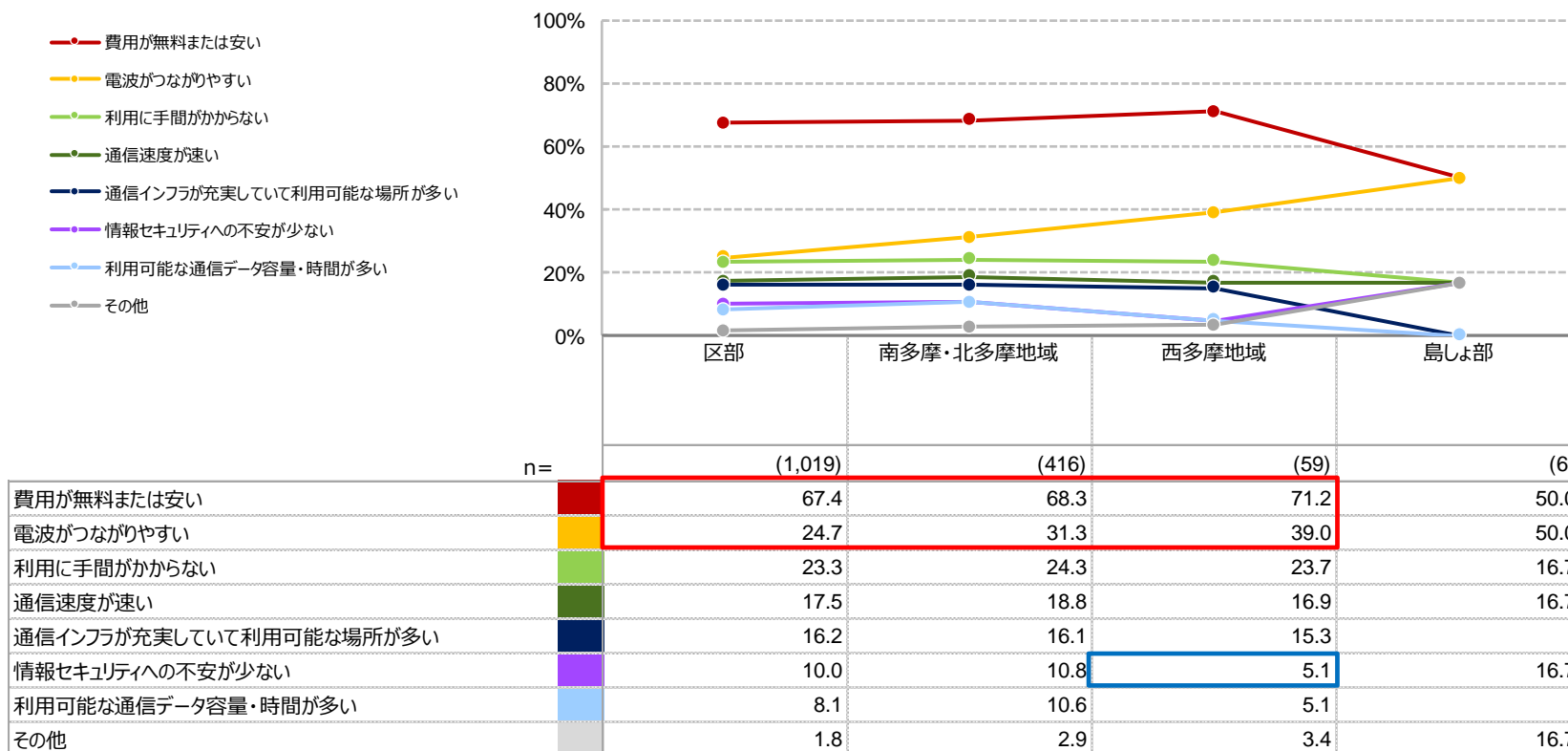
※令和4年度では、公共施設とそれ以外のパブリックスペースを区分して調査していたため、それぞれの区分に対して比較を実施した。
※令和5年度では、公衆Wi-Fiに満足している理由を調査していない

公衆Wi-Fiに満足している理由

- ✓ 区部、南多摩・北多摩地域、西多摩地域の順で「費用が無料または安い」「電波がつながりやすい」が高くなっている。
- ✓ 西多摩地域は「情報セキュリティへの不安が少ない」は他の地域と比べて低め。

公衆Wi-Fiに満足している理由【居住地別】(Q34)

※公衆Wi-Fi利用満足者ベース



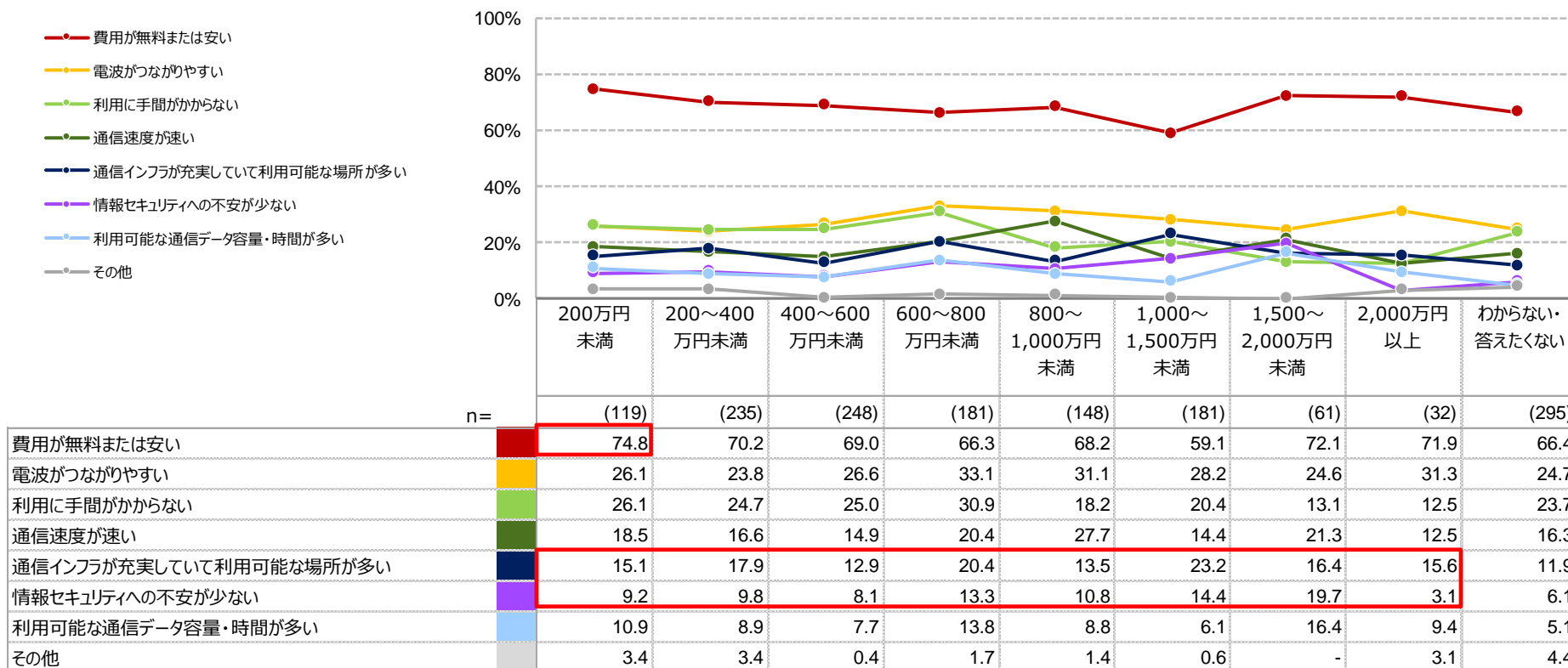
※全体のスコアで降順ソート

公衆Wi-Fiに満足している理由

- ✓ 200万円未満は「費用が無料または安い」が他の年収と比べて最も高い。
- ✓ 年収が上がるにつれて「通信インフラが充実していて利用可能な場所が多い」や「情報セキュリティへの不安が少ない」がやや高くなる傾向にある。

公衆Wi-Fiに満足している理由【世帯年収別】(Q34)

※公衆Wi-Fi利用満足者ベース



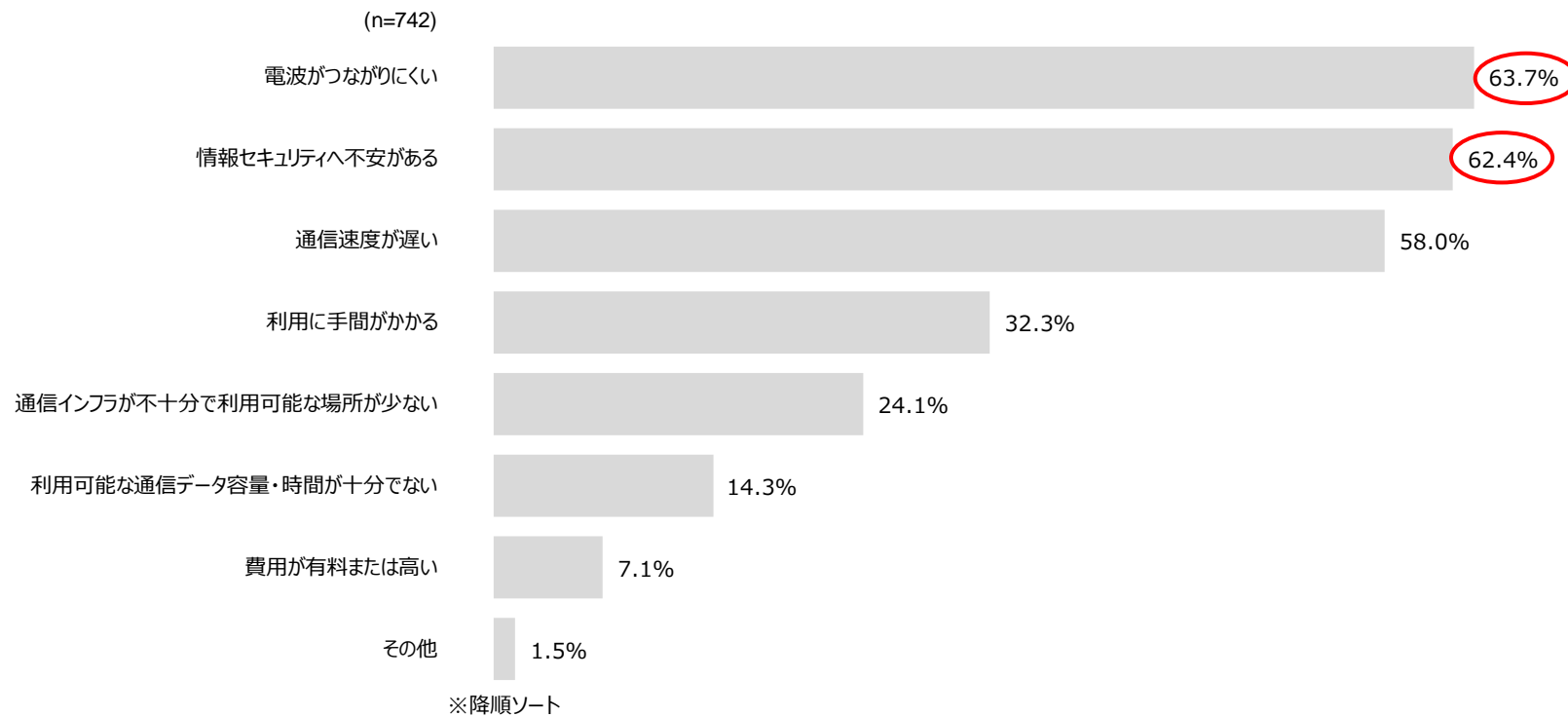
※全体のスコアで降順ソート

公衆Wi-Fiに不満を感じている理由

- ✓ 「電波が繋がりにくい」が最も高く、次いで「情報セキュリティへ不安がある」が僅差で続く。いずれも6割以上。次に続く「通信速度が遅い」も半数を超えている

公衆Wi-Fiに不満を感じている理由(Q35)

※公衆Wi-Fi利用不満者ベース

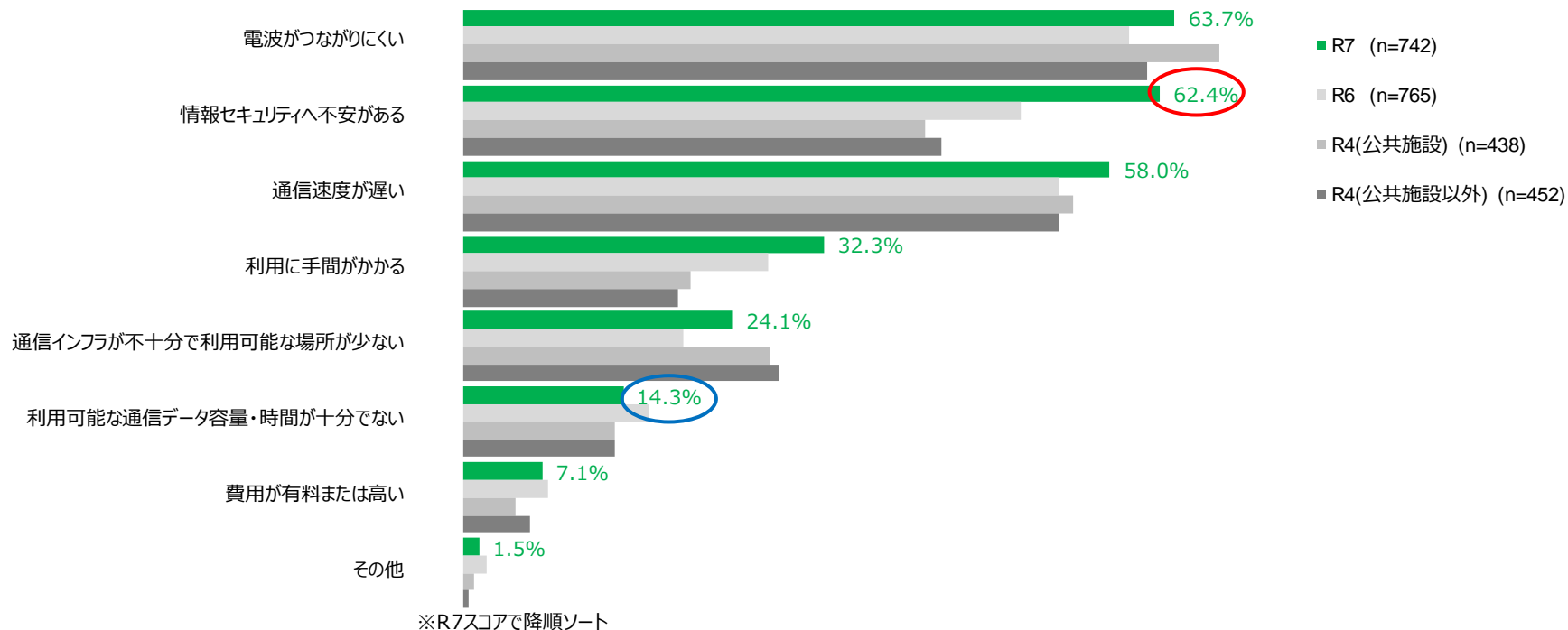


公衆Wi-Fiに不満を感じている理由

- ✓ 多くの項目においてR6より割合が増加しており、特に「情報セキュリティへ不安がある」の増加率が高い。次いで「通信速度が遅い」「電波が繋がりにくい」といった通信品質の増加が高い。
- ✓ 対して、「利用可能な通信データ容量・時間が十分でない」はR6と比べて減少している。

公衆Wi-Fiに不満を感じている理由【経年比較】(Q35)

※公衆Wi-Fi利用不満者ベース



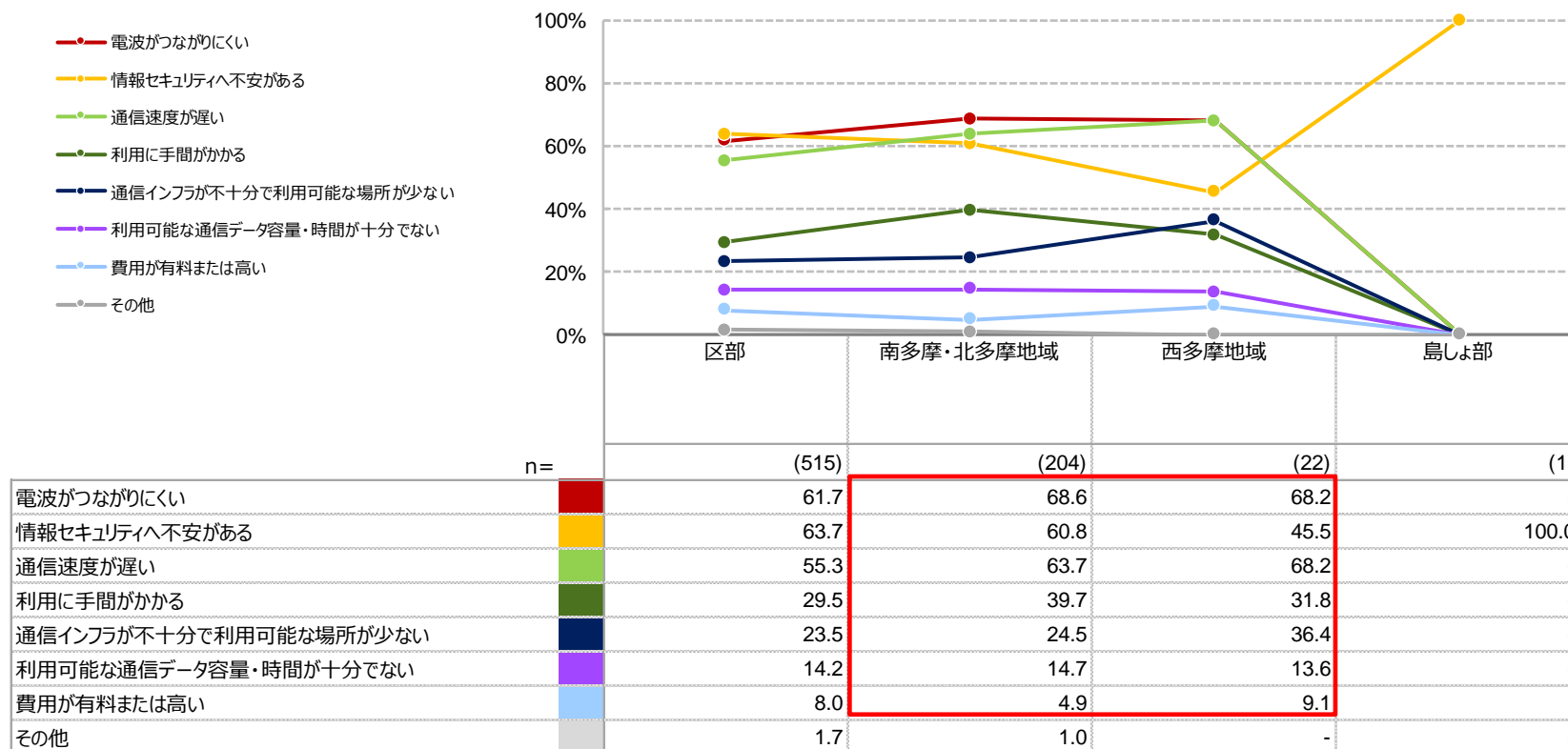
※令和4年度では、公共施設とそれ以外のパブリックスペースを区分して調査していたため、それぞれの区分に対して比較を実施した。
※令和5年度では、公衆Wi-Fiに不満を感じている理由を調査していない

公衆Wi-Fiに不満を感じている理由

✓「電波が繋がりにくい」「通信速度が遅い」「利用に手間がかかる」といった複数の項目で南多摩・北多摩地域、西多摩地域が区部と比べて高い。区部に比べて南多摩・北多摩地域、西多摩地域は、不満を感じやすい要素が多い様子。

公衆Wi-Fiに不満を感じている理由【居住地別】(Q35)

※公衆Wi-Fi利用不満者ベース



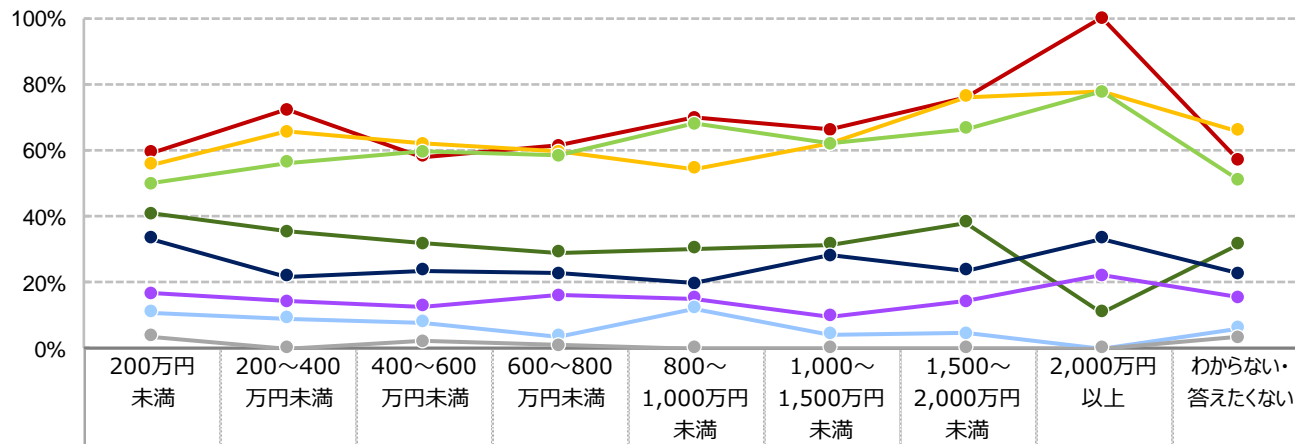
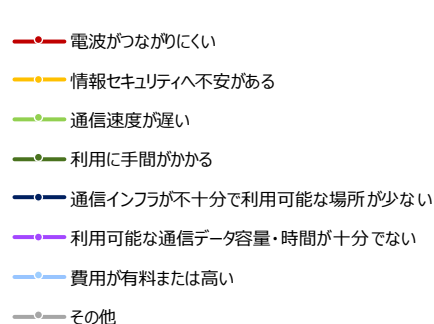
※全体のスコアで降順ソート

公衆Wi-Fiに不満を感じている理由

- ✓ 200万円未満では「利用に手間がかかる」「通信インフラが不十分で利用可能な場所が少ない」は他の年収額に比べて高く、利用時の不便さを感じている人が多い様子。

公衆Wi-Fiに不満を感じている理由【世帯年収別】(Q35)

※公衆Wi-Fi利用不満者ベース



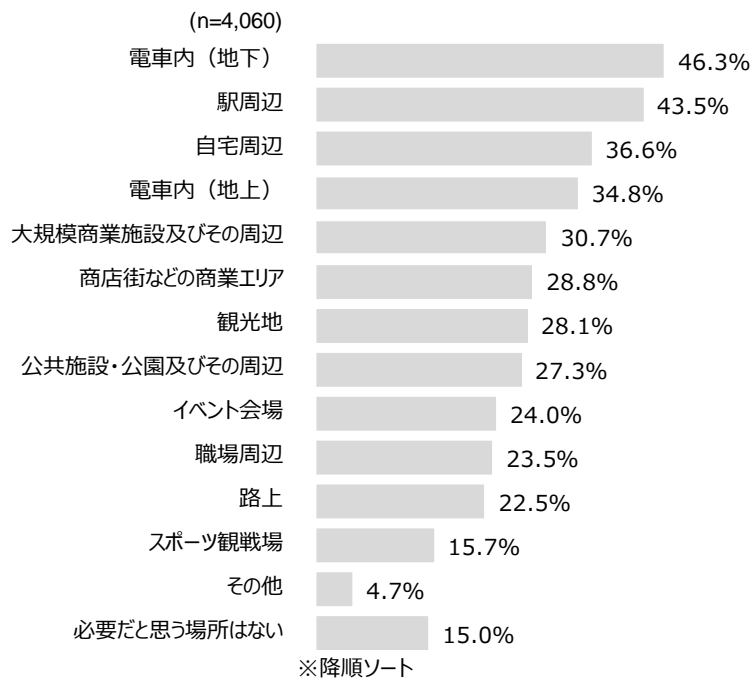
	n	200万円未満	200~400万円未満	400~600万円未満	600~800万円未満	800~1,000万円未満	1,000~1,500万円未満	1,500~2,000万円未満	2,000万円以上	わからない・答えたくない
電波が繋がりにくい		59.3	72.3	57.9	61.3	69.7	66.3	76.2	100.0	57.0
情報セキュリティへ不安がある		55.6	65.5	61.9	59.4	54.5	62.0	76.2	77.8	65.8
通信速度が遅い		50.0	56.3	59.5	58.5	68.2	62.0	66.7	77.8	51.0
利用に手間がかかる		40.7	35.3	31.7	29.2	30.3	31.5	38.1	11.1	31.5
通信インフラが不十分で利用可能な場所が少ない		33.3	21.8	23.8	22.6	19.7	28.3	23.8	33.3	22.8
利用可能な通信データ容量・時間が十分でない		16.7	14.3	12.7	16.0	15.2	9.8	14.3	22.2	15.4
費用が有料または高い		11.1	9.2	7.9	3.8	12.1	4.3	4.8	-	6.0
その他		3.7	-	2.4	0.9	-	-	-	-	3.4

※全体のスコアで降順ソート

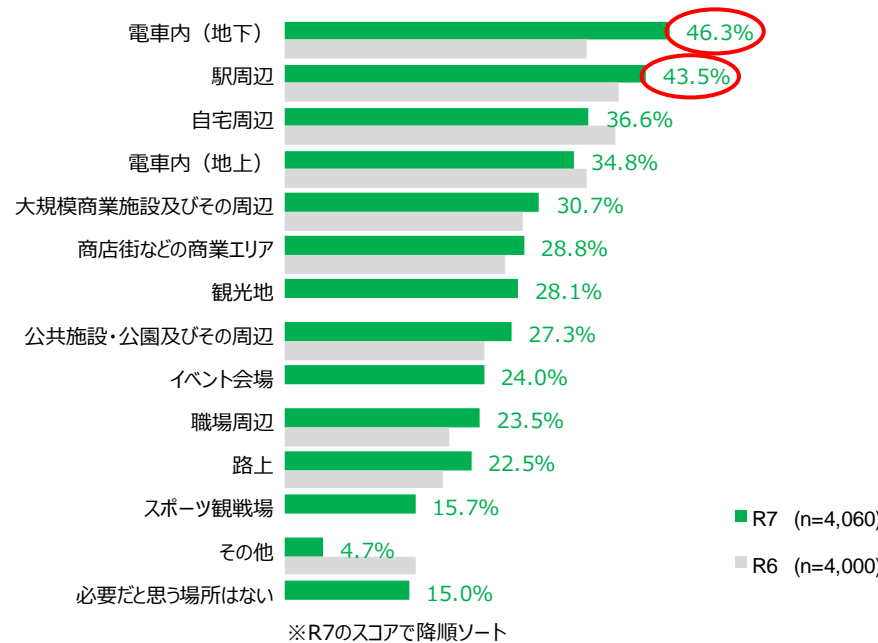
安定した通信が必要だと思うエリア

- ✓ 「電車内（地下）」が最も高く、次いで「駅周辺」と続き、どちらも4割程度。通信品質が気になる場所と上位は同様の傾向。
- ✓ また、「自宅周辺」が「電車内（地上）」よりもやや高い。
- ✓ R6と比べると「電車内（地下）」や「駅周辺」の増加が大きく、通信品質が気になると回答している割合は減少しているものの、安定さを求める割合は増加傾向にあることがわかる。

安定した通信が必要だと思うエリア(Q30)



安定した通信が必要だと思うエリア【経年比較】(Q30)



※令和6年調査は「電車内」において「地上」と「地下」とで区別して聴取していない。

安定した通信が必要だと思うエリア

- ✓ 20～30代は「駅周辺」や「電車内」が他の年代と比べてやや高め。
また、「イベント会場」や「スポーツ観戦場」などの人が多く集まる施設・場所の割合もやや高い。
- ✓ 年代が上がるにつれて「公共施設・公園及びその周辺」が高く、60代以上は3割を超えている。

安定した通信が必要だと思うエリア【年代別】 (Q30)

		(%)						
		5～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
	n=	(470)	(555)	(666)	(757)	(672)	(459)	(481)
電車内（地下）		48.9	52.1	51.2	49.3	44.0	41.4	33.5
駅周辺		40.2	43.4	49.4	45.3	46.0	39.9	35.8
自宅周辺		31.3	33.5	35.3	38.3	38.8	41.4	37.0
電車内（地上）		31.3	38.4	37.5	36.2	38.4	32.5	25.6
大規模商業施設及びその周辺		25.7	29.2	34.2	31.8	30.7	32.2	29.1
商店街などの商業エリア		20.0	25.2	30.6	31.6	31.0	32.2	28.3
観光地		24.0	27.4	29.7	27.9	28.7	29.6	28.7
公共施設・公園及びその周辺		18.3	22.0	27.6	28.3	28.4	33.3	33.1
イベント会場		23.2	32.1	30.8	28.5	22.3	16.3	8.3
職場周辺		20.6	25.2	29.1	28.4	28.1	19.6	6.0
路上		17.0	18.7	21.2	25.0	25.1	25.3	23.5
スポーツ観戦場		14.3	18.9	21.8	19.8	14.7	10.9	4.6
その他		2.8	4.9	5.1	6.9	4.3	4.6	3.3
必要だと思わない場所はない		14.3	13.2	13.4	13.5	14.6	16.3	21.8

※全体のスコアで降順ソート

安定した通信が必要だと思うエリア

- ✓ 区部と南多摩・北多摩地域で安定した通信が必要だと思うエリアに大きな差は見られないが、「駅周辺」は区部より南多摩・北多摩地域の割合がやや高め。
- ✓ 西多摩地域は「自宅周辺」が4割と、区部や南多摩・北多摩地域と比べて高い。

安定した通信が必要だと思うエリア【居住地別】(Q30)

	(%)			
	区部	南多摩・北多摩地域	西多摩地域	島しょ部
n=	(2,755)	(1,112)	(181)	(12)
電車内（地下）	47.8	45.4	30.4	25.0
駅周辺	42.5	47.8	34.8	16.7
自宅周辺	36.4	36.2	42.0	41.7
電車内（地上）	34.5	36.6	29.8	16.7
大規模商業施設及びその周辺	30.5	31.2	30.4	25.0
商店街などの商業エリア	28.2	30.1	30.4	16.7
観光地	27.3	29.4	32.0	25.0
公共施設・公園及びその周辺	26.8	28.0	30.9	33.3
イベント会場	23.9	24.1	23.2	33.3
職場周辺	23.5	24.1	20.4	16.7
路上	22.5	22.2	22.7	33.3
スポーツ観戦場	16.2	15.3	12.7	-
その他	4.2	5.7	7.7	-
必要だと思わない場所はない	15.0	14.5	17.7	16.7

※全体のスコアで降順ソート

安定した通信が必要だと思えるエリア

- ✓ 世帯年収が上がるにつれて様々なエリアで安定した通信を求める割合が多い傾向があり、800万円以上は「駅周辺」「電車内」が4～5割程度存在。

また、「スポーツ観戦場」や「大規模商業施設及びその周辺」「観光地」といった娯楽施設・観光エリアの安定性も求めている様子。

安定した通信が必要だと思えるエリア【世帯年収別】(Q30)

		(%)								
		200万円未満	200～400万円未満	400～600万円未満	600～800万円未満	800～1,000万円未満	1,000～1,500万円未満	1,500～2,000万円未満	2,000万円以上	わからない・答えたくない
n=		(354)	(638)	(648)	(462)	(348)	(432)	(133)	(65)	(980)
電車内（地下）		35.9	42.3	46.0	47.0	54.6	54.9	54.9	46.2	44.7
駅周辺		35.0	46.1	42.1	40.5	48.3	46.1	49.6	40.0	43.8
自宅周辺		38.7	37.3	36.7	35.1	40.8	35.2	39.1	35.4	35.0
電車内（地上）		29.7	33.4	34.3	31.4	42.5	38.4	43.6	40.0	33.8
大規模商業施設及びその周辺		27.1	31.0	31.3	30.1	38.2	30.1	30.8	43.1	28.4
商店街などの商業エリア		24.9	29.0	28.4	27.1	34.2	33.3	25.6	29.2	27.7
観光地		22.3	28.7	26.4	27.7	31.9	28.2	33.1	35.4	28.6
公共施設・公園及びその周辺		24.6	27.4	27.6	27.1	34.8	23.8	29.3	30.8	26.5
イベント会場		16.4	21.8	23.8	24.5	28.7	25.0	27.8	23.1	25.4
職場周辺		11.9	22.1	22.7	26.2	32.8	29.6	33.8	27.7	20.2
路上		21.8	22.9	22.1	20.3	25.3	19.9	26.3	26.2	23.1
スポーツ観戦場		7.1	14.6	16.0	19.3	19.8	18.1	21.1	18.5	14.3
その他		3.1	5.0	4.8	4.3	3.7	4.4	4.5	7.7	5.6
必要だと思える場所はない		21.2	14.7	15.1	12.1	9.2	9.7	9.0	10.8	19.7

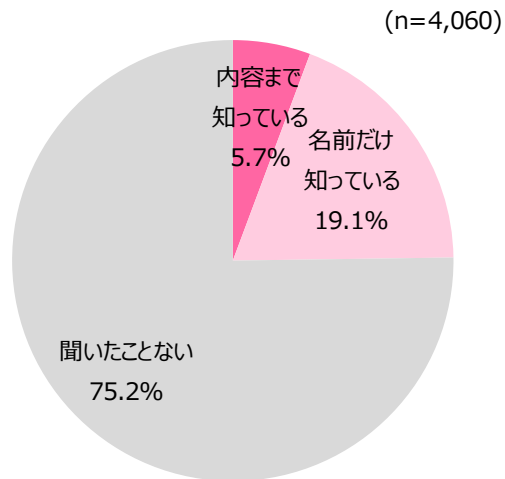
※全体のスコアで降順ソート

3.5 都施策に関する意識

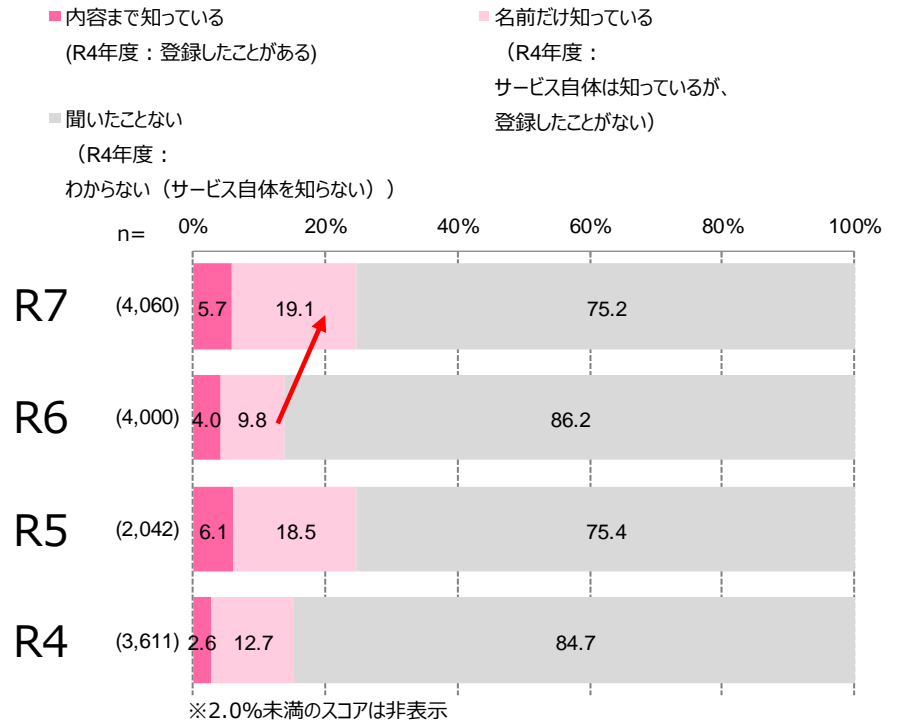
OpenRoamingの認知度

- ✓ 「内容まで知っている」は全体の5%であり、「名前だけ知っている」まで含めた認知は2割半ば。
- ✓ R6と比べて「内容まで知っている」「名前だけ知っている」どちらも割合が増加している。

OpenRoamingの認知度(Q38)



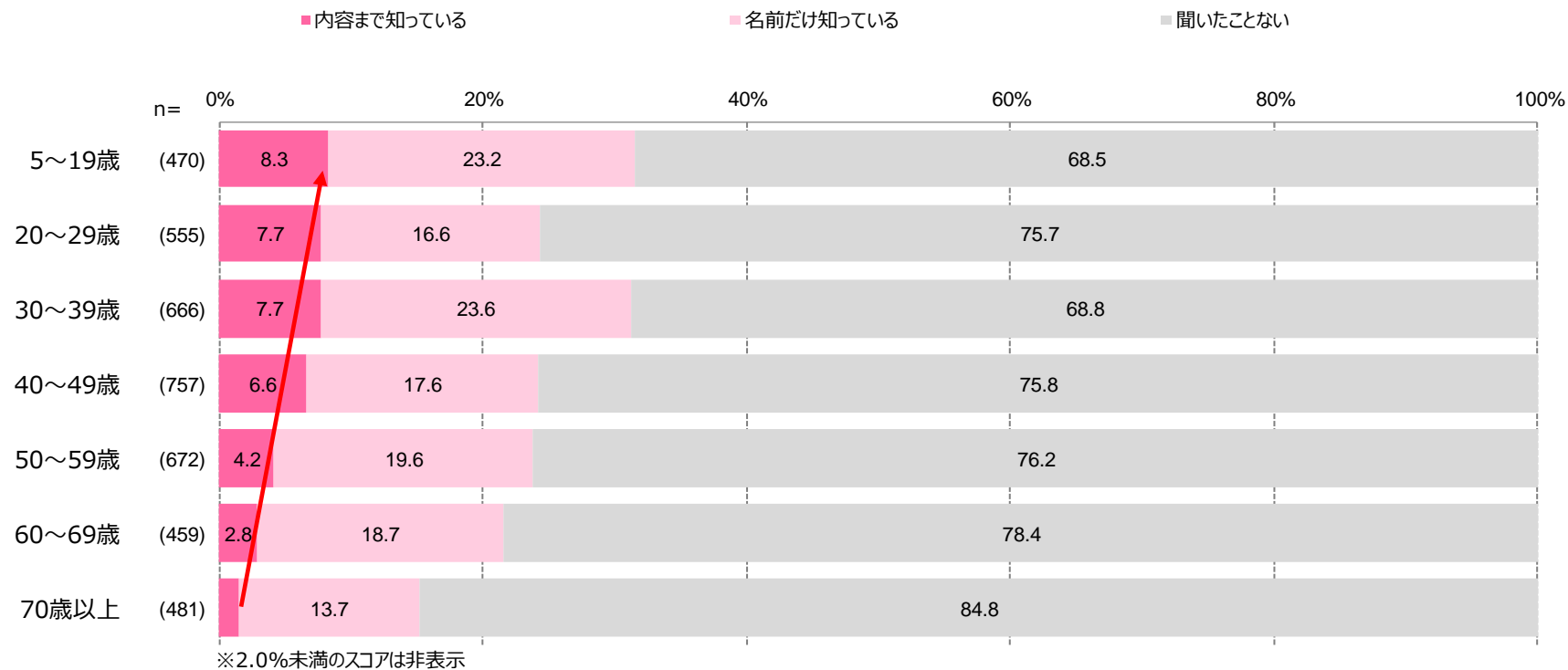
OpenRoamingの認知度【経年比較】(Q38)



OpenRoamingの認知度

- ✓ 年代が下がるにつれて「内容まで知っている」の割合高くなっている。
- ✓ 対して、70代以上は「内容まで知っている」は1%しかおらず、「聞いたことない」が8割を超えている。

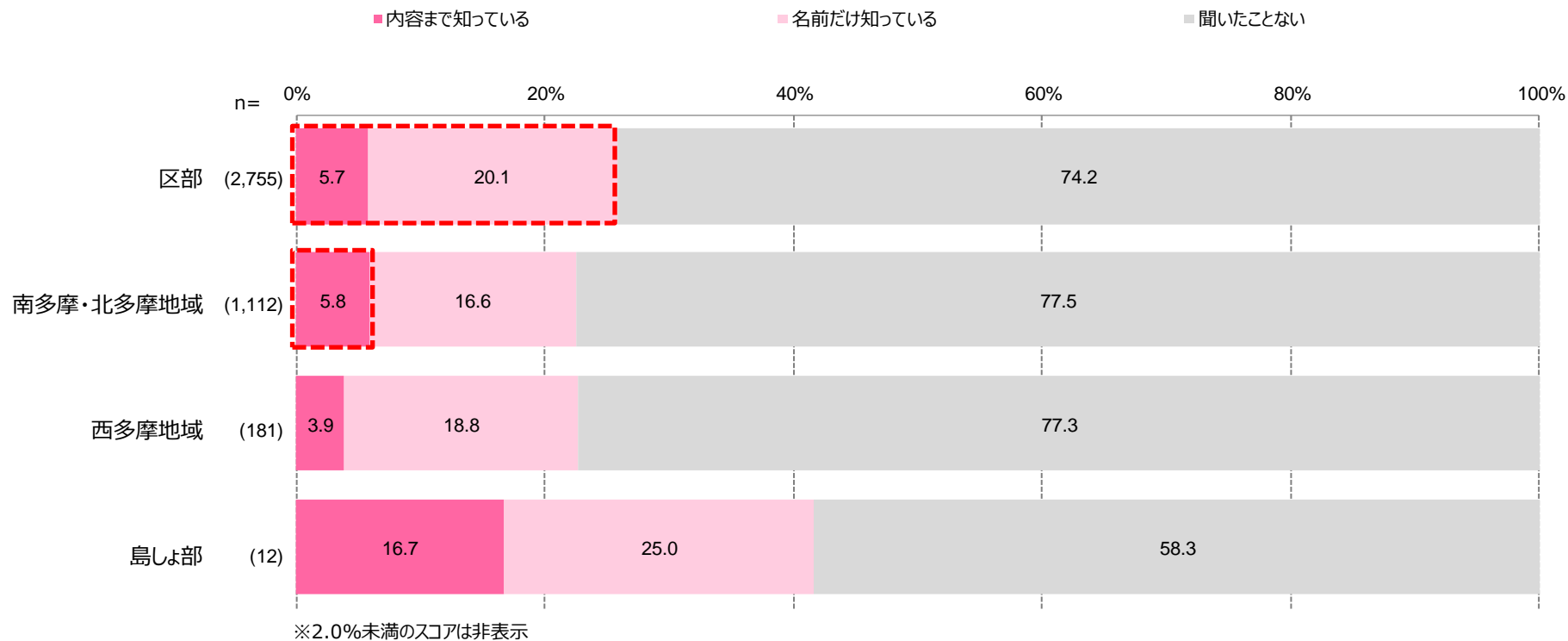
OpenRoamingの認知度【年代別】(Q38)



OpenRoamingの認知度

- ✓ 「内容まで知っている」の割合は区部と南多摩・北多摩地域で差はなく同程度の割合。
- ✓ 区部は「名前だけ知っている」の割合が約2割であり、「内容まで知っている」「名前だけ知っている」を合わせた認知率が最も高い。

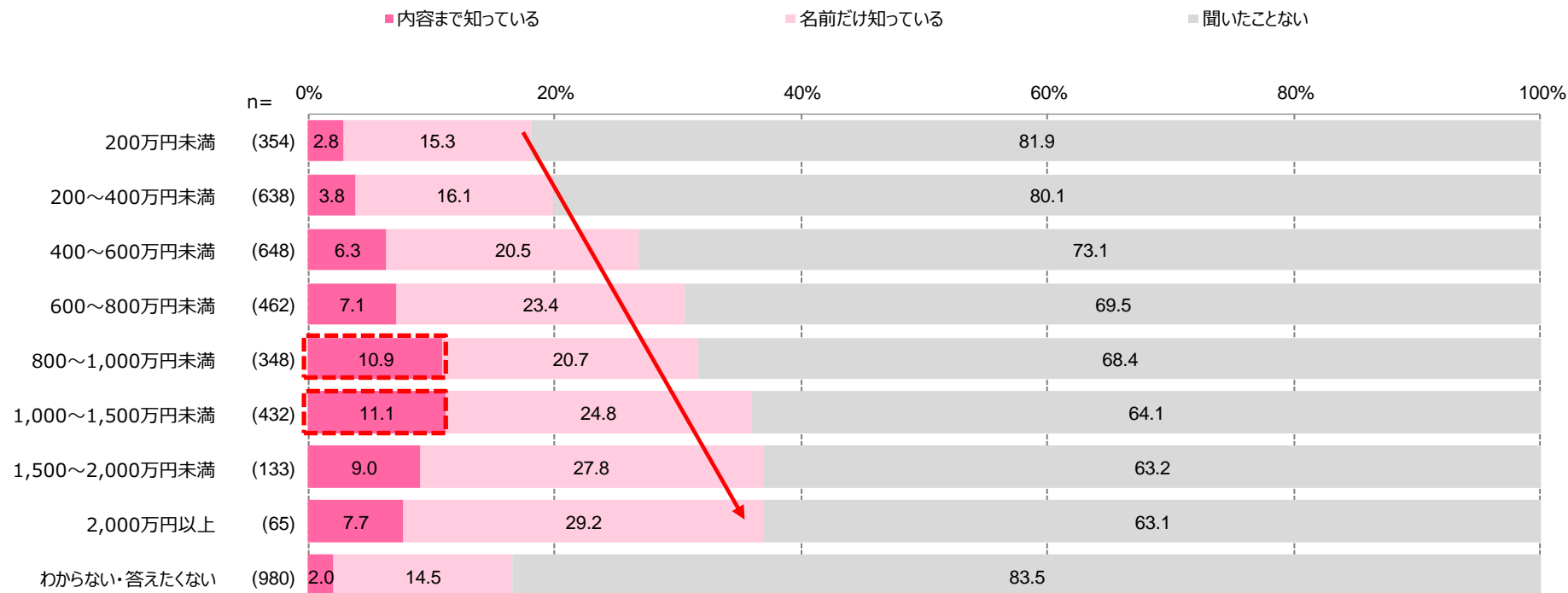
OpenRoamingの認知度【居住地別】(Q38)



OpenRoamingの認知度

- ✓ 800～1,500万円未満は「内容まで知っている」が1割と他の世帯年収と比べて高い。
- ✓ 「名前だけ知っている」を含めた認知の割合を見ると、世帯年収が上がるにつれて高くなっており、600万円以上は3割を超えている。
- ✓ 対して、400万円未満は「聞いたことない」が8割を超えている。

OpenRoamingの認知度【世帯年収別】(Q38)



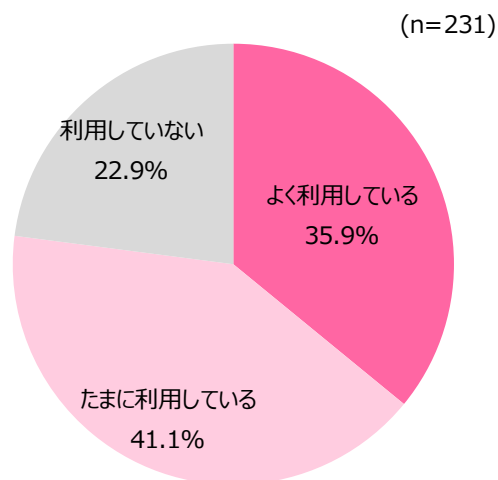
※2.0%未満のスコアは非表示

OpenRoamingの利用状況

- ✓ OpenRoamingを「内容まで知っている」と答えた人のうち、「たまに利用している」が4割。「よく利用している」を含めた利用率は8割弱。
- ✓ R6と比べて利用率に大きな差はないが、やや減少している。認知は拡大しているものの利用に至る人は少ないことが見受けられる。

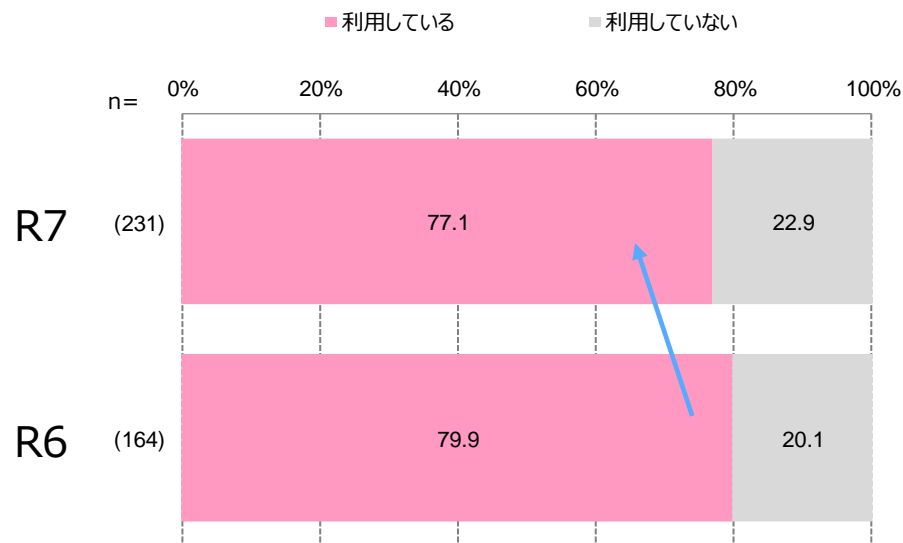
OpenRoamingの利用状況(Q39)

※OpenRoaming内容認知者ベース



OpenRoamingの利用状況【経年比較】(Q39)

※OpenRoaming内容認知者ベース

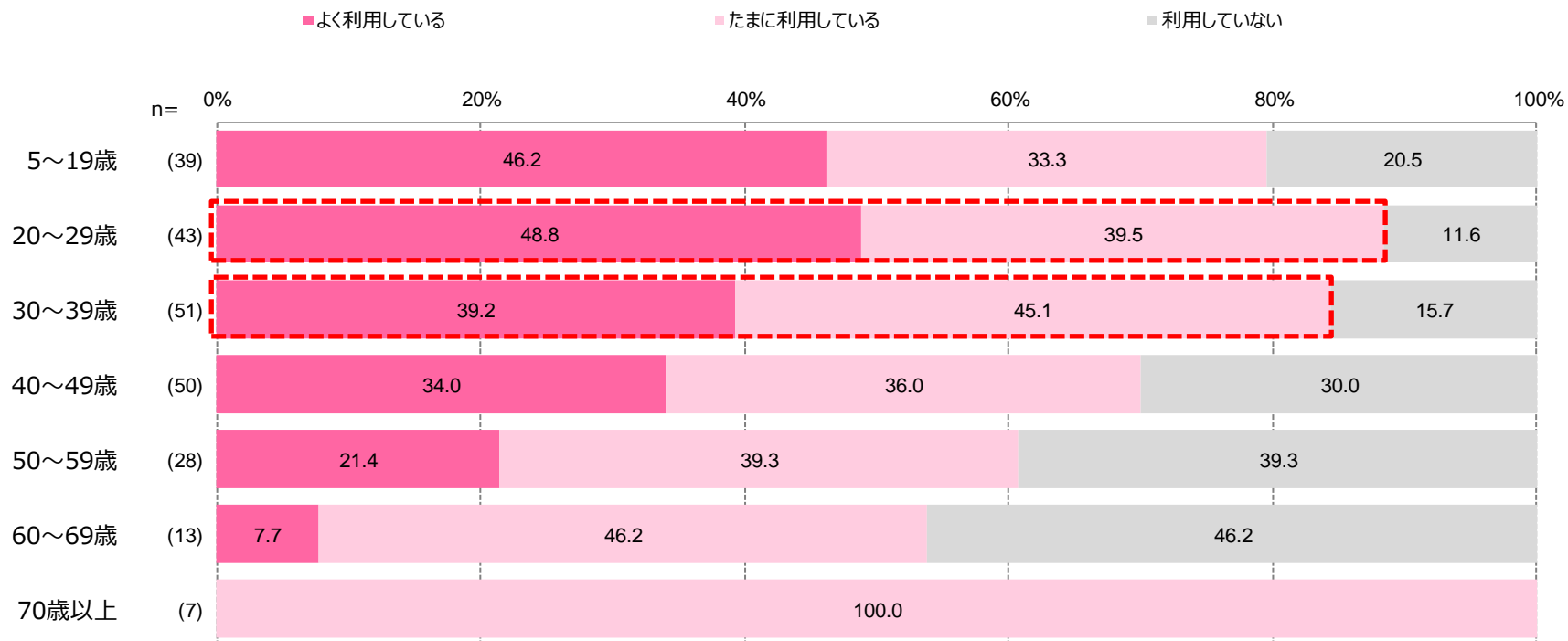


OpenRoamingの利用状況

- ✓ 20代以下の若年層は「よく利用している」が4割半ばと高い。
- ✓ 「よく利用している」「たまに利用している」を合わせた利用率を見ると20～30代が8割を超えている。

OpenRoamingの利用状況【年代別】 (Q39)

※OpenRoaming内容認知者ベース

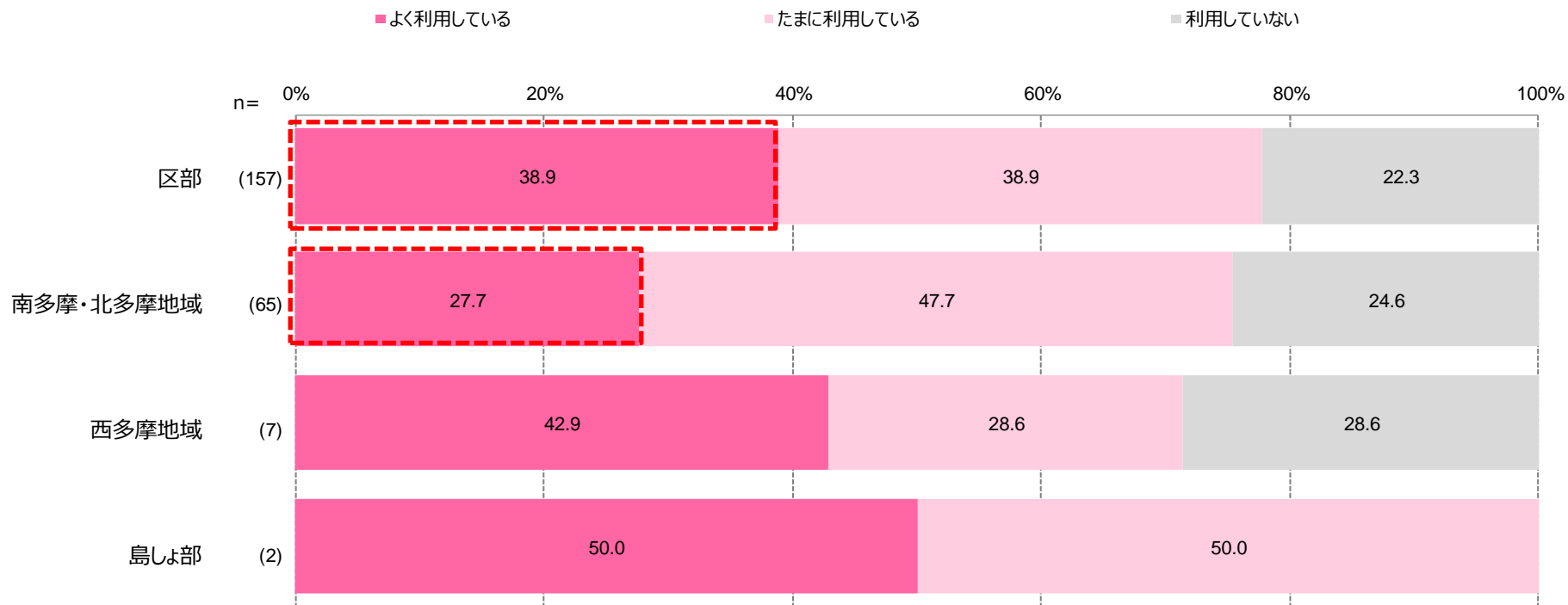


OpenRoamingの利用状況

- ✓ 区部と南多摩・北多摩地域で、「よく利用している」「たまに利用している」を合わせた利用率の差はあまりないが「よく利用している」は区部と南多摩・北多摩地域で約10ptの差があり、利用頻度は区部の方が高いことがうかがえる。

OpenRoamingの利用状況【居住地別】(Q39)

※OpenRoaming内容認知者ベース

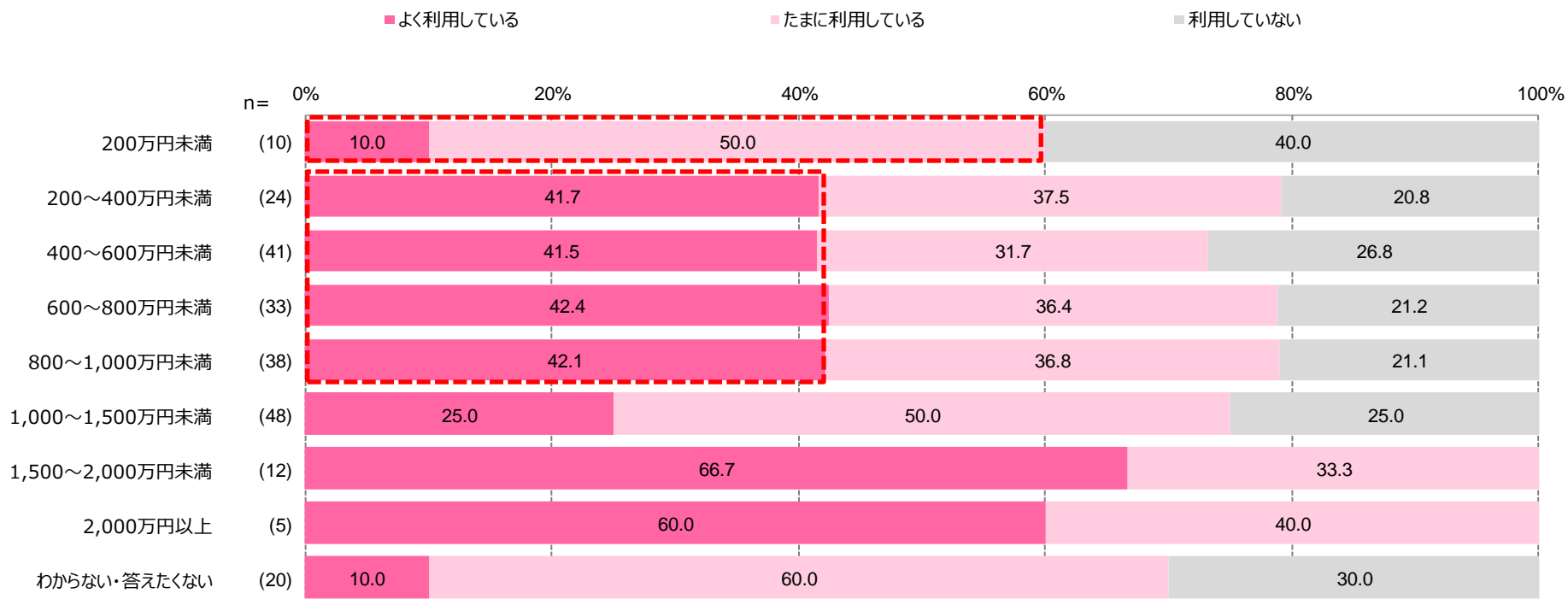


OpenRoamingの利用状況

- ✓ 200万円未満の「よく利用している」「たまに利用している」を合わせた利用率は6割。
- ✓ 200～1,000万未満の中間の年収層は、「よく利用している」が4割と他の年収と比べて高い傾向。
(各年収のN数少ないため参考値)

OpenRoamingの利用状況【世帯年収別】(Q39)

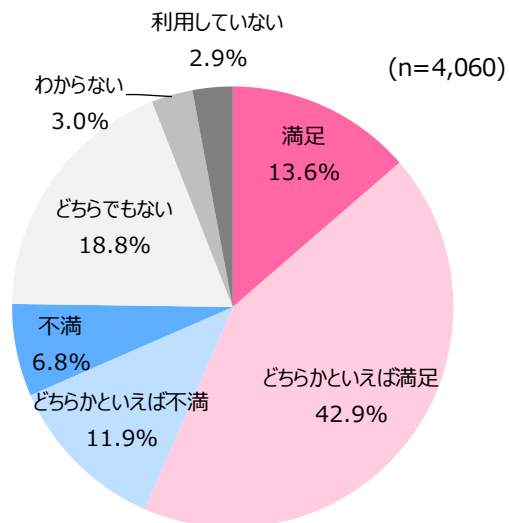
※OpenRoaming内容認知者ベース



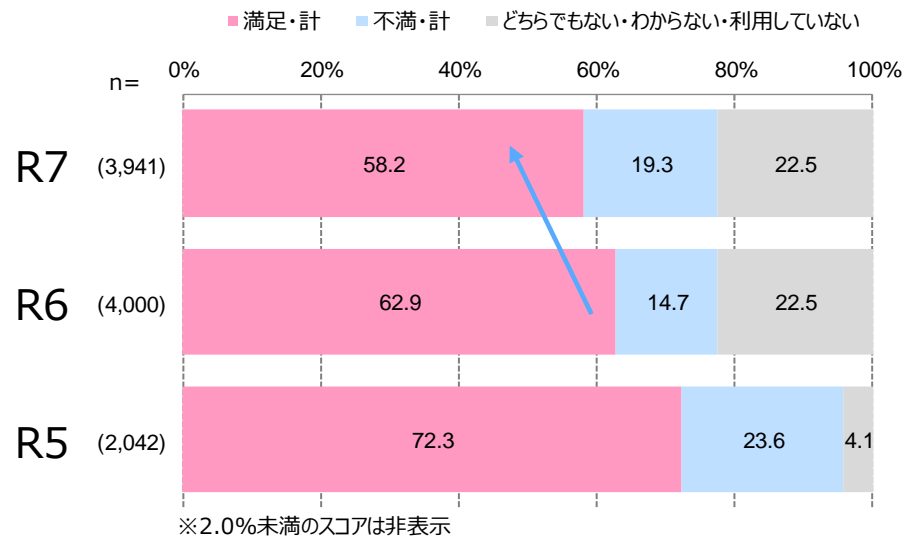
携帯電話回線に対する満足度

- ✓ 「満足（どちらかといえば満足を含む）」の割合は5割半ば。対して「不満（どちらかといえば不満を含む）」は2割弱であった。
- ✓ R5やR6と比べて「満足・計」は減少している。R5・R6は「とても満足」「やや満足」「満足」の3つで聴取しているのに対し、R7は「満足」「どちらかといえば満足」の2つであることから減少していると考えられる。

携帯電話回線に対する満足度(Q25)



携帯電話回線に対する満足度【経年比較】(Q25)

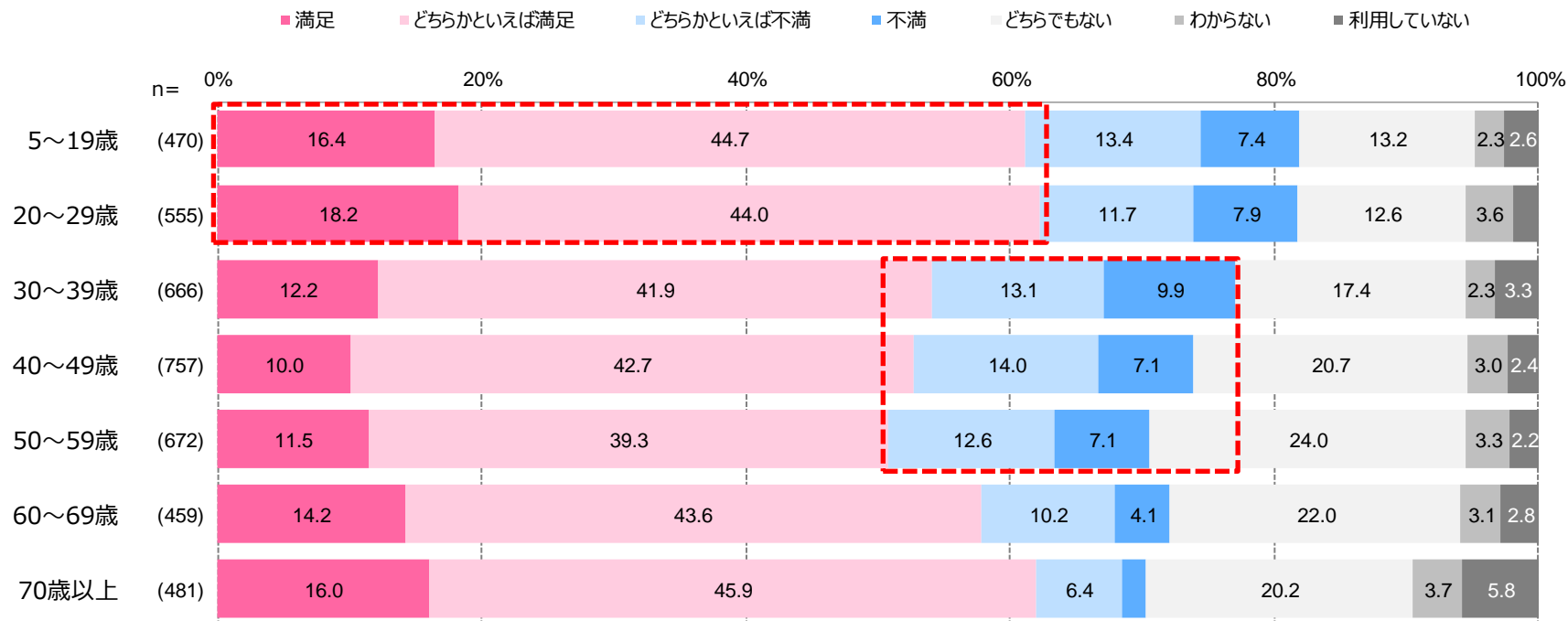


※満足計 R7 : TOP2 R6/R5 : TOP3
※またR7は利用者ベースのスコアを掲載

携帯電話回線に対する満足度

- ✓ 20代以下の若年層は「満足（どちらかといえば満足を含む）」の割合が6割を超えている。
- ✓ 対して30～50代の中間層の満足度が低く、不満の割合が他の年代と比べてやや高め。

携帯電話回線に対する満足度【年代別】 (Q25)

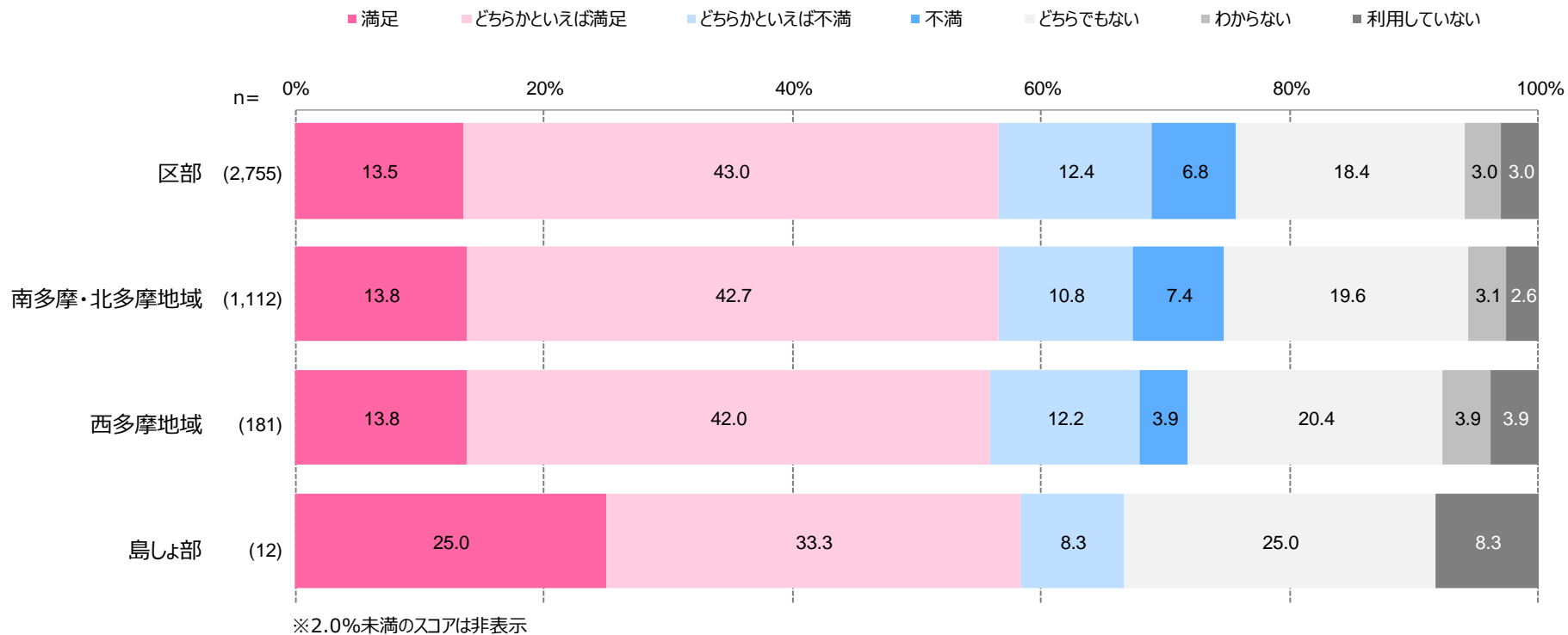


※2.0%未満のスコアは非表示

携帯電話回線に対する満足度

✓ 居住地別による携帯電話回線に対する満足度の差は見られない。

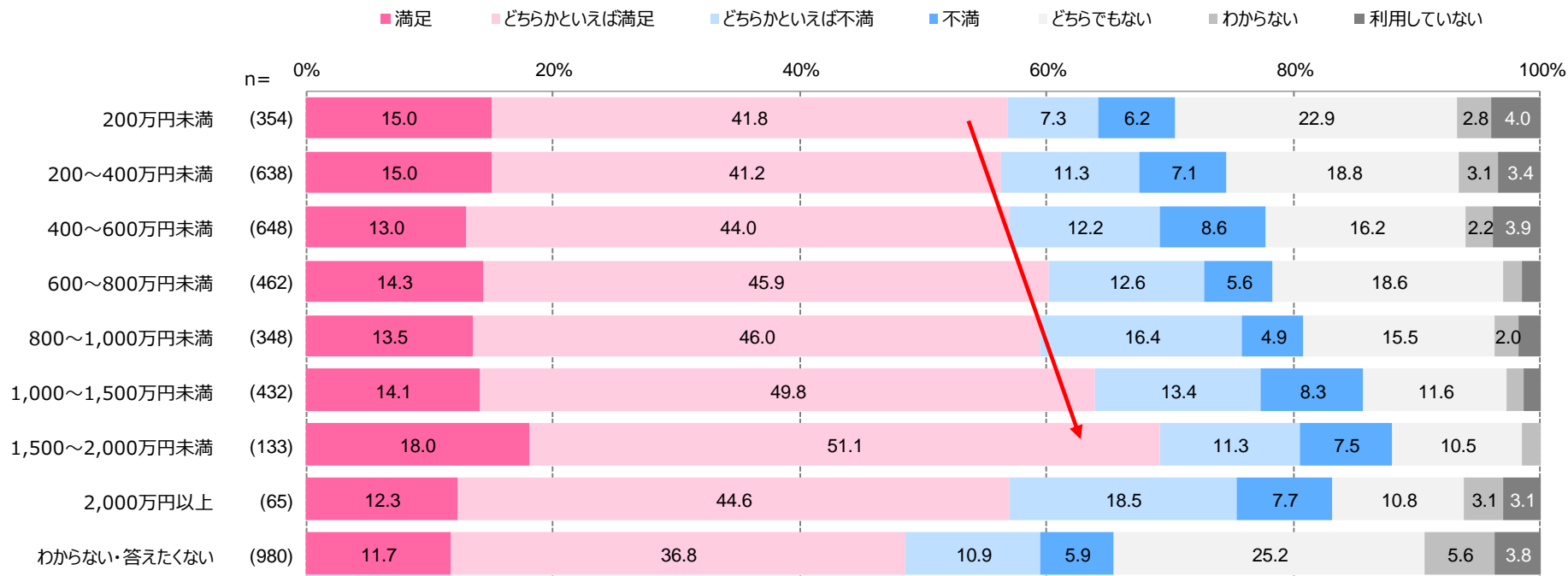
携帯電話回線に対する満足度【居住地別】(Q25)



携帯電話回線に対する満足度

✓ 世帯年収が上がるにつれて満足している割合が高い傾向にあり、1,500～2,000万円の「満足（どちらかといえば満足）」が最も高い。

携帯電話回線に対する満足度【世帯年収別】（Q25）



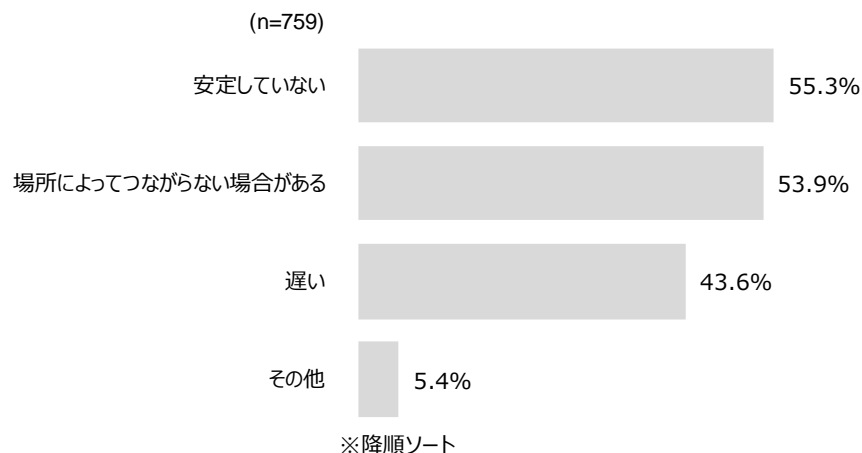
※2.0%未満のスコアは非表示

携帯電話回線に不満を感じている理由

- ✓ 不満を感じている理由は、「安定していない」が最も高く、次いで「場所によってつながらない場合がある」と続き、どちらも半数を超えている。
- ✓ R6と比べると「安定していない」「場所によってつながらない場合がある」が増加している。

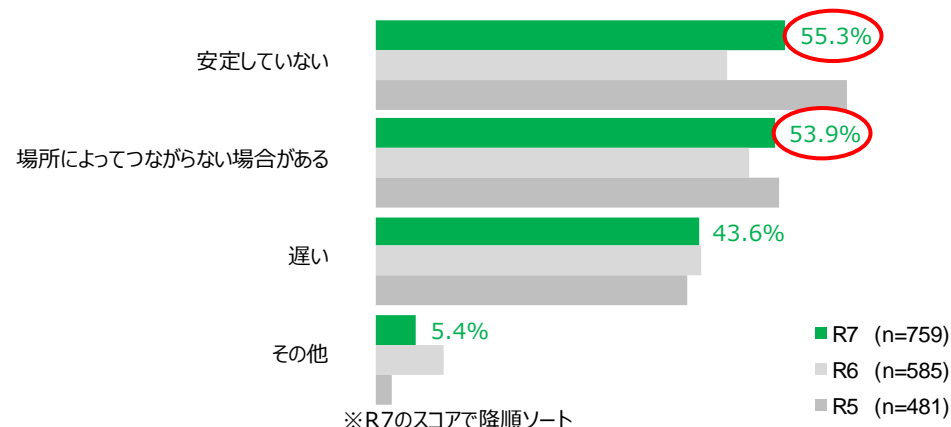
携帯電話回線に不満を感じている理由(Q27)

※携帯電話回線不満者ベース



携帯電話回線に不満を感じている理由【経年比較】(Q27)

※携帯電話回線不満者ベース

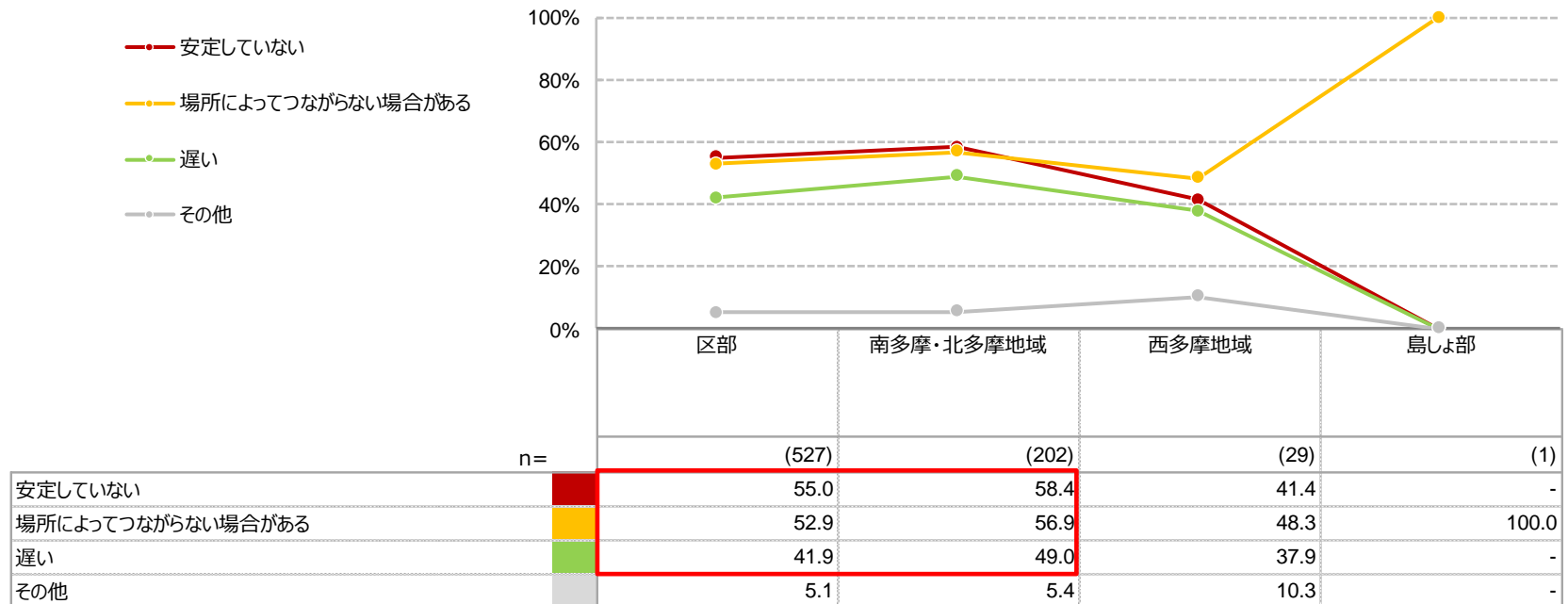


携帯電話回線に不満を感じている理由

- ✓ 「遅い」「安定していない」「場所によってつながらない場合がある」の全てにおいて区部や南多摩・北多摩地域の割合が西多摩地域と比べて高い。都心部にいくにつれて不満も多いことがうかがえる。

携帯電話回線に不満を感じている理由【居住地別】(Q27)

※携帯電話回線不満者ベース



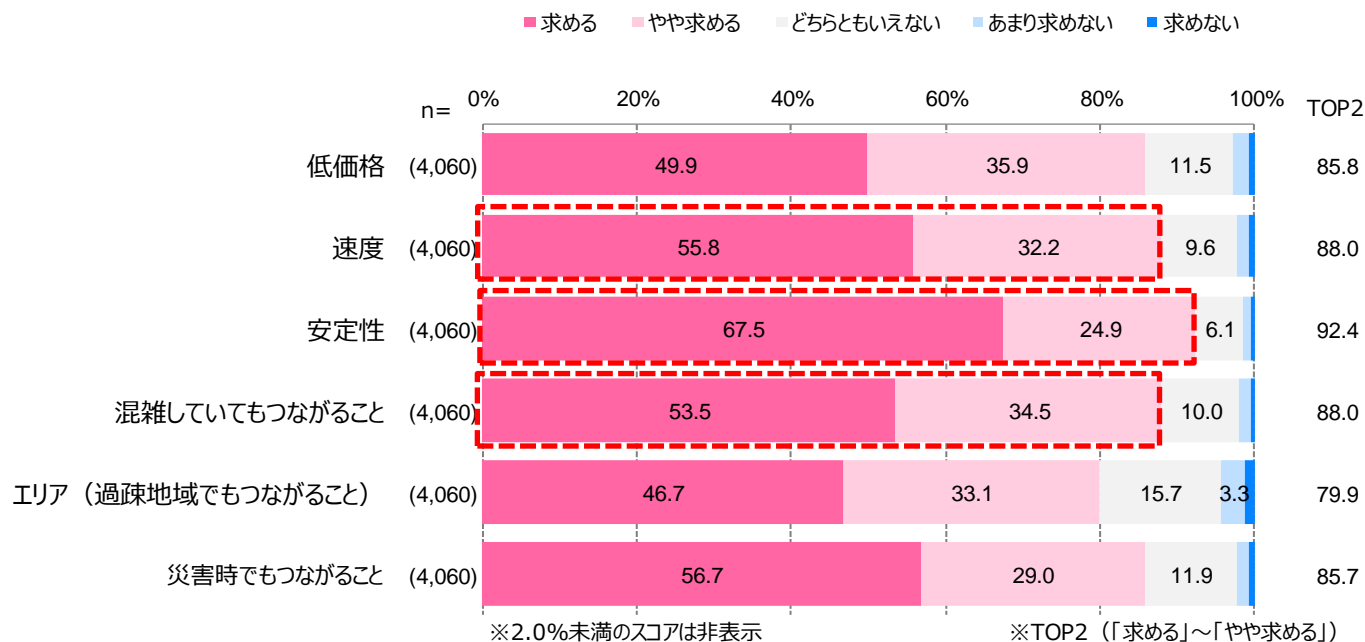
※全体のスコアで降順ソート

3.6 今後の施策検討に関する実態

通信サービスに求めるもの

- ✓ 求めるものは『安定性』が最も高く、「求める」「やや求める」を合わせた割合は9割とほとんどの人が求めていることがわかる。
- ✓ 次いで高いのは『速度』と『混雑していてもつながること』であった。
- ✓ その他の回答としては、具体的な安定性の内容やセキュリティに関する内容が多く見受けられた。

通信サービスに求めるもの(Q23)



▼その他求めることへの回答抜粋

安定性に関して

- すぐに繋がる／早く繋がる
- 悪環境に強い
- 山中でも利用可能
- 移動中でも安定した通信

セキュリティに関して

- 情報漏洩がないこと
- 安全性
- セキュリティ
- 情報管理

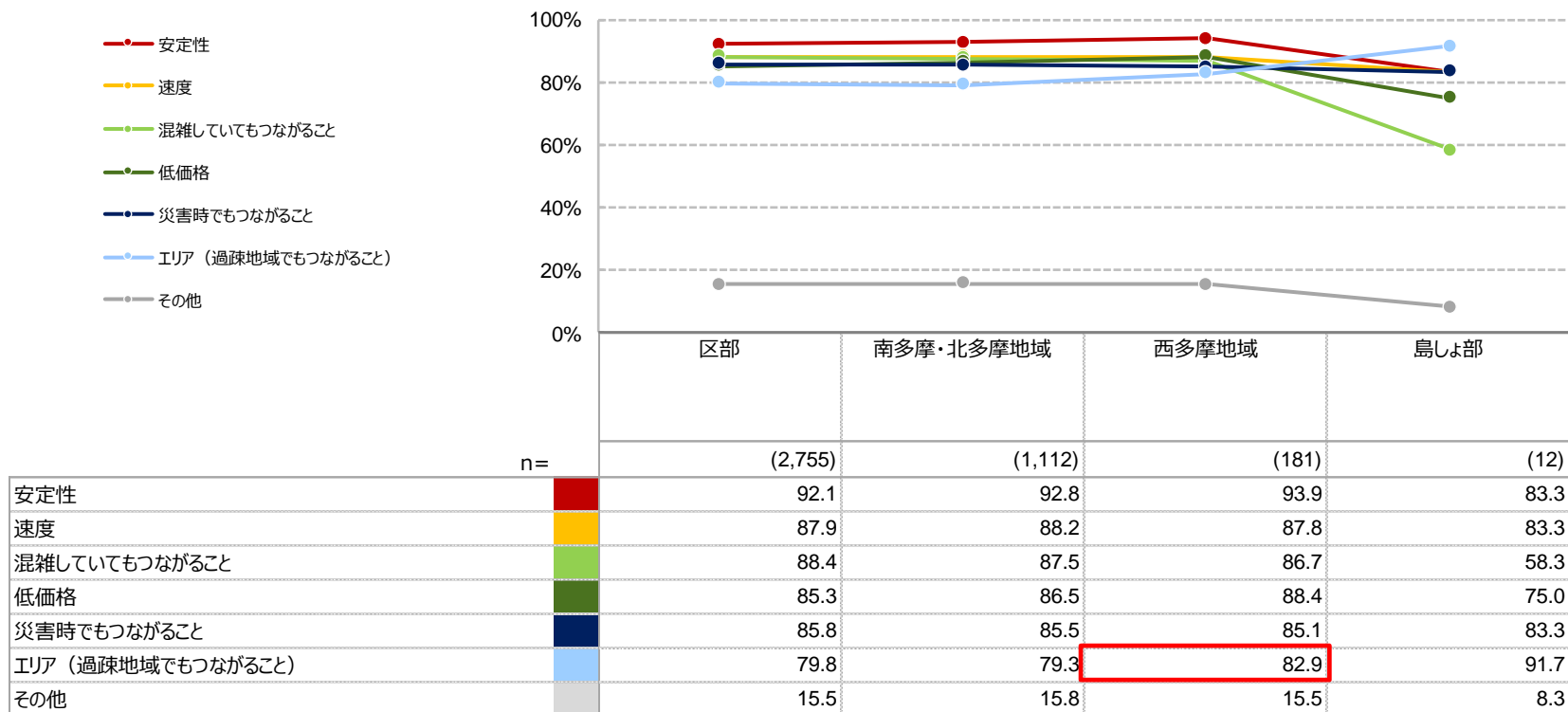
サポート体制に関して

- カスタマーセンターの質
- カスタマーセンターの迅速な対応
- アフターフォローがある

通信サービスに求めるもの

- ✓ 居住地による通信サービスに求めるものの差は特に見られない。
- ✓ 「エリア（過疎地域でもつながること）」は西多摩地域が8割と、区部、南多摩・北多摩地域と比べてやや高め。また、島しょ部は9割を超えており最も高い（サンプル数少ないため参考値）

通信サービスに求めるもの【居住地別】（Q23）



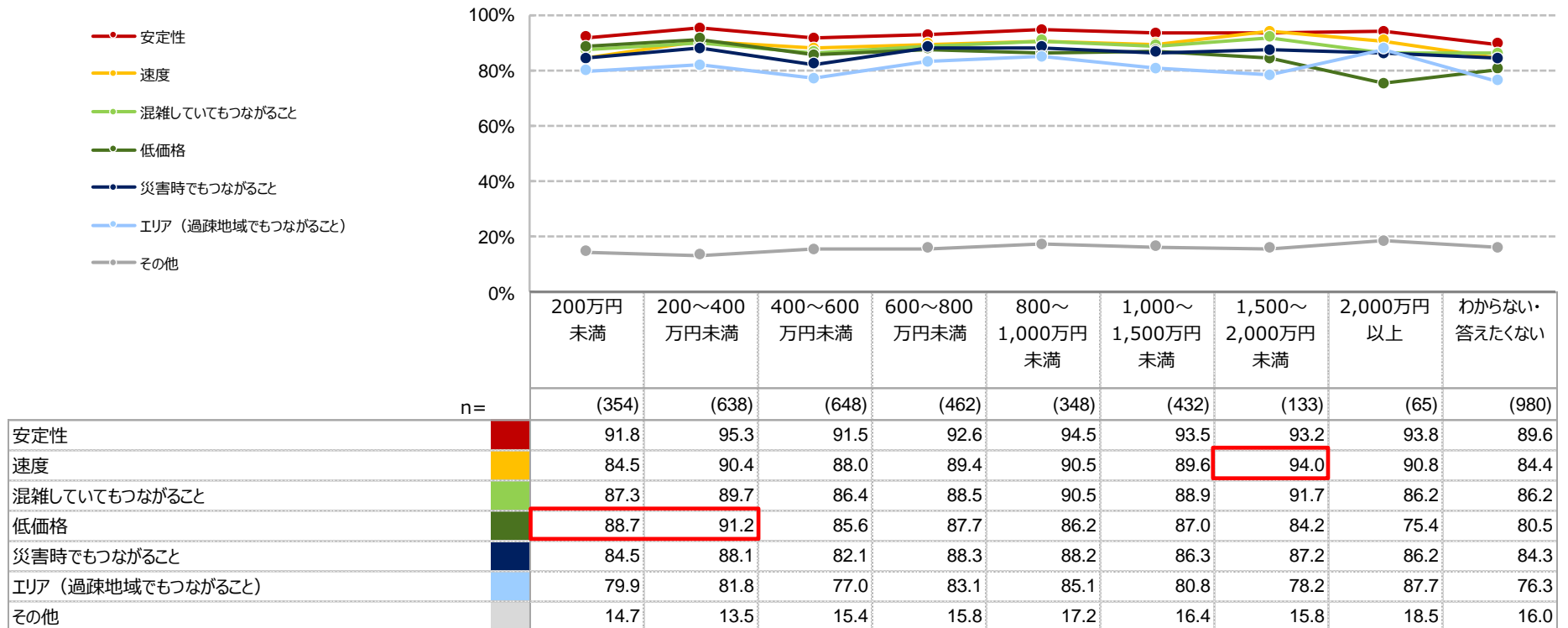
※スコアはTOP2（「求める」+「やや求める」）

※全体のスコアで降順ソート

通信サービスに求めるもの

- ✓ 400万円未満は「安定性」に次いで「低価格」を求める割合が高く、200～400万円未満は9割。
- ✓ 1,500～2,000万円未満は「速度」を求める割合が最も高い。
- ✓ 「混雑していてもつながること」「災害時でもつながること」といった特定の状況でのつながりやすさを求める割合は世帯年収で差は見られない。

通信サービスに求めるもの【世帯年収別】(Q23)



※スコアはTOP2（「求める」+「やや求める」）

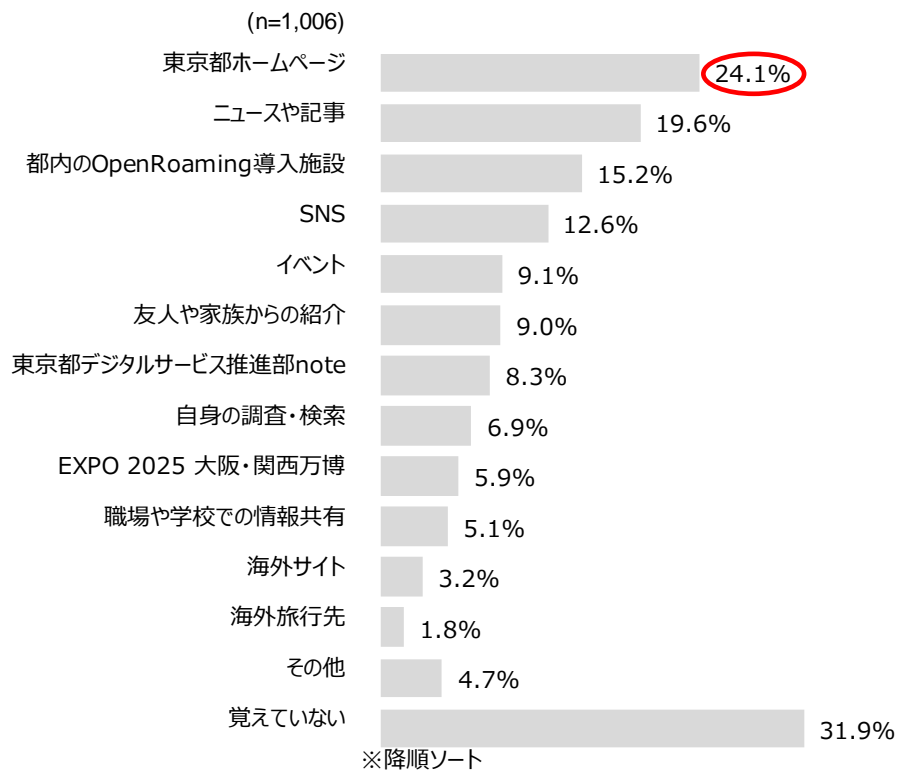
※全体のスコアで降順ソート

OpenRoamingの認知経路

✓「東京都ホームページ」が約2割と最も高く、次いで「ニュースや記事」、「都内のOpenRoaming導入施設」と続く。

OpenRoamingの認知経路(Q40)

※OpenRoaming内容または名前認知者ベース



OpenRoamingの認知経路

- ✓ 区部と南多摩・北多摩地域で認知経路に大きな差は見られない。
- ✓ 西多摩地域は「SNS」の割合が2割を超えて、区部や南多摩・北多摩地域と比べて高め。

OpenRoamingの認知経路【居住地別】(Q40)

※OpenRoaming内容または名前認知者ベース

	(%)			
	区部	南多摩・北多摩地域	西多摩地域	島しょ部
n=	(710)	(250)	(41)	(5)
東京都ホームページ	24.1	23.2	29.3	20.0
ニュースや記事	18.6	22.0	22.0	20.0
都内のOpenRoaming導入施設	15.4	15.2	12.2	20.0
SNS	12.1	12.4	22.0	20.0
イベント	9.7	7.2	9.8	20.0
友人や家族からの紹介	9.4	7.2	12.2	20.0
東京都デジタルサービス推進部note	8.5	8.4	4.9	-
自身の調査・検索	7.7	5.2	2.4	-
EXPO 2025 大阪・関西万博	5.4	6.8	9.8	-
職場や学校での情報共有	5.1	5.6	2.4	-
海外サイト	3.1	3.6	2.4	-
海外旅行先	1.7	2.4	-	-
その他	4.5	6.0	-	-
覚えていない	32.3	30.8	31.7	40.0

※全体のスコアで降順ソート

OpenRoamingの認知経路

- ✓ 1,500万円以上は「東京都ホームページ」が3割を超える。
- ✓ また、1,500～2,000円未満は「海外サイト」「海外旅行先」といった海外からの認知も、他の世帯年収と比べてやや高い。

OpenRoamingの認知経路【世帯年収別】(Q40)

※OpenRoaming内容または名前認知者ベース

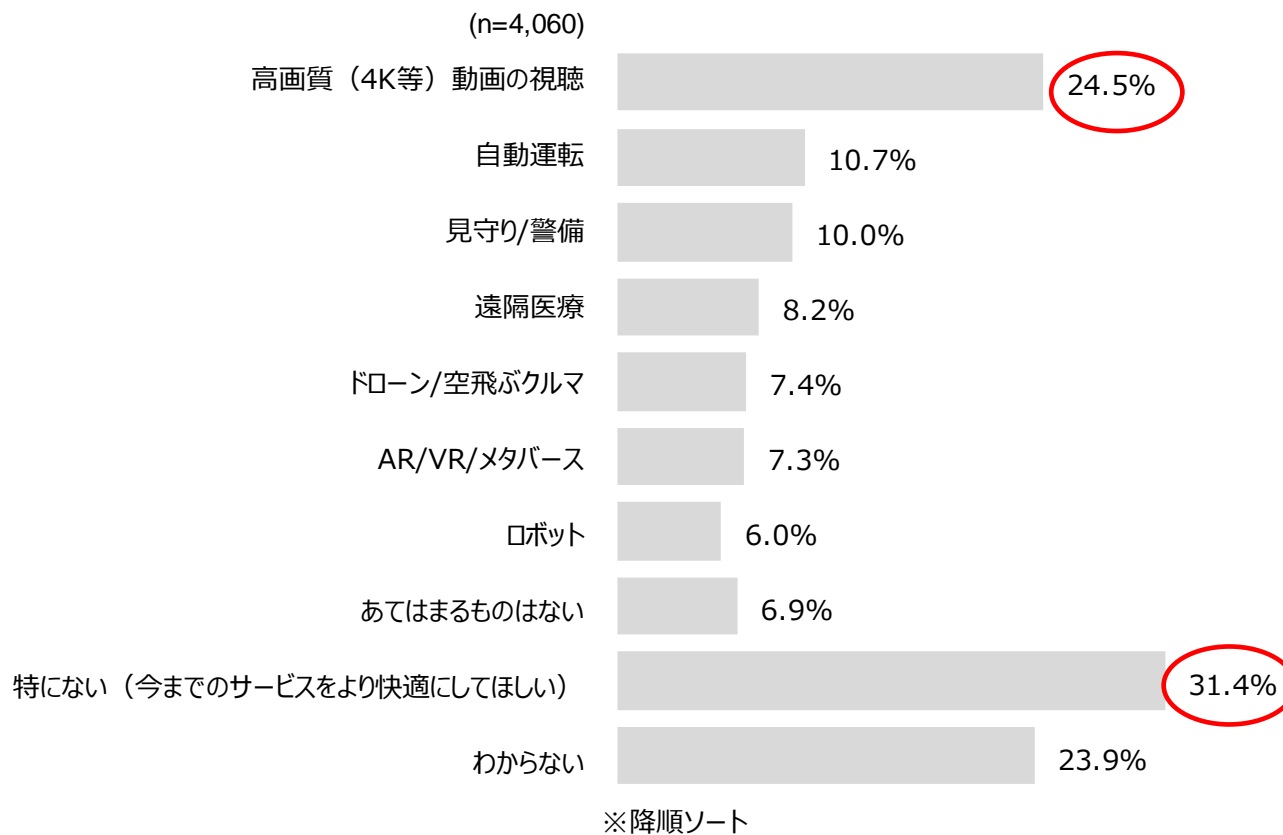
										(%)
	200万円未満	200～400万円未満	400～600万円未満	600～800万円未満	800～1,000万円未満	1,000～1,500万円未満	1,500～2,000万円未満	2,000万円以上	わからない・答えたくない	
n=	(64)	(127)	(174)	(141)	(110)	(155)	(49)	(24)	(162)	
東京都ホームページ	18.8	29.9	24.7	23.4	24.5	24.5	32.7	33.3	16.7	
ニュースや記事	25.0	18.9	17.8	17.0	25.5	24.5	18.4	20.8	13.6	
都内のOpenRoaming導入施設	6.3	18.9	17.2	19.1	13.6	16.1	20.4	12.5	9.3	
SNS	10.9	9.4	17.2	14.9	15.5	10.3	12.2	20.8	8.0	
イベント	6.3	6.3	10.9	10.6	10.9	13.5	8.2	4.2	4.9	
友人や家族からの紹介	9.4	7.1	7.5	11.3	10.9	8.4	14.3	20.8	6.2	
東京都デジタルサービス推進部note	3.1	7.9	5.7	12.1	10.9	8.4	14.3	4.2	6.8	
自身の調査・検索	4.7	10.2	6.9	6.4	8.2	9.7	2.0	4.2	3.7	
EXPO 2025 大阪・関西万博	3.1	7.1	4.6	7.1	10.0	5.2	12.2	4.2	2.5	
職場や学校での情報共有	1.6	5.5	6.3	5.0	7.3	5.8	8.2	-	2.5	
海外サイト	-	3.9	1.1	4.3	3.6	3.9	12.2	4.2	1.2	
海外旅行先	1.6	3.1	1.1	1.4	1.8	2.6	6.1	-	-	
その他	6.3	8.7	4.6	2.8	3.6	3.9	4.1	4.2	4.3	
覚えていない	29.7	29.9	27.0	34.0	28.2	25.2	30.6	33.3	46.9	

※全体のスコアで降順ソート

高速通信サービスについて

- ✓ 「高画質（4K等）動画の視聴」が約2割と最も高い。次いで「自動運転」「見守り/警備」と続くが1割程度。
- ✓ 対して、「特にない（今までのサービスをより快適にしてほしい）」が約3割と、「高画質（4K等）動画の視聴」よりも高い。新しいサービスよりも既存サービスを改善するニーズが強いことがわかる。

高速通信サービスについて(Q44)



高速通信サービスについて

✓ 居住地による高速通信サービス利用時にやってみたいことの差はほとんど見られない。

高速通信サービスについて【居住地別】(Q44)

	(%)			
	区部	南多摩・北多摩地域	西多摩地域	島しょ部
n=	(2,755)	(1,112)	(181)	(12)
高画質（4K等）動画の視聴	24.6	24.4	23.2	8.3
自動運転	10.5	11.3	11.0	8.3
見守り/警備	9.9	10.4	9.9	-
遠隔医療	7.8	8.5	11.6	-
ドローン/空飛ぶクルマ	7.0	7.9	9.4	16.7
AR/VR/メタバース	7.4	7.2	7.2	8.3
ロボット	6.1	6.2	3.9	-
あてはまるものはない	6.6	7.2	8.8	25.0
特にない（今までのサービスをより快適にしてほしい）	31.1	32.2	31.5	25.0
わからない	24.7	22.2	22.7	25.0

※全体のスコアで降順ソート

高速通信サービスについて

- ✓ 200万円未満は「特にない（今までのサービスをより快適にしてほしい）」や「わからない」がやや高く、高速通信サービスの関心が低い様子。
- ✓ 600～1,500万円未満は「高画質（4K等）動画の視聴」が3割程度。
- ✓ 2,000万円以上は「自動運転」「ドローン/空飛ぶクルマ」「AR/VR/メタバース」といった次世代技術関連の関心ややが高い。

高速通信サービスについて【世帯年収別】（Q44）

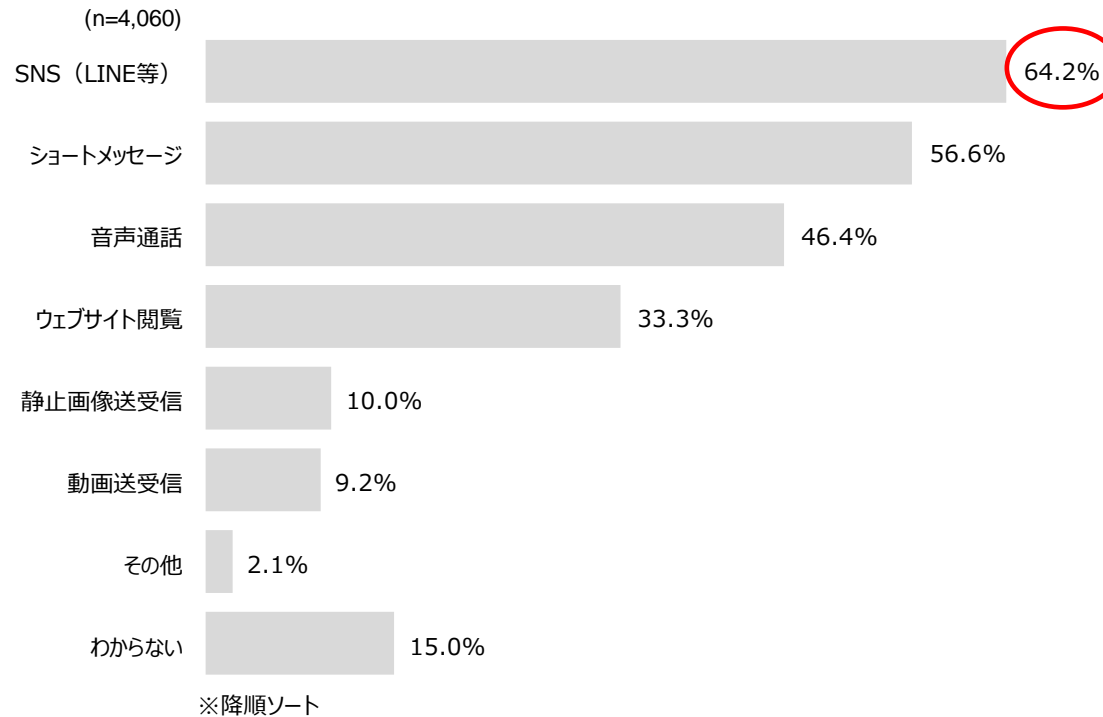
									(%)
	200万円未満	200～400万円未満	400～600万円未満	600～800万円未満	800～1,000万円未満	1,000～1,500万円未満	1,500～2,000万円未満	2,000万円以上	わからない・答えたくない
n=	(354)	(638)	(648)	(462)	(348)	(432)	(133)	(65)	(980)
高画質（4K等）動画の視聴	17.5	24.6	25.8	30.7	30.5	31.0	27.1	29.2	17.3
自動運転	7.1	7.2	9.4	16.7	15.5	17.1	14.3	15.4	7.0
見守り/警備	7.6	9.2	8.6	12.1	14.7	14.4	16.5	6.2	7.1
遠隔医療	7.6	8.2	7.4	9.7	10.6	10.9	12.8	9.2	5.3
ドローン/空飛ぶクルマ	4.8	5.3	6.8	10.4	7.8	12.3	10.5	13.8	5.6
AR/VR/メタバース	3.7	6.3	6.2	11.3	11.2	11.6	11.3	13.8	4.0
ロボット	4.2	5.0	5.6	8.0	8.9	9.0	9.8	6.2	3.7
あてはまるものはない	5.6	7.8	8.0	6.7	4.0	4.2	6.0	7.7	8.4
特にない（今までのサービスをより快適にしてほしい）	41.5	36.4	31.8	26.0	26.4	28.7	30.1	26.2	30.4
わからない	25.1	19.9	23.8	19.7	21.6	16.2	16.5	16.9	34.0

※全体のスコアで降順ソート

非常時に通信したい内容

- ✓ 「SNS（LINE等）」が最も高く、次いで「ショートメッセージ」と続き、どちらも5割を超えておりテキストでのコミュニケーションができるものが上位。
- ✓ 「静止画像送受信」や「動画送受信」は1割程度しかおらず、非常時においてはあまり需要性がないことがうかがえる。

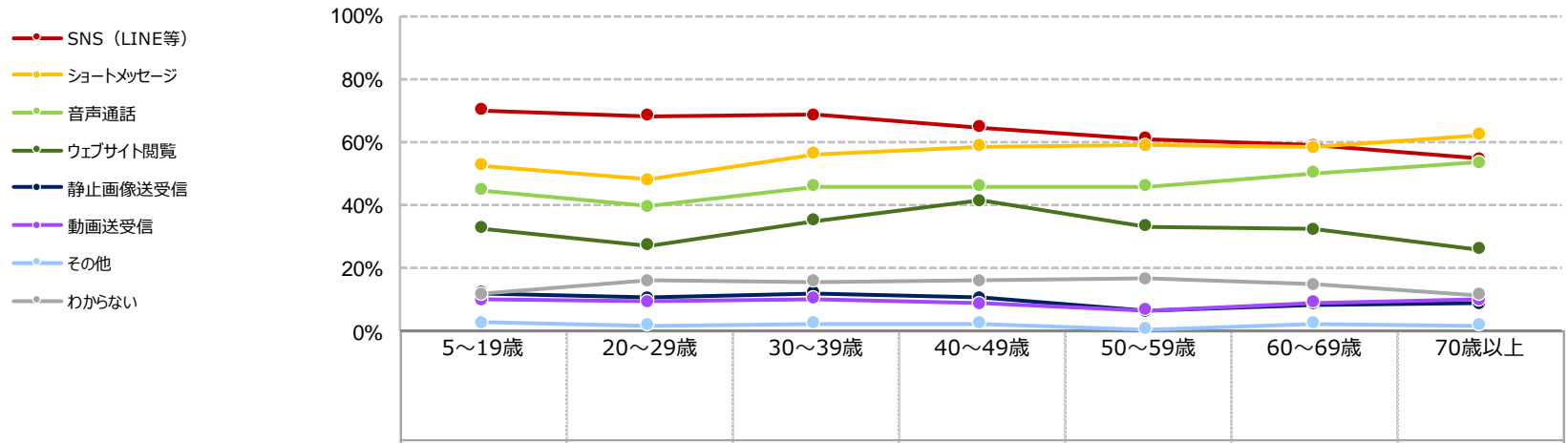
非常時に通信したい内容(Q48)



非常時に通信したい内容

- ✓ 50代以下は「SNS」、60代以上は「ショートメッセージ」が最も高い。
テキストコミュニケーションの中でも年代間で違いが見受けられるものの、60代以上も「SNS」は5割を超えている。
- ✓ また、60代以上は「音声通話」も約5割と高い。
- ✓ 40代は「ウェブサイト閲覧」が約4割と他の年代と比べて高い。

非常時に通信したい内容【年代別】(Q48)



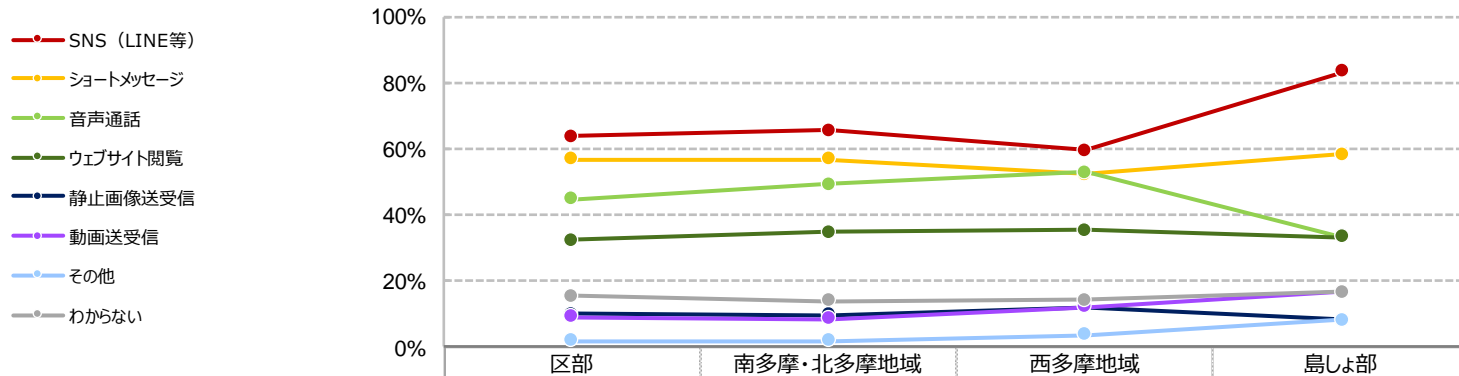
	n=	5~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上
SNS (LINE等)	(470)	70.2	68.5	68.8	64.9	61.2	59.0	54.9
ショートメッセージ	(555)	52.8	48.1	56.3	58.7	59.1	58.4	62.4
音声通話	(666)	44.7	39.6	46.1	46.1	46.1	50.1	53.4
ウェブサイト閲覧	(757)	32.8	27.4	35.1	41.3	33.3	32.5	26.0
静止画像送受信	(672)	12.3	10.6	12.3	10.7	6.4	8.5	8.9
動画送受信	(459)	10.0	9.4	10.5	8.9	6.8	9.2	10.0
その他	(481)	2.8	2.0	2.4	2.6	0.7	2.6	1.9
わからない		11.9	16.2	15.8	16.2	16.8	14.8	11.6

※全体のスコアで降順ソート

非常時に通信したい内容

- ✓ 居住地による非常時に通信したい内容の差はほとんど見られない。
- ✓ 西多摩地域は「音声通話」が5割と他の地域と比べてやや高い。

非常時に通信したい内容【居住地別】(Q48)



	n=	区部	南多摩・北多摩地域	西多摩地域	島しょ部
SNS (LINE等)		(2,755)	(1,112)	(181)	(12)
ショートメッセージ		63.8	65.5	59.7	83.3
音声通話		56.7	57.0	52.5	58.3
ウェブサイト閲覧		44.8	49.3	53.0	33.3
静止画像送受信		32.5	34.9	35.4	33.3
動画送受信		9.9	9.7	12.2	8.3
その他		9.1	8.7	12.2	16.7
わからない		2.0	2.0	3.9	8.3
		15.5	14.0	14.4	16.7

※全体スコア降順ソート